

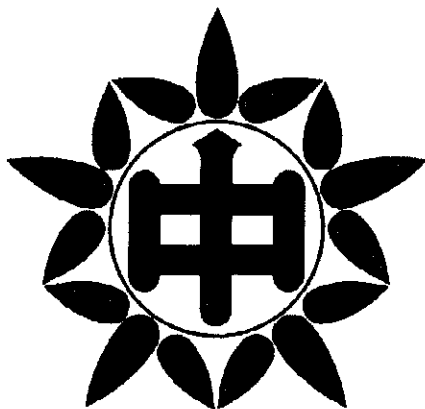
平成 2 5 年 度

教 育 計 画 2

各 教 科 等

全 体 計 画 ・ 年 間 指 導 計 画

I C T



言 語 活 動

駒 の 学 び 舎
世 田 谷 区 立 駒 沢 中 学 校

目 次

1	国 語	P	1	~	3
2	社 会	P	4	~	6
3	数 学	P	7	~	9
4	理 科	P	10	~	12
5	音 楽	P	13	~	15
6	美 術	P	16	~	18
7	保 健 体 育 (男 子)	P	19	~	27
8	保 健 体 育 (女 子)	P	28	~	36
9	技 術	P	37	~	41
10	家 庭	P	42	~	44
11	英 語	P	45	~	47
12	道 徳	P	48	~	49
13	総 合 的 な 学 習 の 時 間	P	50	~	53
	教 科 「 日 本 語 」	P	54	~	56
14	特 別 活 動	P	57	~	58
	生 徒 会 活 動	P	59	~	60

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)					活用する ICT等 ●ことばの 力を高める 言語活動	評価基準(B)					評価方法		
						国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技 能		国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技 能			
1	4	20	1 家族 の中 で	1	はる、岳物語 字のない漢書 兄やん 話す・聞く(スピー チ) 漢字を見抜く1 文法1 楷書	・文学に描かれる人 物像や人間関係・心 情を興味を持って読 もうとしている。	・人物の心情を考え た音読ができてい る。	・自分の考えをワー クシートに書くこと ができる。	・会話に表れている 人物の心情を理解し ようとしている。	・小学校の漢字の定 着度を自身で知る。 ・文章、文、単語の 違いを知る。	○実物投影機 ○パソコン ●詩を小グ ループで話し 合い発表す る。情景や人 物の気持ちを 話し合う。	・文学に描かれる人 物像や人間関係・心 情を興味を持って読 むことができる。	・人物の心情を考え た音読の工夫を考え られている。	・自分の考えを分か りやすくワークシ ートに書くことが できている。	・会話に表れている 人物の心情を理解し ようとしている。	・小学校の漢字の定 着度が8割程度であ る。 ・文章、文、単語の 違いを理解してい る。	・ワークシ ート ・漢字テス ト ・定期考査 ・提出物		
	5	2		ものづくりに生きる 変わる動物園 漢字を見抜く2 文法2 楷書	・段落語との文章の展開に沿 って、段落の印を整理する。 ・文章の構成に即して、要旨を まとめる。 ・漢字の音について、それが何 かを知り、理解する。 ・文節、文節相互の関係を調べる。 ・仮名の筆道。 ・楷書とかなの調和。	・文章に表現されて いる主張、構成や 展開を含めて的確 に理解し、文章の要 点をとらえようと している。 ・音節による漢字の まとまりに気づき、 自分なりにまとめ ようとしている。	・友達の意見を聞き 取り、自分との意見 との違いなどをとら えようとしている。	・段落の要旨を自分 なりにまとめること が出来る。	・段落の要旨と論理 展開を理解してい る。	・形声文字の義符、 声符とは何かを知 ろうとしている。 ・まがらいいやうい 筆順を理解し正しい 形で書ける。	○実物投影機 ○パソコン ●段落の要旨 をまとめるが 読む。 ●読書紹介の 文章の書き方 を学ぶ。	・文章に表現されて いる主張を理解し、 構成や展開も考え、 文章の要点をとら えられている。 ・音節による漢字の まとまりに気づき、 自分なりに理解して いる。	・友達の意見を聞き 取り、自分との意見 との違いなどをとら えることができる。	・段落の要旨を自分 なりにまとめること が出来る。	・段落の要旨と論理 展開を理解してい る。	・形声文字の義符、 声符とは何かを知 ろうとしている。 ・まがらいいやうい 筆順を理解し正しい 形で書けている。	・ワークシ ート ・漢字テス ト ・定期考査 ・提出物		
	6	23		3	家々子に ぬすびと面 話 片書きを言うまで 漢字を見抜く3 文法3	・表現に注意して詩にこめられた メッセージを読み取る。 ・ぬすびと面話の表情を巡る文意の 考えの整理とその理由を説明する。 ・漢字の部、部首、筆順を理解する。 ・品詞分類について理解する。 ・行書…点画のつながり	・詩にこめられたメッ セージを読み取る ようとしている。 ・場面を巡って主題 を把握し、それにつ いて自分の考えをま とめようとしている。	・自分の感じたことや 考えたこと発表して いる。 ・お互いの考えを聞き あい、理解してい る。	・作者が伝えようとし ている思いを伝え ようとしている。 ・文章で表現できる。	・表現に即して詩に 込められたメッセ ージを読み取るよう としている。	・部首から漢字の意 味を推測できる。 ・品詞分類を理解し ている。	○実物投影機 ○パソコン ●読書紹介の スピーチをする。 ●人物の気持ち を想像しながら集 団討論する。	・詩にこめられたメッ セージを読み取る ようとしている。 ・場面を巡って主題 を把握し、それにつ いて自分の考えをま とめようとしている。	・自分の感じたことや 考えたこと発表して いる。 ・文意で分けて読み 取っている。 ・お互いの考えを聞き あい、違いなどを 理解している。	・表現に即して詩に 込められたメッセ ージを正しく読み 取るようとしてい る。	・部首から漢字の意 味を推測している。 ・品詞分類を理解 している。	・ワークシ ート ・漢字テス ト ・定期考査 ・提出物		
	7	4		4	竹取物語 故事成語 百人一首 漢字の書体 文法4 書き初め	・古典の文章の音読。 ・古典と現代文の違いに気づく。 ・漢字の音読。 ・故事成語調べ。 ・書き初め課題練習	・古典を学ぶことの 意義や楽しさをとら えさせ、古典の世界 を巡って広げよう とする態度を養う。	・百人一首かるた競 技の方法を理解し、 実際に競技を行う ことができる。	・故事成語について 調べたことや自分の 考えを適切に表現 しようとしている。	・ほぼ正確に音読が できている。 ・古の人の生活や考 えを理解しようとし ている。	・筆順の基本を理解 し、行書が書ける。 ●古文の表 現、故事成語 に慣れる。	○実物投影機 ○パソコン ●竹取物語の 最初を暗記す る。 ●古文の表 現、故事成語 に慣れる。	・古典に親しみ、興 味関心をもって学習 に取り組んでいる。 ・百人一首かるた競 技の方法を理解し、 実際に意欲的に競 技を行える。	・自分の考えを自分 なりに工夫して いる。 ・友達の発言に耳を 傾け、考えを深め ようとしている。	・書き初め課題練習 する。	・筆順に注意して字 の書かれた行書が 書ける。	・筆順に注意して字 の書かれた行書が 書ける。	・ワークシ ート ・漢字テス ト ・定期考査 ・提出物	
	8	11		26	5 関係 の中 で	何にでも価値をつ ける古道具屋のお じさんの詩 少年の日の思い出 旧字体と新字体 文の楽譜・会話文 シェーヴス・パナ ソニック20年後	・詩の展開に沿って読み、詩から の問いかけに自分なりに答える。 ・人物像と人間関係を調べる。 ・新字体と旧字体について理解する。 ・実際の文章で文について考える。 ・作品についての感想をもち、感 想に基づいて交流する。 ・読書に親しみ、進んで読もうと する姿勢を身につける。 ・行書…点画の省略	・作品の展開をとら え、積極的に読もう としている。 ・登場人物の心情の 変化を理解し、作品 の主題を自分なりに 考えようとしている。 ・文法の知識を生か して実際の文章を読 み取るようしている。	・自分の考えを分か りやすく発表しよう としている。 ・友達の発言に耳を 傾け、考えを深め ようとしている。	・着目した点や、気 に入った点をあげな がら、感想をまとめ ようとしている。	・人物の心情の変化 を読み取るようして いる。 ・それぞれの人物像 は誰の視点からのも のか考え説明しよ うとしている。	・旧字体で書かれた 文書の漢字を読み こなす方法に気づ いている。 ・使い手として日本 語の文法を考える 態度を身につけて いる。 ●登場人物の 気持ちを想像して、 日記の形で書く。	○実物投影機 ○パソコン ●詩を朗読す る。 ●詩の続きを 小集団で発表 する。 ●登場人物の 気持ちを想像 して、日記の形 で書く。	・作品の展開をとら え、積極的に読もう と取り組んでいる。 ・登場人物の心情の 変化を理解し、作品 の主題を自分なりに 考えようとしている。 ・文法の知識を生か して実際の文章を読 み取るよう努力し ている。	・自分の考えを分か りやすく発表しよう と工夫している。 ・友達の発言に耳を 傾け、考えを深め ようとしている。	・着目した点や、気 に入った点をあげな がら、感想を分か りやすくまとめる ようとしている。	・人物の心情の変化 を読み取ることが できている。 ・それぞれの人物像 は誰の視点からの ものか考え、説明 ができてい る。	・旧字体で書かれた 文書の漢字を読み こなす方法に気づ いている。 ・使い手として日本 語の文法を考えよ うとしている。	・ワークシ ート ・漢字テス ト ・定期考査 ・提出物
	9	17		6		1	16	3											
	2	1		16		2	3												

					評価規準(指導目標)					評価基準(B)					評価方法		
学期	月	時数	単元	小単元「項目」	学習内容	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	活用するICT等 ことばの力を高める言語活動	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	評価方法
1	4	20	1	仲間と共に	おたまじゃくし四五匹、昔話、逃げることはほんとうにひきょうか、吟味された言葉、語を聞く1、語を見抜く1、文法1・2	●分組して群読を行う。 ●言葉の記憶と映像の記憶の差異を説明する。 ●光の言葉が祖母を励ました理由を考える。 ●言葉によって伝える分がけやすさを知る。 ●漢字の読みを知る。 ●動詞、形容詞、形容動詞の働きを知る。	●交流のよさを捉え書き手の心を音読しようとする。 ●言葉の意味を考え理解し、役立てようとする。	●自ら捉えた書き手の心を音読で表す。 ●筆者の主張をまとめる。 ●他人を励ます言葉について、自分の考えを書く。 ●作品の中の事実と意見を抜き出して、書く。	●記憶の持つ意味を考える。 ●文末表現の効果を考える。 ●本文の理解と自分の思考に基づき、筆者の主張を説明する。	●音声や表記の仕方に関心をもち、理解を深める。 ●抽象的概念を表す言葉の知識を深める。 ●漢字の音訓、慣用音を理解する。	○パソコン ●大型テレビ ●筆者の意見に対する考えをグループで話し合い、集団討論する。	●作品を自分なりの音読する。 ●記憶の意味を考え、文末表現の特徴と効果に気づく。 ●文脈上の語の意味を考える。	●声の大きさ、話す速さ・強弱、間の取り方に注意して発表する。	●筆者の主張を自分なりにまとめる。 ●他人を励ますにはどうすればいいか、考えて書く。 ●作品の中の事実と意見を分けて書く。	●言葉と映像の違いがわかる。 ●キーワードや指示語を捉え展開を理解する。 ●漢字の音訓、動詞・形容詞・形容動詞を理解する。	●文末表現の特徴と効果に気づく。 ●「吟味」の文脈上の意味に気づく。 ●漢字の音訓、動詞・形容詞・形容動詞を理解する。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物
	5				サーカスの馬クリスマスの仕事、短歌、地下水、アラスカとの出会い、書く1、語を見抜く2、文法3・4、情報と表現1、坊っちゃん、孫が読む漱石、発見する読み2	●人物像や心情の変化を読み取る。 ●一つの言葉に込められた意味を理解する。 ●短歌の情景、作者の心情を捉え、詩・文章を書く。 ●詩の比喩を理解する。 ●人生の出会いを考える。 ●絵を頼りに創作を行う。 ●熟語の読みを知る。 ●助動詞の働きを知る。	●他人の意見をよく聞いて、共通点・相違点を意識して発言する。 ●短歌、詩を音読する。	●短歌を味わって、その感動を詩・文章にする。 ●筆者の出会いを読み、自分なりの文章を書く。 ●絵の構成を頼りに文章を書く。	●人々の言葉に込められた思いを捉える。 ●フォークローレの山場の効果的な表現を読み取る。 ●絵の構成の編集に取り組み。 ●「坊っちゃん」の多様な読み方を知る。	●1人称の語り手と登場人物を別して読む。 ●短歌の知識を理解する。 ●散文詩の特徴を理解する。 ●熟語の読み方の種類に慣れる。	○パソコン ●大型テレビ ●絵を頼りにして、文章を制作し、発表する。	●表現に即し僕らの心情の変化を理解する。 ●他人の意見をよく聞いて、自分の意見を発表している。 ●短歌、詩の音読に慣れる。	●短歌を味わって、その感動を自分なりに詩・文章として書く。 ●筆者の出会いについて関心をもち、短い文章を書く。 ●絵の構成を考え、短い文章を書く。	●言葉に込められた思いを読み取る。 ●フォークローレの山場の比喩表現に気づく。 ●絵の構成で、話の展開が変わることがわかる。 ●「坊っちゃん」の多様な読み方を知る。	●1人称の語り手と登場人物を区別している。 ●短歌の知識をほぼ理解している。 ●散文詩の特徴を知っている。 ●熟語の読み方に種類があることを知る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
	6	34	2	2	3 発見と行動	●文化とは何か考える。 ●心情の変化を表現に即して捉える。 ●人の結びつきを捉える。 ●ディベートを知る。 ●助動詞の働きを学ぶ。	●文化とは何か興味をもつ。	●語り手の特徴を理解し、音読する。	●文化の定義について、感想を書く。 ●文章の展開に即し文化の定義と事例を捉える。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を捉える。	●ディベートの方法を理解する。 ●助動詞の多様な意味を理解する。	○パソコン ●大型テレビ ●自分の意見を論理的に主張し、説得する。	●文化の定義を考える。	●語り手の特徴を生かし、音読する。	●文化の定義について、短い感想を書く。	●文章の展開から文化の定義と事例を読み取る。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を読み取る。	●ディベートの手順を理解する。 ●助動詞の多様な意味に気づく。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物
	7				3 発見と行動	●文化とは何か考える。 ●心情の変化を表現に即して捉える。 ●人の結びつきを捉える。 ●ディベートを知る。 ●助動詞の働きを学ぶ。	●文化とは何か興味をもつ。	●語り手の特徴を理解し、音読する。	●文化の定義について、感想を書く。 ●文章の展開に即し文化の定義と事例を捉える。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を捉える。	●ディベートの方法を理解する。 ●助動詞の多様な意味を理解する。	○パソコン ●大型テレビ ●自分の意見を論理的に主張し、説得する。	●文化の定義を考える。	●語り手の特徴を生かし、音読する。	●文化の定義について、短い感想を書く。	●文章の展開から文化の定義と事例を読み取る。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を読み取る。	●ディベートの手順を理解する。 ●助動詞の多様な意味に気づく。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物
2	8	24	3	3	3 発見と行動	●文化とは何か考える。 ●心情の変化を表現に即して捉える。 ●人の結びつきを捉える。 ●ディベートを知る。 ●助動詞の働きを学ぶ。	●文化とは何か興味をもつ。	●語り手の特徴を理解し、音読する。	●文化の定義について、感想を書く。 ●文章の展開に即し文化の定義と事例を捉える。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を捉える。	●ディベートの方法を理解する。 ●助動詞の多様な意味を理解する。	○パソコン ●大型テレビ ●自分の意見を論理的に主張し、説得する。	●文化の定義を考える。	●語り手の特徴を生かし、音読する。	●文化の定義について、短い感想を書く。	●文章の展開から文化の定義と事例を読み取る。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を読み取る。	●ディベートの手順を理解する。 ●助動詞の多様な意味に気づく。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物
	9				3 発見と行動	●文化とは何か考える。 ●心情の変化を表現に即して捉える。 ●人の結びつきを捉える。 ●ディベートを知る。 ●助動詞の働きを学ぶ。	●文化とは何か興味をもつ。	●語り手の特徴を理解し、音読する。	●文化の定義について、感想を書く。 ●文章の展開に即し文化の定義と事例を捉える。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を捉える。	●ディベートの方法を理解する。 ●助動詞の多様な意味を理解する。	○パソコン ●大型テレビ ●自分の意見を論理的に主張し、説得する。	●文化の定義を考える。	●語り手の特徴を生かし、音読する。	●文化の定義について、短い感想を書く。	●文章の展開から文化の定義と事例を読み取る。 ●登場人物の心情の変化、視点の変化を読み取る。	●ディベートの手順を理解する。 ●助動詞の多様な意味に気づく。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物
	10	32	4	4	4 時の中で	●言葉の力、平家物語、徒然草、論語、言葉に託された心、書く2、語を見抜く4、書き初め	●言葉の力を考える。 ●人物や作者の思いを想像する。 ●筆者の発見を捉える。 ●古文の文体、漢文の訓読に慣れる。 ●意見文の書き方を知る。 ●熟語、助詞の働き、言葉の種類、敬語を学ぶ。	●語り手の文体に慣れる。 ●筆者の考えに関心をもち、音読する。	●意見文の構成(起承転結)を理解し、文章を書く。 ●直実の教養に対する気持ちの変化を理解する。 ●現代に通じる筆者の考え方を読み取る。	●古文の文体に慣れる。 ●漢文の訓読を理解する。 ●二字熟語の構成を理解する。 ●助詞、話し言葉と書き言葉、敬語を学ぶ。	○パソコン ●大型テレビ ●テーマに対する自分の意見を文章に表現して集団討論を行い、発表する。	●語り手の文体に関心をもち、音読する。 ●筆者の考えに関心をもち、音読する。	●語り手の文体、古文特有な文体を生かし、音読しようとする。	●意見文の構成(起承転結)を意識しながら、文章を書く。 ●直実の教養に対する心のの変化を読み取る。 ●現代に通じる筆者の考え方をだいたい理解できる。	●古文の文体を生かして読む。 ●漢文の訓読をほぼ理解する。 ●二字熟語の構成がわかる。 ●助詞、話し言葉と書き言葉、敬語がわかる。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
	11				4 時の中で	●言葉の力、平家物語、徒然草、論語、言葉に託された心、書く2、語を見抜く4、書き初め	●言葉の力を考える。 ●人物や作者の思いを想像する。 ●筆者の発見を捉える。 ●古文の文体、漢文の訓読に慣れる。 ●意見文の書き方を知る。 ●熟語、助詞の働き、言葉の種類、敬語を学ぶ。	●語り手の文体に慣れる。 ●筆者の考えに関心をもち、音読する。	●意見文の構成(起承転結)を理解し、文章を書く。 ●直実の教養に対する気持ちの変化を理解する。 ●現代に通じる筆者の考え方を読み取る。	●古文の文体に慣れる。 ●漢文の訓読を理解する。 ●二字熟語の構成を理解する。 ●助詞、話し言葉と書き言葉、敬語を学ぶ。	○パソコン ●大型テレビ ●テーマに対する自分の意見を文章に表現して集団討論を行い、発表する。	●語り手の文体に関心をもち、音読する。 ●筆者の考えに関心をもち、音読する。	●語り手の文体、古文特有な文体を生かし、音読しようとする。	●意見文の構成(起承転結)を意識しながら、文章を書く。 ●直実の教養に対する心のの変化を読み取る。 ●現代に通じる筆者の考え方をだいたい理解できる。	●古文の文体を生かして読む。 ●漢文の訓読をほぼ理解する。 ●二字熟語の構成がわかる。 ●助詞、話し言葉と書き言葉、敬語がわかる。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
3	12	30	5	5	5 状況の中で	●状況の中での生き方を考える。 ●物を作る意味を考える。 ●運命と生き方を考える。 ●特別な分野の語を知る。 ●文、文章を理解する。 ●メールや手紙の形式を知る。 ●芸術制作の根源を探る。 ●詩の生まれる時を捉える。	●幼児を背負った少年の写真に感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景に関心をもち、音読する。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心情を想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表する。	●詩に託された作者の思いを読み取る。 ●物を作る意味について、筆者の思考を読み取る。 ●作品の時代背景を踏まえて、わたしや筆者の心情を読み取る。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を表現から読む。	●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。 ●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。	○パソコン ●大型テレビ ●詩の鑑賞文を書き、意見や思いを発表する。	●幼児を背負った少年の写真を自分なりの感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景を知り、作品を味わおうとしている。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心をさまざまに想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読を工夫する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表し合う。	●物を作る意味について、筆者の思考から自分なりの感想をもつ。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を文章表現から自分なりに読み取る。 ●ト書きとせりふ、効果音などの劇の特徴を想像しながら読み取る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物		
	1				5 状況の中で	●状況の中での生き方を考える。 ●物を作る意味を考える。 ●運命と生き方を考える。 ●特別な分野の語を知る。 ●文、文章を理解する。 ●メールや手紙の形式を知る。 ●芸術制作の根源を探る。 ●詩の生まれる時を捉える。	●幼児を背負った少年の写真に感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景に関心をもち、音読する。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心情を想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表する。	●詩に託された作者の思いを読み取る。 ●物を作る意味について、筆者の思考を読み取る。 ●作品の時代背景を踏まえて、わたしや筆者の心情を読み取る。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を表現から読む。	●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。 ●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。	○パソコン ●大型テレビ ●詩の鑑賞文を書き、意見や思いを発表する。	●幼児を背負った少年の写真を自分なりの感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景を知り、作品を味わおうとしている。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心をさまざまに想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読を工夫する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表し合う。	●物を作る意味について、筆者の思考から自分なりの感想をもつ。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を文章表現から自分なりに読み取る。 ●ト書きとせりふ、効果音などの劇の特徴を想像しながら読み取る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物		
	2	30	6	6	6 状況の中で	●状況の中での生き方を考える。 ●物を作る意味を考える。 ●運命と生き方を考える。 ●特別な分野の語を知る。 ●文、文章を理解する。 ●メールや手紙の形式を知る。 ●芸術制作の根源を探る。 ●詩の生まれる時を捉える。	●幼児を背負った少年の写真に感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景に関心をもち、音読する。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心情を想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表する。	●詩に託された作者の思いを読み取る。 ●物を作る意味について、筆者の思考を読み取る。 ●作品の時代背景を踏まえて、わたしや筆者の心情を読み取る。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を表現から読む。	●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。 ●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。	○パソコン ●大型テレビ ●詩の鑑賞文を書き、意見や思いを発表する。	●幼児を背負った少年の写真を自分なりの感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景を知り、作品を味わおうとしている。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心をさまざまに想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読を工夫する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表し合う。	●物を作る意味について、筆者の思考から自分なりの感想をもつ。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を文章表現から自分なりに読み取る。 ●ト書きとせりふ、効果音などの劇の特徴を想像しながら読み取る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物		
	3				6 状況の中で	●状況の中での生き方を考える。 ●物を作る意味を考える。 ●運命と生き方を考える。 ●特別な分野の語を知る。 ●文、文章を理解する。 ●メールや手紙の形式を知る。 ●芸術制作の根源を探る。 ●詩の生まれる時を捉える。	●幼児を背負った少年の写真に感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景に関心をもち、音読する。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心情を想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表する。	●詩に託された作者の思いを読み取る。 ●物を作る意味について、筆者の思考を読み取る。 ●作品の時代背景を踏まえて、わたしや筆者の心情を読み取る。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を表現から読む。	●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。 ●詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ●一人芝居、劇の形式を理解し、内容を表現する。	○パソコン ●大型テレビ ●詩の鑑賞文を書き、意見や思いを発表する。	●幼児を背負った少年の写真を自分なりの感想をもつ。 ●写真、詩、戯曲の時代背景を知り、作品を味わおうとしている。	●少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心をさまざまに想像し、発表する。 ●印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読を工夫する。 ●メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表し合う。	●物を作る意味について、筆者の思考から自分なりの感想をもつ。 ●芸術作品や詩の創造の秘密を文章表現から自分なりに読み取る。 ●ト書きとせりふ、効果音などの劇の特徴を想像しながら読み取る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物		

学期	月	時数	単元	小単元「項目」	学習内容	評価規準(指導目標)					活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)					評価方法		
						国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能			
1	4	18	1	社会に向けて	●最初の質問、言葉の共有、ケナリも花サクラも花、Water、話す聞く1、文字を見抜く1、文法1、発見する読み1書写:7生活や学習に生かそう	●問いの意味を考え、詩の意図を考える。 ●人生をよりよく生きるために、理解を深める。 ●異文化を超えた心の動きを読み取る。 ●表現を通して、人物の関係を読み取る。 ●パブリック・スピーキングのあり方を考える。	●問いに対する答えを実際に表現する。 ●それぞれの発表を聞き、理解し合う。 ●パブリック・スピーキングに必要な条件をまとめる。	●人物の視点を立て、作品を捉え直して書く。	●人生について、認識を深め、どうすべきかを考える。 ●人物の人物が表現のどこに出ているか知る。	●ハングルやピクトグラムを知り、漢字と仮名の特徴を知る。 ●文の主題・述語の照応、文章中の会話文と地の文の効果の違いを考える。	○パソコン ○大型テレビ ●スピーチの原稿を考え、発表する。	●問いを通して、作者の気持ちに迫ろうとする。 ●よりよく生きるために何が自分なりに必要か自分なりに考える。	●問いに対する答えを実際に表現し、詩の意図を想像できる。 ●発表を聞き、理解できる。 ●パブリック・スピーキングに必要なことを知る。	●人物の視点を立て、作品を捉え直して書くことができる。 ●人生について、認識を深め、どうすべきかを考えようとする。 ●人物の人物が表現のどこに出ているか知ることができる。	●ハングルやピクトグラムを知り、漢字と仮名の特徴を理解している。 ●主題・述語の照応、文章中の会話文と地の文の効果の違いをほぼ理解する。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物			
	5					●輝ける間、握手、俳句十五句、存在、黒い雨、書く1、文字を見抜く2、文法2、情報と表現1書写:7生活や学習に生かそう	●作品の時代背景、表現の細部を考え、作者の認識を捉える。 ●昔の園児を訪ねる元園長の気持ちを読み取る。 ●俳句の知識を理解する。	●俳句の形式、句切れに注意して音読する。	●俳句の背景にあるものを想像して、説明する文章を書く。	●表現の細部を考え、作者の認識を捉える。 ●元園長に対する、わたしの気持ちを読み取る。	●比喩表現の効果に注意して、読む。 ●俳句の形式やルールを知る。 ●常用漢字表に慣れ、参照する態度を身につける。 ●文体によって表現の効果の違いがあることを知る。	○パソコン ○大型テレビ ●俳句の感想文を書いて発表する。 ●小説を読んで、感想文を書き、発表して集団討論をする。	●作品の時代背景をほぼ理解している。 ●俳句の形式、句切れに注意して音読できる。 ●元園長の特徴や指言葉の意味に注意して読む。	●気に入った俳句の背景を想像して、作者の感動を説明する文章を書くことができる。 ●元園長に対する、わたしの気持ちをほぼ理解できる。	●比喩表現の効果に注意して、読み進めている。 ●俳句の形式やルールを知る。 ●常用漢字表を参照する習慣が身につく。 ●文体による表現の効果の違いがわかる。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物			
	6	24	2	命の共鳴	●少年、発見する読み2、ディズニーランドという聖地、運動会、武蔵野の風景、話す聞く2、文字を見抜く3、文法3、種をまく人	●海に対する少年の気持ちを読み取る。 ●評論を読んで、文明社会の状況について理解を深める。	●自然や社会の現象の背景について積極的に考える。	●社会や自然の現象の背景について考えをもち、発言する。	●必要に応じて、文章の構成を考え、内容について要約を行う。	●社会や自然の現象の背景について考えをもち、文章の内容を読み取る。	●文章の構成を考えて読む。 ●日本語と英語について音節の違いを理解する。	●自然や社会の背景について、関心がある。	●社会や自然の現象の背景について考えをもち、発言している。	●必要に応じて、文章の構成を考え、内容について要約を行える。	●社会や自然の現象の背景について考えをもち、文章の内容を自分なりに読み取る。	●文章の構成を考えて読むことができる。 ●日本語と英語の音節の違いがあることを知る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物		
	7					●言葉との出会い、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集、漢詩、おくのほそ道、遠野物語、書く2、文字を見抜く4、文法4書写:書き初め	●古典の和歌や漢詩、紀行文を読み、現代に通じる思いを感じ取る。 ●遠野物語を読み、異界を語り伝えた筆者の心の体験を読み取る。	●古典が現代に通じる文章であることを関心をもって読む。	●古典特有の文体に慣れて、音読する。	●遠野物語の「オクナイサマ」と「鳥御前」の語り手の気持ちを想像して文章を書く。	●異界を語り伝えた人の気持ちを積極的に読み取る。	●古典特有の表現、漢詩の種類や構成について、理解を深める。	●古典が現代に通じる文章であることを関心をもって読むことができる。	●古典特有の文体に慣れて、音読している。	●遠野物語の話の語り手の気持ちを想像して、文章を書く。	●異界を語り伝えた人の気持ちを積極的に読み取り、想像して読む。	●古典特有の表現、漢詩の種類や構成などを、ほぼ理解している。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
2	9	18	3	未来への問い															
	10																		
	11	18	4	今に向かって															
	12																		
3	1	27	5	世代を超えて	●パール・ハーバーの授業、故郷、夕空晴れて、文字を見抜く5、情報と表現2、顔の見える国際交流、灯台	●日本人として厳しい立場に置かれた私が、どのように救われ、未来に向けて変化したかを読み取る。 ●作品の時代背景を理解し、登場人物たちが失ったものと、未来へのメッセージを読み取る。 ●人物の関わりをとらえ、それぞれの思いを読み取る。 ●顔の見える国際協力とは何を意味するか、読み取る。 ●時代と僕の成長、灯台守との関わりを読み取る。	●文章表現を通して、それぞれの思いを読み取り、未来へのメッセージとして何が書かれているか、感じ取る。	●人物のそれぞれの思いがどのように描かれているか、読み取った内容を発表し合う。	●人物の関わりを通して、どのように変化しているか、短い文章を書き、説明してみよう。	●それぞれの思いがどのように関わり、どのような未来へのメッセージが描かれているか、理解する。	●印象に残る表現を捉え、それがどのような意味かを読み取る。	○パソコン ○大型テレビ ●評論や説明文を読んで、自分の意見を述べ、集団討論をする。	●文章表現からそれぞれの思いを読み、どのような未来へのメッセージが描かれているか、課題としての意識をもって、読んでいく。	●人物のそれぞれの思いを自分なりに把握し、発表している。	●人物の関わりを通して、どのような変化が起きたか、自分なりに説明できている。	●人物の関わりを通して、どのように影響し、未来へのメッセージとして何が描かれているか、ほぼ理解している。	●印象に残る表現を捉え、その意味をほぼ理解している。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
	2																		
	3																		

平成25年度 社会 第1学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準B				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
1学期	4	16	世界のさまざまな地域	世界のすがた	・地球のすがた ・地球儀と世界地図 ・位置、地域区分、国名等	世界のさまざまな地域への関心、地名や地図への関心をもっている。	地球上の位置関係等を多面的・多角的に考察している。	地球儀や世界地図を活用する基礎的な技能を身に付けている。	世界の地域構成等を大まかな形状や位置関係をもとに理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●国のカルタ作り	世界のさまざまな地域への関心、地名や地図への関心をもつことができる。	地球上の位置関係等を多面的・多角的に考察することができる。	地球儀や世界地図を活用する基礎的な技能を身に付けることができる。	世界の地域構成等を大まかな形状や位置関係をもとに理解することができる。	定期試験 レポート 課題追求
	5			世界各地の人々の生活と環境	・世界の気候区分 ・寒帯、冷帯、温帯の気候 ・乾燥帯、熱帯の気候										
	6	11	原始・古代の日本と世界	文明のおこりと日本のはじまり	・人類の歴史、石器時代 ・世界の文明 ・日本列島の文化 ・東アジアのなかの日本 ・古墳文化、ヤマト王権	原始・古代の日本と世界への関心をもち、資料などを用いて自主的に調べたりしている。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめている。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択し、まとめている。	原始・古代の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解し、その知識を身に付けている。	○実物投影機 ●キーワードで表す時代区分	原始・古代の日本と世界への関心をもち、資料などを用いて積極的に調べることができる。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめることができる。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択し、まとめることができる。	原始・古代の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解し、その知識を身に付けることができる。	定期試験 レポート 課題追求
	7			律令国家の成立	・隋と唐、イスラム帝国 ・飛鳥文化、聖徳太子の政治 ・平城京、律令国家のあゆみ ・大陸の影響を受けた文化										
2学期	9	7	世界の諸地域	貴族の政治と武士の登場	・平安京、地方の政治 ・武士の台頭と院政 ・国風文化	世界の諸地域について関心をもち、さまざまな資料などを用いて、自主的に調べたりしている。	世界の諸地域について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめている。	世界の諸地域について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択し、まとめている。	世界の諸地域について、地理的事象を関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●アメリカ ディベート	世界の諸地域について関心をもち、さまざまな資料などを用いて、自主的に調べることができる。	世界の諸地域について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめることができる。	世界の諸地域について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択し、まとめることができる。	世界の諸地域について、地理的事象を関連付けながら理解し、その知識を身に付けることができる。	定期試験 レポート 課題追求
	7	7		アジア州	・アジア州をながめて ・中国、インド、東南アジア ・多様な民族と経済成長										
	10	7		ヨーロッパ州	・ヨーロッパ州をながめて ・文化の共通性、統合 ・課題とロシア連邦										
	11	7		アフリカ州	・アフリカ州をながめて ・産業と新たな開発 ・課題と展望										
	12	5		北アメリカ州	・北アメリカ州をながめて ・広大な国土と農業、工業 ・アメリカで生まれた文化										
	12	5		南アメリカ州	・南アメリカ州をながめて ・自然環境と開発の進行										
	12	5		オセアニア州	・オセアニア州をながめて ・アジアとのつながり										
3学期	1	8	世界のさまざまな地域の調査	地域調査	・調査テーマ、調査準備 ・国の調査、地域の調査 ・わたしたちの世田谷 ・調査のまとめ、発表	地域調査への関心をもっている。	地域調査を多角的に調べようとする。	さまざまな資料を用い、まとめている。	地域調査に必要な知識を身に付けている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●レポート作成、発表	地域調査への関心をもっている。	地域調査を多角的に調べようとする。	さまざまな資料を用い、まとめている。	地域調査に必要な知識を身に付けている。	定期試験 実地調査 課題追求
	2	9	中世の日本と世界	武士の政権と東アジアのうごき	・宋王朝とモンゴル帝国 ・平氏政権と鎌倉幕府の成立 ・武士と農民、鎌倉文化 ・元寇と鎌倉幕府の滅亡	中世の日本と世界について、関心をもち、資料などを用いて自主的に調べたりしている。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめている。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択し、まとめている。	中世の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解している。	○実物投影機 ●キーワードで表す時代区分	中世の日本と世界について、関心をもち、資料などを用いて自主的に調べることができる。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめることができる。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択し、まとめることができる。	中世の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解し、その知識を身に付けることができる。	定期試験 レポート 課題追求
	3	8		武家社会の展開と民衆	・室町幕府、東アジア世界 ・農村の自治と産業の発達 ・応仁・文明の乱、室町文化										

平成25年度 社会 第2学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
1	4	16	近世の日本と世界	ヨーロッパの拡大とアジアの交易	・ヨーロッパ世界の形成 ・航路開拓とヨーロッパの拡大 ・アジアの交易	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○実物投影機 ●歴史問題についてのレポート、意見発表	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	5	5		戦国大名と全国統一	・戦国大名の登場 ・鉄砲とキリスト教の伝来 ・全国統一 ・秀吉の政策 ・南蛮文化と桃山文化	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。		戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから戦国大名の姿を捉え、表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	6	11		江戸幕府の成立と進展	・江戸幕府の成立と大名統制 ・身分制度の確立と農村の様子 ・貿易奨励から鎖国へ ・外国や周辺地域との関係	幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的・目的の達成について、キリスト教や海外の動きと関連づけて考察している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみ、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。		幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的・目的の達成について、キリスト教や海外の動きと関連づけて考察している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみ、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	7	14		産業の発展と町人の文化	・諸産業の発達 ・都市と商業の発達 ・元禄時代の人々のくらし ・元禄文化と学問の進歩	幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的・目的の達成について、キリスト教や海外の動きと関連づけて考察している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみ、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。		幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的・目的の達成について、キリスト教や海外の動きと関連づけて考察している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみ、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について地図や資料から読み取りまとめている。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	9	9		世界から見た日本のすがた	世界と日本の地形・気候・人口・災害	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の地形・気候・人口・災害について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	10	10		九州地方	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵み	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	11	11		中国四国地方	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵み	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	12	12		近畿地方	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵み	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
	12	12		中部地方	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵み	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	生活の舞台、人々の営み、都市の発展、自然の恵みについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート
2	1	1	近世の日本と世界	社会の変動と欧米諸国の接近	・社会の変動と幕府政治の改革 ・幕府政治の改革と欧米諸国の接近 ・新しい学問と思想 ・江戸後期の文化と民衆のくらし	江戸後期の文化の内容について、様々な資料を使って意欲的に調べている。	幕府政治の改革の理由や幕府の改革の目的と成果、田沼の政治や寛政の改革の成果について、社会の変動と関連づけて、近世の特色を考察し、図や言葉で表現している。	欧米諸国が日本沿岸に航した様子について、資料を使って調べ、図表などにまとめている。	享保の改革の時代背景や、改革の内容、成果、田沼の政治や寛政の改革の目的や内容、江戸後期の文化の特色について、元禄文化と対比して考察し、表現している。	○実物投影機 ●歴史問題についてのレポート、意見発表	江戸後期の文化の内容について、様々な資料を使って意欲的に調べている。	幕府政治の改革の理由や幕府の改革の目的と成果、田沼の政治や寛政の改革の成果について、社会の変動と関連づけて、近世の特色を考察し、図や言葉で表現している。	欧米諸国が日本沿岸に航した様子について、資料を使って調べ、図表などにまとめている。	享保の改革の時代背景や、改革の内容、成果、田沼の政治や寛政の改革の目的や内容、江戸後期の文化の特色について、元禄文化と対比して考察し、表現している。	小テスト・課題提出、定期考査
	2	2		近代社会の成立	・近代をむかえる東アジア・アメリカの発展 ・アメリカの独立とフランス革命・産業革命と近代社会 ・欧米諸国の勢力拡大・欧米諸国のアジア進出	近代をむかえる東アジア・アメリカの発展について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	アメリカの独立とフランス革命・産業革命と近代社会について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	欧米諸国の勢力拡大・欧米諸国のアジア進出について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近代をむかえる東アジア・アメリカの発展について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		近代をむかえる東アジア・アメリカの発展について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	アメリカの独立とフランス革命・産業革命と近代社会について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	欧米諸国の勢力拡大・欧米諸国のアジア進出について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近代をむかえる東アジア・アメリカの発展について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・課題提出、定期考査
	3	3		身近な地域を見直そう	世田谷区の地形図の読み取り 地域調査	地域図の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し調査に取り組んでいる。	調査テーマについて、自然環境や他地域との結びつきなどの観点から、多面的・多角的に考察している。	地形図の読み取り方を身に付けている。	地形図の読み取り方を身に付けている。		地域図の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し調査に取り組んでいる。	調査テーマについて、自然環境や他地域との結びつきなどの観点から、多面的・多角的に考察している。	地形図の読み取り方を身に付けている。	地形図の読み取り方を身に付けている。	地図作業

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準B				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
歴史的分野	4月 5月 6月	40	歴史 第5章 二つの世界大戦と日本	1. 第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦前後の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学ぶ	第一次世界大戦前後の歴史的事象を多面的・多角的に考察し、表現できる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を資料等を使ってまとめる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を理解し、時代の移り変わりを把握する	○実物投影機 ●キーワードで表す時代区分	○実物投影機 ●戦争に関するレポートと発表	第一次世界大戦前後の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学ぶ	第一次世界大戦前後の歴史的事象を多面的・多角的に考察することができる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を資料等を使ってまとめることができる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を理解し、時代の移り変わりを把握することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	2. 第二次世界大戦と日本			ファシズムの動き 日中戦争 第二次世界大戦 太平洋戦争	第二次世界大戦前後の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学ぶ	第二次世界大戦前後の歴史的事象を多面的・多角的に考察し、表現できる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を資料等を使ってまとめる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を理解し、時代の移り変わりを把握する	○実物投影機 ●戦争に関するレポートと発表	第二次世界大戦前後の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学ぶ	第二次世界大戦前後の歴史的事象を多面的・多角的に考察することができる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を資料等を使ってまとめることができる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を理解し、時代の移り変わりを把握することができる	定期試験 プリント レポート ワーク	
	10月 11月 12月		歴史 第6章 現代の日本と世界	1. 国際社会への復帰 2. 日本経済の成長	戦後の日本と世界 日本の経済成長 冷戦下の世界	戦後の日本と世界の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学ぶ	戦後の日本と世界の歴史的事象を多面的・多角的に考察し、表現できる	戦後の日本と世界の歴史的事象を資料等を使ってまとめる	戦後の日本と世界の歴史的事象を理解し、時代の移り変わりを把握する	○実物投影機 ●キーワードで表す時代区分	○実物投影機 ●戦争に関するレポートと発表	戦後の日本と世界の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学ぶ	戦後の日本と世界の歴史的事象を多面的・多角的に考察することができる	戦後の日本と世界の歴史的事象を資料等を使ってまとめることができる	戦後の日本と世界の歴史的事象を理解し、時代の移り変わりを把握することができる
公民的分野	4月	70	公民 序章 私たちと現代社会		生活と文化 現代社会	現代社会について関心をもち	現代社会について多面的・多角的に考察し、表現できる	現代社会について様々な資料から読み取る	○実物投影機 ○新聞記事の活用	○実物投影機 ○新聞記事の活用	現代社会について関心をもち、意欲的に考察することができる	現代社会について多面的・多角的に考察することができる	現代社会について様々な資料から読み取ることができる	現代社会を様々な視点から理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	5月 6月			第1編 私たちの生活と政治	第1章 人権の尊重と日本国憲法	民主政治の成立 基本的人権の保障 人権思想の新しい展開	人権尊重の考えと法に対する関心をもち	我が国の政治が日本国憲法にもとづいて行われていることについて考察し、表現する	法の意義と法にもとづく政治の大切さを、人権尊重の考えと法に関する様々な資料から読み取る	○新聞記事の活用 ●裁判事例などをもとにし、討論形式で行う。授業テーマについてマイオピニオン(意見表明)	人権尊重の考えと法に対する関心をもち、意欲的に考察することができる	我が国の政治が日本国憲法にもとづいて行われていることについて考察し、表現することができる	法の意義と法にもとづく政治の大切さを、人権尊重の考えと法に関する様々な資料から読み取ることができる	人権尊重の考えを基本的な人権を中心に深め、理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	7月 9月				第2章 国民主権	国会 内閣 裁判所 地方自治 民主政治	国民主権を実現するために、様々な政治形態があることを考察する	国と地方公共団体政治や裁判、選挙などに関する資料を読み取る	○新聞記事の活用 ●テーマ課題についての討論を行う。授業テーマについてマイオピニオン(意見表明)	○新聞記事の活用 ●テーマ課題についての討論を行う。授業テーマについてマイオピニオン(意見表明)	国民主権を実現するために、様々な政治形態があることを考察することができる	国と地方公共団体政治や裁判、選挙などに関する資料を読み取ることができる	国民主権を実現するための様々な政治形態を理解することができる	国民主権を実現するための様々な政治形態を理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	10月 11月				第3章 平和主義	平和主義 安全保障	平和主義について関心をもち	平和主義について考察する	平和主義について様々な資料から読み取る	○新聞記事の活用	○新聞記事の活用	平和主義について関心をもち、意欲的に考察することができる	平和主義について考察することができる	平和主義について様々な資料から読み取ることができる	平和主義について理解することができる
	12月	第2編 私たちの生活と経済	第1章 私たちのくらしと経済	市場経済のしくみ	市場経済について関心をもち	市場経済のしくみを考察する	価格の変動や企業努力についての資料を読み取る	市場経済のしくみを理解する	○新聞記事の活用	○新聞記事の活用	市場経済について関心をもち、意欲的に考察することができる	市場経済について考察することができる	価格の変動や企業努力についての資料を読み取ることができる	市場経済のしくみを理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	12月		第2章 生産のしくみと企業	現代の企業 環境をこえる経済	企業と国際経済について関心をもち	企業の役割と社会的責任について考察する	企業のしくみと日本経済の変化を資料から読み取る	○新聞記事の活用 ●経済ニュースを活用したレポート。	○新聞記事の活用 ●経済ニュースを活用したレポート。	企業と国際経済について関心をもち、意欲的に考察することができる	企業と国際経済について関心をもち、意欲的に考察することができる	企業の役割と社会的責任について考察することができる	企業のしくみと日本経済の変化を資料から読み取ることができる	日本経済のしくみと世界経済の変化について理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	1月		第3章 政府の役割と財政 第4章 社会保障のしくみ	財政のはたらき 租税 社会保障 国民福祉	財政と社会保障のしくみについて関心をもち	財政や租税、社会保障について考察する	財政や租税、社会保障に関する資料を読み取る	○新聞記事の活用	○新聞記事の活用	財政と社会保障のしくみについて関心をもち、意欲的に考察することができる	財政や租税、社会保障について考察することができる	財政や租税、社会保障に関する資料を読み取ることができる	財政のはたらきや租税の意義、社会保障のはたらきを理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク	
	2月		第3編 国際社会を生きる	第1章 今日の国際社会	国際社会のしくみについて関心をもち	国際社会のしくみと課題について考察する	国際社会の現状を資料から読み取る	国際社会のしくみと課題を理解する	○新聞記事の活用 ○ニュース画像 ●国際問題についてのミニ論文と意見発表	○新聞記事の活用 ○ニュース画像 ●国際問題についてのミニ論文と意見発表	国際社会のしくみについて関心をもち、意欲的に考察することができる	国際社会のしくみと課題について関心をもち、意欲的に考察することができる	国際社会の現状を資料から読み取ることができる	国際社会のしくみと課題を理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	3月			第2章 持続可能な未来へ	人口増加問題 環境問題 南北問題	地球規模の諸問題について関心をもち	地球規模の諸問題について考察する	地球規模の諸問題に関する資料を読み取る	地球規模の諸問題の現状と課題を理解する	○新聞記事の活用 ○視聴覚教材の活用 ●ESDについて意見発表	○新聞記事の活用 ○視聴覚教材の活用 ●ESDについて意見発表	地球規模の諸問題について関心をもち、意欲的に考察することができる	地球規模の諸問題について関心をもち、意欲的に考察することができる	地球規模の諸問題に関する資料を読み取ることができる	地球規模の諸問題の現状と課題を理解することができる

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解		数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	
1	4	26	正の数・負の数	①正の数・負の数	符号のついた数の大小	正の数と負の数の四則に関心をもち、その意味や計算の方法を考えたり、計算したりしようとしている。	計算の順序を基にして、正の数と負の数の四則やかけがえの計算の順序を考えたりすることができる。	正の数と負の数の四則計算をしたり、正の数と負の数の数を用いて事象を式で表現したり処理したりできる。	正の数と負の数の必要性や意味、四則計算の方法などを理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●「-」のついた数を見だし、その意味について話し合う。	正負の数に関心をもち、事象を表そうとする。 四則計算に興味をもち、計算方法を考えたり、計算しようとする。 提出物が出せる。	「(マイナス)」の意味がわかり、四則の計算方法を見いだせる。	基本的な計算を正しくできる。 四則の計算や立式が行える。	「(マイナス)」の必要性や意味を理解し、四則の計算方法を理解している。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集 ②見方・考え方 定期考査プリント ③技能 定期考査プリント ④知識・理解 定期考査
	5			②加法・減法	加法と減法の混じった計算										
	6	16	文字式	①文字式	文字を使った式 文字式の表し方 1次式 1次式の計算 文字式の活用 (不等式の意味)	数量の関係を式に表したり、式の意味を説明したりしようとしている。	1次式の計算を、日常的な場面や具体的な数の計算などと関連付けて考えることができる。	数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったり、文字を用いた式を計算することができる。	文字を用いることの必要性や意味、文字を用いた式の計算の方法などを理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●式が表わす意味について考えて、発表し合う。	文字式の意味を理解し、数量を文字式にしたり、式の意味を読み取ったりしようとする。 提出物が出せる。	文字式の計算は、数の計算と同じように操作できることを、計算法則などに関連付けて理解している。	積や商の表し方にしがついて、数量や法則を文字式を使って表すことができる。 1次式の計算ができる。	1つの文字に数値を代入して、式の値を求めることができる。 項、係数、1次式の意味を理解している。	
	7			②式の計算											
2	9	18	1次方程式	①方程式	等式と不等式 方程式 等式の性質 1次方程式の解き方 1次方程式の活用 比例式	1次方程式や比例式を活用することに関心をもち、問題の解決に生かそうとしている。	1次方程式を活用することに関心をもち、問題の解決に生かそうとしている。	数量の関係を等式や不等式で表したり、簡単な1元1次方程式を解くことができる。	式の性質や1元1次方程式の解き方などを理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●解く手順や工夫について話し合う。	方程式を解こうとする。 数量の関係を方程式で表そうとする。 提出物が出せる。	一次方程式の解法の手順を説明できる。 解の吟味ができる。	整数係数の方程式を解くことができる。 数量の関係から方程式をつくることができる。	方程式、解、解法の手順を説明できる。 数量の大小を不等式で表すことができる。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集 ②見方・考え方 定期考査プリント ③技能 定期考査プリント ④知識・理解 定期考査
	10			②1次方程式の活用											
	11	18	比例と反比例	①比例	関数 比例 座標と比例のグラフ 反比例 反比例のグラフ 比例と反比例の活用	比例、反比例が実生活と深く関わっていることに気づき、比例、反比例の見方や考え方を活用しようとする。	二つの数量の関係を、変化する対応の様子から、比例、反比例の関係を見いだすことができる。	比例、反比例の表、式、グラフを用いて身の回りの事象を表現したり、処理したりすることができる。	比例定数の意味、グラフの形など比例、反比例の特徴を理解している。 座標、変域の意味を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●表やグラフについて、比例定数を変えて調べるなどして、その特徴について話し合う。	身の回りの事象の中にある二つの数量関係から比例、反比例の関係を3つ以上見いだすことができる。 提出物が出せる。	比例、反比例の関係を判断し、特徴の違いを指摘できる。 与えられた条件から式を予想できる。	表、グラフ、式を表すことができる。 2つの変数を用いて与えられた条件から式を立てることができる。	具体的な事象で比例や反比例を判断できる。 座標、変域を求めることができる。	
	12			②反比例											
3	1	12	平面図形	①平面図形の基礎	直線と角 円 図形の移動 基本の作図 作図の活用 (三角形の内心と外心)	基本的な作図について関心をもち、基本的な作図方法を用いて目的に応じた図形をかこうとする。	基本的な作図の方法を対称性に着目して調べるができる。	定規やコンパスなどを使って平面図形を移動したり、基本的な作図をすることができる。	基本的な作図の方法や、円の半径と接線の関係、弧や弦の意味を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●直線や平面図形の運動によって構成される図形について調べる。	作図方法を使うとうとする。 提出物が出せる。	基本的な作図の方法を対称生から見直しできる。	平面図形を移動したり、基本的な作図ができる。	作図方法を言葉で言える。接線、弧、弦を正しく図示できる。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集 ②見方・考え方 定期考査プリント ③技能 定期考査プリント ④知識・理解 定期考査
	2			②いろいろな作図											
	3	12	空間図形	①空間図形の基礎	いろいろな立体 直線や平面の位置関係 面が動いてできる立体 立体の投影図 立体の展開図 円とおうぎ形 立体の表面積 立体の体積 球の表面積と体積	空間図形を平面に表すことに関心をもち、見取り図や展開図を用いて空間図形の性質を調べようとする。	目的に応じて空間図形を平面図形に帰着させてとらえるなど、空間図形を多面的に見ることができる。	空間図形を見取り図、展開図、投影図によって適切に表現したり、図形の計量をしたりできる。	空間における直線や平面の位置関係を理解している。柱体や錐体や球の表面積や体積の求め方を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●いろいろな立体を、根拠を明確にして分類することについて話し合う。	見取り図や展開図を用いて問題解決しようとする。 公式を使って求積計算をしようとする。 提出物が出せる。	動いた跡にできる立体を予想できる。 見取り図や展開図、投影図を使うことができる。	基本的な図形の求積計算ができる。 立体を表面上に表す方法として投影図があることを知り、その書き方などを理解できる。	見取り図で位置関係を言える。 求積公式を言える。	
	4			②図形の計量											
3	2	12	資料の整理	①資料の活用	度数分布 ヒストグラム 相対度数 代表値 近似値と有効数字 資料の活用	資料を整理したり、ヒストグラムや代表値などを用いてその傾向を読み取ったりしようとしている。	度数分布表やヒストグラムや代表値などから、その傾向を読み取ることができる。	資料を度数分布表やヒストグラムで表したり、相対度数や代表値を求めたりすることができる。	ヒストグラムや代表値、相対度数、誤差や近似値の意味を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●資料を整理し、資料の傾向をとらえて説明する。	度数分布表を整理しヒストグラムを作ろうとする。 提出物が出せる。	ヒストグラムや代表値などから、その傾向を読み取ることができる。	度数分布表からヒストグラムを書くことができる。 代表値を求めることができる。	度数分布表やヒストグラムがわかる。 代表値の意味を理解している。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集 ②見方・考え方 定期考査プリント ③技能 定期考査プリント ④知識・理解 定期考査
	3														

1～3年の復習など

1～3年の復習など

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法		
						関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解			
1	4	14	式の計算	①式の計算	文字式のしくみ 式の加法・減法 式の乗法・除法 式の値 等式の変形 文字式による説明	文字式の計算をしようとし、等式の変形を利用しようとする。	目的に応じて式を変形し数量関係を考察することができる。	事象を数式に表し、文字式が表す意味を理解することができる。	同類項のまとめ方や単項式の乗除の計算方法を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●数量の関係を文字式を使って表現し、その意味を読み取ったりして命題が成り立つことを説明する。	文字式の計算に関心を持ち、計算しようとする。 提出物を出すことができる。	目的に応じて自由に式を変形し、命題が成り立つことを的確に説明し、数量関係を考察することができる。	単項式、多項式の計算ができ、数量関係を文字式に表すことができる。	文字式の計算方法を理解している。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集		
				②式の利用													
	5	14	連立方程式	①連立方程式	連立方程式とその解 連立方程式の解き方 連立方程式の活用 (連立三元一次方程式)	連立方程式を活用することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。	連立方程式の形に応じた解き方を考えることができる。問題を解決するためによりよい方法を考えることができる。	数量の関係を連立方程式で表し、解くことができる。	加減法、代入法の解き方の手順を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●連立方程式のいろいろな解法の下さについて話し合う。	問題に応じて文字式を消去する方法を見出し、解き方を考えようとする。 提出物を出すことができる。	問題に応じた解き方を考えることができる。 数量関係をとらえ連立方程式を作ることができる。	連立方程式を用いて解くことができる。	加減法、代入法の解き方の手順を理解している。	②見方・考え方 定期考査 プリント ③技能 定期考査 プリント		
				②連立方程式の活用													
6	17	1次関数	①1次関数	1次関数 変化の割合 1次関数のグラフ 直線の式の求め方 2元1次方程式のグラフ 連立方程式の解とグラフ 1次関数の活用	1次関数の関係に関心を持ちその特徴を調べようとする。	式や表、グラフからその特徴を考察することができる。	関数の性質を利用して事象を表現することができる。	1次関数や方程式のグラフの特徴を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●一次関数のグラフの特徴を、比例のグラフと比較したり変化の割合と関連付けたりしながら考える。	1次関数の関係を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	簡単な事象を1次関数を用いて考察することができる。	1次関数や方程式のグラフを活用し、事象を表現することができる。	用語やグラフの書き方を理解している。	④知識・理解 定期考査			
			②方程式と1次関数														
2	10	17	図形の性質の調べ方	①平行線と多角形	平行線と角 多角形の角 合同な図形 三角形の合同条件 図形の性質の確かめ方	図形の性質に関心を持ち、調べようとして、証明の方法について考えたりしようとする。	根拠となる事象を明らかにして結論を証明することができる。	仮定、結論を区別し、それらを式などで表すことができる。	三角形の合同条件や基本的な図形の性質を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●対頂角や平行線の性質を見出し、それらを根拠を明確にして説明する。	図形の性質を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	基本的な図形の性質を利用して、与えられた図形の性質を考察することができる。	図形の証明問題を言葉や式を用いて表現することができる。	三角形の合同条件や基本的な図形の性質を理解している。			
				②図形の合同													
	11	19	三角形・四角形	①三角形	二等辺三角形 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 特別な平行四辺形 平行線と面積	三角形や四角形の性質に関心を持ち調べようとする。	定義定理条件を利用して図形の性質を考察することができる。	推論の過程を正しく表現し、証明することができる。	図形の定義と定理やいろいろな性質を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●二等辺三角形や正三角形、平行四辺形の性質を見出し、それらを根拠を明確にして説明する。	図形の性質を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	図形の性質を既習の定理をもとに、活用し考察することができる。	図形の性質を既習の定理をもとに、証明することができる。	図形の定義と定理を理解している。			
				②四角形													
3	2	11	確率	①確率	ことがらの起こりやすさ 確率の求め方 いろいろな確率	起こりうる場合を順序良く整理して調べようとする。	場合の数や確率の考えを用いて事象を考察することができる。	いろいろな事象の確率を図や表を使って求めることができる。	確率の考え、図や表の意味と利用の仕方を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●実験から求めた相対度数と、同様に確からしいことを基にして求めた確率を比較し、その関係について話し合う。	確率に関心を持ち、確率を求めたり、性質を調べたりしようとする。 提出物を出すことができる。	場合の数や確率の考えを用いて事象を考察し、説明することができる。	いろいろな事象の確率を図や表を使って求めることができる。	確率の求め方が理解できる。			
	3																
まとめ																	

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT 等 ●ことばの力を 高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解	
1	4	18	式の計算	①多項式の乗法 ②因数分解	・式の乗法 ・式の展開 ・乗法公式 ・素因数分解 ・因数分解 ・式の活用	公式のよさに気づき公式を用いて展開や因数分解をしようとする。	展開の仕方や因数分解の方法を考察することができる。	展開、因数分解ができる。	展開、因数分解の仕方、証明への利用を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●数や図形の性質が成り立つことを、文字式を用いて説明する。	展開、因数分解に興味を持ち、計算しようとする。提出物が出せる。	目的に応じて、展開や因数分解の方法を考察することができる。	展開、因数分解の手順を説明することができる。	展開、因数分解の方法を理解している。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集 ②見方・考え方 定期考査プリント ③技能 定期考査プリント ④知識・理解 定期考査
	5														
	6	15	平方根	①平方根 ②平方根の計算	・平方根 ・平方根の大小 ・有理数と無理数 ・平方根の乗除 ・平方根の加減 ・平方根の活用(無理数の証明)	平方根の必要性を知り、計算の仕方を調べようとする。	平方根の計算の仕方を考察することができる。	平方根の計算ができる。	平方根の意味、計算の仕方を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●平方根の近似値を求める方法について話し合う。	平方根の意味を理解し、根号を使おうとする。提出物が出せる。	平方根の大小関係や、計算方法を考察することができる。	根号の中を小さくしたり、分母の有理化をしたりすることができる。	根号のついた数の計算方法を理解し、答えを導くことができる。	
	7														
	9	16	関数 $y=ax^2$	①関数 $y=ax^2$	・2乗に比例する関数 ・関数 $y=ax^2$ のグラフ ・関数 $y=ax^2$ の値の変化 ・関数 $y=ax^2$ の活用 ・いろいろな関数(放物線と直線の交点を式で)	関数 $y=ax^2$ のグラフや値の変化に関心を持ち調べようとする。	グラフの特徴や1次関数との違いを考察することができる。	グラフをかいたり、変化の割合を求めたりすることができる。	グラフの特徴、1次関数との違いを理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●2次方程式のいろいろな解法のよさについて話し合う。	関数のグラフや変化の割合について調べようとする。提出物が出せる。	簡単な事象を関数を用いて考察することができる。	関数 $y=ax^2$ とグラフを活用し、事象を表現することができる。	用語の意味や、グラフの書き方を理解している。	
	10	20													
	11	9	円	①円周角と中心角	・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円周角の定理の活用(円の内接する四角形、接弦定理、方べきの定理、重心)	円周角や中心角に関心を持ち、それを活用しようとする。	円周角と中心角の関係を考察することができる。	円周角と中心角の関係を理解している。	円周角の意味や、円周角と中心角の関係を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●円周角と中心角の関係を等しい弧に対する円周角の性質について話し合う。	円周角と中心角の関係を理解し、問題を出せる。	図形の性質を、円周角と中心角の関係を考察することができる。	円周角と中心角の関係を理解し、問題を出せる。	円周角と中心角の関係を理解している。	
	12	12													
2	1	8	三平方の定理	①三平方の定理 ②三平方の定理の活用	・三平方の定理 ・三平方の定理の逆 ・平面図形での活用 ・空間図形での活用	三平方の定理に関心を持ち、それを問題の解決に活かそうとする。	三平方の定理の証明を知り、考察することができる。	三平方の定理を用いて、線分の長さや、2点間の距離を求めることができる。	三平方の定理の意味を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●三平方の定理のいろいろな証明について話し合う。	辺の長さに着目し、三平方の定理を用いようとする。提出物が出せる。	三平方の定理や定理の逆の証明を考察することができる。	三平方の定理を用いて、図形の問題を解くことができる。	三平方の定理の意味、三平方の定理が用いられる場面を理解している。	1～3年の復習など
	2														
	3	27	標本調査	①標本調査	・全数調査と標本調査 ・標本調査による推定 ・標本調査の活用	標本調査に関心を持ち、その必要性和意味を考察しようとする。	標本調査の必要性和意味について考え、説明することができる。	標本調査を無作為に抽出し整理することができる。	標本調査の必要性和意味、全数調査との違いを理解している。	○デジタル教科書 ○インターネット ○実物投影機 ●標本調査の必要性和意味について考える。	標本調査を行い、問題の解こうとする。提出物が出せる。	標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができる。	標本調査を無作為に抽出し整理し、問題を解決することができる。	標本調査を行い、問題を解決している。	
	3	27													

【1分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象への知識・理解		自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象への知識・理解	
1	4	26	単元2 物質のすがた	1章 いろいろな物質 2章 気体の発生と性質 3章 物質の状態変化 4章 水溶液	いろいろな物質の見分け方 いろいろな気体の発生方法と性質 状態変化と質量・温度・粒子の運動の関係 (水溶液は溶けて透明なもの、混ざり合っていて不透明なものがあること) 物質の溶解と粒子や溶解度・濃度について	身のまわりの物質や状態変化、物質の溶解、気体の性質に関心をもち、意欲的に探求しようとする。また、現象を日常生活とのかかわりでみようと	身のまわりの物質や状態変化、物質の溶解、気体の性質に関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって実験を行い、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	実験や器具の基本操作を身につけるとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身につけている。物質を区別したり、気体の性質を調べたりする方法等を身につけている。	物質の性質のちがいや薬品・器具の使い方、調べの方法を理解し、知識を身につけている。溶解や状態変化のようすを、粒子のモデルを通して理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●それぞれ違う白色の粉末を、何か調べる。その実験を自分たちで計画して、発表する。	身のまわりの物質や状態変化、物質の溶解、気体の性質に関心をもち、意欲的に探求しようとする。また、現象を日常生活とのかかわりでみようと	身のまわりの物質や状態変化、物質の溶解、気体の性質に関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって実験を行い、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	実験や器具の基本操作を身につけるとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身につけている。物質を区別したり、気体の性質を調べたりする方法等を身につけている。	物質の性質のちがいや薬品・器具の使い方、調べの方法を理解し、知識を身につけている。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査 パフォーマンステスト
	5														
	6														
	7														
	9														
2	10	28	単元3 身近な物理現象	1章 光の性質 2章 音の性質 3章 力と圧力	光の進み方・反射・屈折・凸レンズ 音の伝わり方・大きさや高さ いろいろな力のはたらきや表し方、圧力、重さと重力の違い (圧力はあらゆる向きに、同じ大きさではたらくこと)	光・音・力や圧力などの現象を日常生活と関連付けてみようと。光・音・力や圧力に関心をもち、意欲的に探求しようとする。	光・音・力や圧力に関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって実験を行い、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。光・音・力や圧力の規則性などを見いだすことができる。	実験や器具の基本操作、作図の方法を身につけるとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理の仕方等を身につけている。	光・音・力や圧力の性質の知識を身につけ、日常のさまざまな現象と関連付けて理解している。光・音・力や圧力の規則性を理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●全身がうつる鏡の大きさを話し合い、発表する。	光・音・力や圧力などのさまざまな現象を日常生活と関連付けてみようと。光・音・力や圧力に関心をもち、意欲的に探求しようとする。	光・音・力や圧力に関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって実験を行い、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。光・音・力や圧力の規則性などを見いだすことができる。	実験や器具の基本操作、光や力の作図の方法を身につけるとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理の仕方等を身につけている。	光・音・力や圧力の性質の知識を身につけ、日常のさまざまな現象と関連付けて理解している。光・音・力や圧力の規則性を理解し、知識を身につけている。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	11														
	12														
	1														
3	2														
	3														

【2分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解		自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解	
1	4	28	序 身近な生物の観察 単元1 植物の生活と種類	身近な生物の観察 1章 植物の体のつくりとはたらき 2章 植物のなかま分け	校内の観察 観察と器具の使い方 花・葉・茎・根のつくりとはたらき 植物のなかま分け種子植物とそれ以外(植物の仲間の増やし方では、胞子のほかに前葉体や、雄株・雌株がかかわっていること。)	身近にいる生物や、植物のからだのつくりやはたらきに心をもち、進んで探究しようとするとともに、植物のはたらきを人間の生活や自然環境とのかかわりでみようとす	生物を目的意識をもって観察したり、いろいろな植物の共通性や多様性に気づき、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	顕微鏡やルーペ、双眼顕微鏡の基礎操作を習得し、目的に合った器具を用いて観察し、スケッチすることができる。	顕微鏡やルーペ、双眼顕微鏡の操作に必要な機能と名称を理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●植物の検索カードをつくり、みんなで発表する。	身近にいる生物や、植物のからだのつくりやはたらきに心をもち、探究しようとするともに、植物のはたらきを人間の生活や自然環境とのかかわりでみることができる。	生物を目的をもって観察したり、いろいろな植物の共通性や多様性に充分気づき、自らの考えを導いたりまとめたりして、わがやうく表現することができる。	植物のからだのつくりを観察した結果をまとめることができる。目的に合った観察器具(ルーペ・顕微鏡・双眼顕微鏡等)を用意し、適切に操作して観察や実験を進めることができる。	植物の各部分の基本的なつくりと名称や植物のはたらき、さまざまな植物の特徴について理解し、知識を身につけている。顕微鏡や双眼顕微鏡などの操作に必要なつくりと機能、名称の知識を身につけている。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査 パフォーマンステスト
	5														
	6														
	7														
2	9	23	単元4 大地の変化	1章 火山 2章 地震 3章 地層 4章 大地の変動	火山の活動と火成岩のつくり(日本付近のプレートの様子と関連付ける。) 地震の揺れ方と大きさや地震の起こる場所(活断層と地震の関係をとらえる。) 地層のつき方や堆積岩のつくりや化石 火山や地震の多い場所	火山・地震・地層のつき方や化石などの現象と日常生活や地球内部とのかかわりについて調べようとする。火山・地震・地層のつき方や化石の特徴に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	火山・地震・地層のつき方や化石について自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。観察した鉱物や岩石の特徴をまとめ分類したり、地層の年代や広がり等を推定することができる。	火山・地震・地層のつき方や化石の観察や器具の基本操作、スケッチの方法を身につけるとともに、観察の結果の記録や整理の仕方等を身につけている。	火山・地震・地層のつき方や化石の特徴について理解し、知識を身につけている。地震や火山の噴火によって起こるさまざまな現象を理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●地震の震源を、実際の観測記録からつきとめ、その調べる方法を発表する。	火山の噴火・地震・地層のつき方や化石などの現象と日常生活や地球内部とのかかわりについて調べようとする。火山の噴火・地震・地層のつき方や化石の特徴に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	火山・地震・地層のつき方や化石について自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。観察した鉱物や岩石の特徴をまとめ分類したり、地層の年代や広がり等を推定することができる。	火山・地震・地層のつき方や化石の観察や器具の基本操作、スケッチの方法を身につけるとともに、観察の結果の記録や整理の仕方等を身につけている。	火山・地震・地層のつき方や化石の特徴について理解し、知識を身につけている。地震や火山の噴火によって起こるさまざまな現象を理解し、知識を身につけている。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	10														
	11														
	12														
3	1	2													
	2														
	3														

【1分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法	
						自然現象への関 心・意欲・態度	科学的な思考・表 現	観察・実験の技能	自然現象への知 識・理解		自然現象への関 心・意欲・態度	科学的な思考・表 現	観察・実験の技能	自然現象への知 識・理解		
1	4	38	単元1 化学変化 と原子・ 分子	1章 物質の成 り立ち 2章 いろいろ な化学変化 3章 化学変化 と物質の質量 4章 化学変化 と熱の出入り	熱分解・電気分解 物質をつくっているもの (原子によって性質や、質量が変わ ること) 化学反応式 酸化・還元 純物質との化合 化学変化と物質の質量の関係(質量 保存や化合する割合) 熱を発生する化学変化と吸収する化 学変化	分解・物質をつくつて いるもの・化学反応 式・化合・化学変化と 物質の質量の関係・ 化学変化と熱に関心 をもち、意欲的に探求 しようとするとともに、 現象を日常生活とのか かりでみようとす る。 元素記号や化学反応 式で表してみようと する。	分解・物質をつくつて いるもの・化学反応 式・化合・化学変化と 物質の質量の関係・ 化学変化と熱に関心 をもち、自らの考えを導 いたりまとめたりして、表 現している。 化学変化を原子や分 子のモデルと対応して とらえることができる。	実験や器具の基本操 作を身につけるととも に、実験の計画的な 実施、結果の記録や 整理のしかたを身に つけている。 簡単な化合物の組成 を化学式で表したり、 化学変化を化学反応 式で表現することがで きる。	分解・物質をつくつて いるもの・化学反応 式・化合・化学変化と 物質の質量の関係・ 化学変化と熱に関心 をもち、意欲的に探求 しようとするともに、 日常生活とのかかりで みようとす る。 元素記号や化学反応 式で表そうとする。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●原子をもとに化学 変化を説明する。	分解・物質をつくつて いるもの・化学反応 式・化合・化学変化と 物質の質量の関係・ 化学変化と熱に関心 をもち、意欲的に探求 しようとするともに、 日常生活とのかかりで みようとす る。 元素記号や化学反応 式で表そうとする。	分解・物質をつくつて いるもの・化学反応 式・化合・化学変化と 物質の質量の関係・ 化学変化と熱に関心 をもち、意欲的に探求 しようとするともに、 日常生活とのかかりで みようとす る。 元素記号や化学反応 式で表そうとする。	分解・物質をつくつて いるもの・化学反応 式・化合・化学変化と 物質の質量の関係・ 化学変化と熱に関心 をもち、意欲的に探求 しようとするともに、 日常生活とのかかりで みようとす る。 元素記号や化学反応 式で表そうとする。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査		
	5															
	6															
	7															
2	10	31	単元3 電流とそ の 利用	1章 電流と回 路 2章 静電気と 電子 3章 電流と磁 界	直列回路や並列回路に流れる電流 の強さや電圧・抵抗の大きさ 電気のほたらきと電力・電気量 静電気の性質や電流との関係、陰極 線の観察 電流と磁界の関係やモーターの回 るしくみ、電磁誘導の原理 (電流が磁界から受ける力の向き は、電流の向きと磁界の向きによ って決まる)	電流の強さや電圧・抵 抗の大きさ、電力・電 力量、静電気・陰極 線、電流と磁界の関 係やモーター、電磁誘 導の原理に関心をもち 、意欲的に探求しよ うとするとともに、日 常生活と関連づけて 考えてみようとする。 電流を安全に使用 おうとする態度を身 につけようとする。	電流の強さや電圧・抵 抗の大きさ、電力・電 力量、静電気・陰極 線、電流と磁界やモ ーター、電磁誘導の原 理に関する事象・現象 の中に問題を見いだ し、目的意識をもつ て実験を行い、自らの 考えを導いたりまと めたりして表現しよ うとする。規則性 等を見いだすことが できる。	電流の強さや電圧・抵 抗の大きさ、電力・電 力量、静電気・陰極 線、電流と磁界やモ ーター、電磁誘導の原 理の規則性を理解し 、日常の事象と関連 付けて知識を身に付 けている。 電力について理解 し、家庭の電気につ いて省エネルギーの 方法の例をあげること ができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●さまざまな大きさ の抵抗を使って、欲 しい大きさの抵抗を 合成し、説明する。	電流の強さや電圧・抵 抗の大きさ、電力・電 力量、静電気・陰極 線、電流と磁界の関 係やモーター、電磁誘 導の原理に関心をもち 、意欲的に探求しよ うとするとともに、日 常生活と関連づけて 考えてみようとする。 電流を安全に使用 おうとする態度を身 につけようとする。	電流の強さや電圧・抵 抗の大きさ、電力・電 力量、静電気・陰極 線、電流と磁界やモ ーター、電磁誘導の原 理に関する事象・現象 の中に問題を見いだ し、目的意識をもつ て実験を行い、自らの 考えを導いたりまと めたりして表現しよ うとする。規則性 等を見いだすことが できる。	電流の強さや電圧・抵 抗の大きさ、電力・電 力量、静電気・陰極 線、電流と磁界やモ ーター、電磁誘導の原 理の規則性を理解し 、日常の事象と関連 付けて知識を身に付 けている。 電力について理解 し、家庭の電気につ いて省エネルギーの 方法の例をあげること ができる。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査			
	11															
	12															
	1															
3	2	3														
	3															

【2分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解		自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解	
1	4	3	動物の生活と生物の進化	序 つづけてみよう継続観察	気象の継続観測	気象の継続観測に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	気象の変化の規則性などを見いだすことができる。	気象の観測の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身に着ける。	○デジタル教科書	気象の継続観測に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	気象の変化の規則性などを見いだそうとしている。	気象の観測の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身に着ける。	プリント		
	5	単元2		1章 細胞のつくりとほたらき	細胞や生物の体のつくりとはたらき(呼吸・循環・消化・吸収・排出のしくみや、たんぱく質が体温を維持するほたらきや、たんぱく質の分子の大きさが違う)運動・感覚器官・神経系のつくりとほたらき	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとする。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査		
	6	2章 生命を維持するほたらき		細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとする。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査
	7	3章 行動のしくみ		細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとする。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査
2	9	38	動物の生活と生物の進化	4章 動物のなま	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとする。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査			
	10			5章 生物の進化	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとする。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化に関心をもち、進んで探究しようとする。自らの生活や体のしくみに興味をもち、自らの生活や体のしくみに興味をもち、進んで探究しようとする。生命を大切に扱おうとしている。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。	細胞のつくりや動物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなまの特性、セキツイ動物の進化について理解し、知識を身につけている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査			
	11			単元4	1章 気象観測	気象観測の方法	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●雨が激しくなるが、実際の情報から予想する。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査	
	12			2章 大気中の水蒸気の変化	気象観測の方法	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●雨が激しくなるが、実際の情報から予想する。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査
3	1	31	動物の生活と生物の進化	3章 前線の通過と天気の変化	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●雨が激しくなるが、実際の情報から予想する。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査			
	2	4章 日本の気象		気象観測の方法	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●雨が激しくなるが、実際の情報から予想する。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査			
	3	5章 生物の進化		気象観測の方法	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●雨が激しくなるが、実際の情報から予想する。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の種類、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気団について、自らの考えを導いたりまとめたりして表現しようとする。観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	行動観察ノート プリント(レポート) 定期考査		

【1分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						自然現象への関 心・意欲・態度	科学的思考・表 現	観察・実験の技能	自然現象への知 識・理解		自然現象への関 心・意欲・態度	科学的思考・表 現	観察・実験の技能	自然現象への知 識・理解	
1	4	35	単元1 運動とエ ネルギー	1章 力のた らき 2章 物体の運 動 3章 仕事とエ ネルギー	力のつり合い・合成・分解 運動の記録・力がはたらく運動・はたらか ない運動・力をおよぼし合う運動 (速さの変化を加速度で表せること。また、 自由落下では物体にはたらく重力の加速 度は等しい。) 仕事の原理・仕事率・エネルギーとその移 り変わりや保存・効率	力・運動・仕事やエネ ルギーの移り変わりな どの現象を日常生活と 関連づけてみようとする。 力・運動・仕事やさ まざまなエネルギーに 関心をもち、意欲的に 探究しようとする。	力・運動・仕事やエネ ルギーに関する事象・ 現象の中に問題を見 いだし、目的意識を もって実験を行い、自 らの考えを導いたりま とめたりして、表現し ていく。 力・運動・仕事やエネ ルギーの規則性を見 いだすことができる。	力・運動・仕事やエネ ルギーの実験や観察 の基本的な操作・作 図の方法を身につけ るとともに、実験の計 画的な実施、結果の記 録や整理のしかたを身 につけていく。	力・運動・仕事やエネ ルギーの知識を身に つけ、日常の事象と 関連づけて理解して いく。 力・運動・仕事やエネ ルギーの規則性を理 解し、知識を身につ けている。 作図を用いて、力の 合成や分解を説明で きる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●ジェットコースター のしくみを、力学的 エネルギーの保存 を用いて説明する。	力・運動・仕事やエネ ルギーの移り変わりな どのさまざまな事象を 日常生活と関連づけて 考えようとする。 力・運動・仕事やさ まざまなエネルギーに 関心をもち、意欲的に 探究しようとする。	力・運動・仕事やエネ ルギーに関するさま ざまな事象・現象の中 に問題を見いだし、目 的をもって実験を行い、 考えをまとめて、表現 していく。 力・運動・仕事やエネ ルギーの規則性を見 いだそうとしている。	力・運動・仕事やエネ ルギーの実験や観察 の基本的な操作・作 図の方法を身につけ るとともに、実験の 実施、結果の記録や 整理のしかたを身に つけていく。	力・運動・仕事やエネ ルギーの知識を身に つけ、日常の事象と 関連づけて理解して いく。 力・運動・仕事やエネ ルギーの規則性をお おね理解し、知識を 身につけている。 作図を用いて、力の 合成や分解を説明で きる。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	5														
	6														
	7														
2	10	27	単元4 化学変化 とイオン	1章 水溶液と イオン 2章 酸・アルカ リとイオン 終章 水溶液を 区別する	電池が流れる水溶液、電解質と非電解質 原子の構造・イオンの構造(原子の種類に よって決まった数の電子をもつことや、原 子核周りで特徴ある配列をしている。) 電解質・非電解質、酸・アルカリ、 中和と塩、酸性・アルカリ性の度合い・pH (中和によって必要な量は、濃度や量に よって決まること。)	電気分解や原子・イ オンの構造、電池、酸・ アルカリや中和などに 関心をもち、意欲的に 探究しようとする。事 象を日常生活と関連 づけてみようとする。	電気分解や原子・イ オンの構造、電池、酸・ アルカリや中和など の問題を見いだし、目 的をもって実験を行 い、自らの考えを導 いたりまとめたりして、 表現していく。	実験や観察の基本的な 操作・作図の方法を身 につけるとともに、実 験の実施、結果の記録 や整理のしかたを身に つけていく。	水溶液の性質やイオン、 中和反応、薬品や器具 の使い方を理解し、知識 を身につけている。 化学反応式やイオン式 で表すことができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●水溶液を区別する 方法をまとめる、発表 する。	電気分解や原子・イ オンの構造、電池、酸・ アルカリや中和などに 関心をもち、意欲的に 探究しようとする。事 象を日常生活と関連 づけてみようとする。	電気分解や原子・イ オンの構造、電池、酸・ アルカリや中和など の問題を見いだし、目 的をもって実験を行 い、自らの考えを導 いたりまとめたりして、 表現しようとしている。	実験や観察の基本的な 操作・作図の方法を身 につけるとともに、実 験の実施、結果の記録 や整理のしかたを身に つけていく。	水溶液の性質やイオン、 中和反応、薬品や器具 の使い方を理解し、知識 を身につけている。 電解質・非電解質、イオン、 酸性・アルカリ性の度 合いをおおね理解し、 化学反応式やイオン式 で表すことができる。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	11														
	12														
	1														

【2分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						自然現象への関 心・意欲・態度	科学的思考・表 現	観察・実験の技能	自然現象への知 識・理解		自然現象への関 心・意欲・態度	科学的思考・表 現	観察・実験の技能	自然現象への知 識・理解	
1	4	3	単元2 生命の連 続性	序 続けてみよう継続観察 1章 生物の成 長とふえ方 2章 遺伝の規 則性と遺伝子 終章 遺伝子技 術について関 てみよう	天体の継続観察 細胞分裂と生物の成長 生物のふえ方、無性生殖・有性生殖(精子 や卵の細胞がつくられるときは、減数分裂 をする。)、遺伝や遺伝子の本体(DNAは二重らせん構造であること。) メンデルの実験、遺伝子技術について	天体の継続観察に関心も ち、意欲的に探究しようとする。	天体の継続観察の規則性 を見いだすことができる。	天体の継続観察の計画的な 実施、結果の記録や整理の しかたを身につけていく。	生物の成長や生物のふえか た、形質の伝わり方、遺伝子 について、自らの考えを導 いたりまとめたりして、表現 していく。 各器官の働きに必要なつり 合いと、各器官の働きを調 べようとする。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●遺伝子技術につ いて調べたことを発表 する。	天体の継続観察に関心も ち、意欲的に探究しようとする。	天体の継続観察の規則性 を見いだそうとしている。	天体の継続観察の計画的な 実施、結果の記録や整理の しかたを身につけていく。	生物の成長や生物のふえか た、形質の伝わり方、遺伝子 について、自らの考えを導 いたりまとめたりして、表現 していく。 各器官の働きに必要なつり 合いと、各器官の働きを調 べようとする。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	5	19													
	6	6													
	7	9													
2	10	27	単元3 自然界の つり合い	1章 自然界の つり合い	生物どうのつり合い・食べ・食べられる という関係と生物の個体数の関係 土の中の生物のはたらき・分解者の役割 自然界を循環する物質	食物連鎖や生産者・消費者・ 分解者のつり合い、食物・養 分などの物質の循環に関心 をもち、意欲的に探究しよう とする。自然環境のつり 合いのしくみを大切に理解 しようとする。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●自然界のつり合 いについて、まとめて 発表する。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	食物連鎖や生産者・消費 者・分解者のつり合い、食 物・養分などの物質の循環 のしくみを大切に理解し、 知識を身につけていく。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	11	27													
	12	1													
	1	1													
3	2	20	単元5 地球と宇 宙	1章 天体の1 日の動き 2章 天体の1 年の動き 3章 太陽と月 4章 太陽系と 銀河系	太陽の1日の動き 天体の1日の動き 運動と地球の自転 四季の星座 季節の変化 太陽のすがたや月の運動と見え方太陽系 のすがたや惑星の見え方 銀河系と宇宙の広がり	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●太陽の位置から、 方向を知る方法を調 べ、発表する。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	太陽・月の動きと地球 の自転の関係、星座や季節 の星座の公転の公転の 関係、太陽・月の動きの 見え方、宇宙の広がりに 関心をもち、意欲的に探 究しようとする。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	3	3													
	4	3													
	5	3													

平成25年度 音楽 第1学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
1	4	7	歌声を作ろう	明るくおどかなげなメロディーを、新しい友と明日への希望を歌いあげようとする。	「マイ パラード」「秋歌」 「主人は冷たい土の中に」 My Voice My Melody	クラスの友人と心を合わせて歌う意欲を持ち、中学生として生き生きと音楽学習しようとする。	簡単な歌唱曲のフレーズなどの美しさを感じ取り、表現を工夫し楽しさを味わおうとする。 ・他の声部との関わりや全体の響きに心をもち歌唱表現しようとする。	歌声や伴奏に気を付けて歌唱することができる。	曲想や諸要素の働きを新たな気持ちで感じ取り、表現を工夫し楽しさを味わうことができる。	○ハーモニーキーボード ●歌う時の呼吸やバランスのよい姿勢について考える	クラスの友人と心を合わせて歌う意欲を持ち、中学生として生き生きと音楽学習しようとする。	簡単な歌唱曲のフレーズなどの美しさを感じ取り、表現を工夫し楽しさを味わうことができる。 ・他の声部との関わりや全体の響きに心をもち歌唱表現しようとする。	歌声や伴奏に気を付けて歌唱することができる。	曲想や諸要素の働きを新たな気持ちで感じ取り、表現を工夫し楽しさを味わうことができる。	・表現活動 ・観察法 ・定期考査 ・実技テスト
	5	3	イメージと音楽 1	ソネットをたよりに、各部分の音楽の気分を感じ取る。	ヴィヴァルディ作曲 合奏協奏曲 四季より「春」 関連傑作(映画「ジョーズ」からジョーズのテーマ)	曲の冒頭の主題に心を注ぎ、春の喜びを感じ取り、春の喜びを歌い上げた曲全体を意欲的に聴こうとする。	春の喜びを歌い上げた曲と音楽の結びつき、特に、速度や強弱の対比を感じ取りようとする。	音楽の気分の変化を感じ取り、鑑賞している。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器 ●曲想について感じ取ったことや表現について考える	曲の雰囲気や曲想の変化に心をもち鑑賞している。	春の喜びを歌い上げた曲と音楽の結びつきを感じ取ることができる。	ソネットの場面や様子から、楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取ることができる。	・観察法 ・ワークシート (感想文) ・定期考査		
	6	2	日本の歌曲に親しもう 1	旋律の抑揚や日本語の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じとりながら表現する。	「浜辺の歌」 参考「エーデルワイス」	詩の内容を味わいながら、主眼的に詩情豊かに声や合奏で表現する。	拍子の特徴を理解し、それを生かして表現を工夫している。	曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取り、表現を生かすことができる。	○ハーモニーキーボード ○デジタル教科書 ●歌詞の内容、曲想を考える	詩の内容を味わいながら、主眼的に詩情豊かに声や合奏をしようとする。	拍子の特徴を理解し、それを生かして表現を工夫している。	曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取り、表現を生かすことができる。	詩の情景や歌詞の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じ取り、表現する。	・観察法 ・定期考査 ・ワークシート	
	7	3	郷土の音楽	日本人の生活や心情を映した郷土の音楽に親しむ。	My Voice 2 日本の民謡	民謡のリズム・旋律(音の動き・音色(発声・コブシ))の特徴及び表現法に心を注いでいる。	郷土伝統音楽の特徴を知覚し、感じ取っている。	民謡のリズムを感じとり、歌唱できる。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器	民謡のリズム・旋律(音の動き・音色(発声・コブシ))の特徴及び表現法に心を注いでいる。	郷土伝統音楽の特徴を知覚し、感じ取っている。	民謡のリズムを感じとり、歌唱している。	郷土の伝統音楽の特徴を意識して楽曲を聴き取ろうとしている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査	
	9	10	混声合唱の響き	さわやかに流れるメロディーを表現し、パートのバランスを工夫して歌う。	合唱コンクール 讃歌曲・自由曲	旋律などの美しさを感じながら、気持ちを込めて意欲的に声や合唱をしようとする。	歌詞の意味やその背景となる情景や心情、曲の構成などを意識しながら、気持ちを込めて表現を工夫している。	他の声部との関わりや全体の響きに気を付けて歌唱表現しようとする。	皆が心を合わせて合唱することの意欲を感じながら、曲全体の雰囲気や各声部の旋律の働きなどを意識して聴くことができる。	○ハーモニーキーボード ○オーディオ機器 ●声部の役割や全体の響きについて話し合える	旋律などの美しさを感じながら、気持ちを込めて声や合唱をしようとする。	歌詞の意味やその背景となる情景や心情、曲の構成などを意識しながら、気持ちを込めて表現を工夫している。	他の声部との関わりや全体の響きに気を付けて歌唱表現しようとする。	皆が心を合わせて合唱することの意欲を感じながら、曲全体の雰囲気や各声部の旋律の働きなどを意識して聴くことができる。	・表現活動 ・観察法 ・定期考査 ・実技テスト
	10	6	詩と旋律	言葉と旋律の一体感を感じ取りながら、表現豊かに表現する。	「森とんぼ」	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	○ハーモニーキーボード ●情景について話し合う	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の関わりを大切にしながら歌唱表現しようとする。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
	11	4	イメージと音楽 2	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	シューベルト作曲「魔王」	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器 ●登場人物の役割を話し合う	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の豊かを感じ取る。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
2	12	4	音楽の楽しみ	アルトリコーダーのよさを感じ取り、楽しむ。	音楽の教科書より	アルトリコーダーのよさを感じ取り、楽しむ。	音楽表現をする技能を身につけている。	音楽表現をする技能を身につけている。	音楽表現をする技能を身につけている。	○ハーモニーキーボード ○デジタル教科書 ●楽器の特徴、奏法を考える	アルトリコーダーのよさを感じ取り、楽しむ。	音楽表現をする技能を身につけている。	音楽表現をする技能を身につけている。	音楽表現をする技能を身につけている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	1	3	アンサンブルの楽しみ	アンサンブルのよさを感じ取り、アンサンブルに親しむ。	アルトリコーダー・音楽曲	アルトリコーダーの音色の美しさに心をもち、アンサンブル表現に取り組んでいる。	アルトリコーダーの特性を知覚し、アンサンブル表現の工夫をしている。	アンサンブルによる表現の楽しさを意識し、音楽表現をする技能を身につけている。	アンサンブルによる表現の楽しさを意識し、音楽表現をする技能を身につけている。	○ハーモニーキーボード	アンサンブルのよさを感じ取り、アンサンブルに親しむ。	音楽表現をする技能を身につけている。	音楽表現をする技能を身につけている。	音楽表現をする技能を身につけている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト
	2	4	事に親しむ	事のよさを感じ取り、楽しむ。	「さくら」	事のよさを感じ取り、楽しむ。	事の特性を知覚している。	事の特性を知覚している。	事の特性を知覚している。	○デジタル教科書	事のよさを感じ取り、楽しむ。	事の特性を知覚している。	事の特性を知覚している。	事の特性を知覚している。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	3	3	日本の民謡の響き	民謡の響きや歌詞の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じ取り、表現する。	民謡「六段の唄」尺八曲「黒龍巻」	尺八曲・民謡の響き、奏法、音階などに心を注ぎ、表現を工夫している。	尺八・民謡の響きの特性や奏法、及びそれらと音楽の関わりを感じ取っている。	尺八・民謡の響きの特性や奏法、及びそれらと音楽の関わりを感じ取っている。	尺八・民謡の響きの特性や奏法、及びそれらと音楽の関わりを感じ取っている。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器 ●楽器の特徴、奏法を考える	民謡の響きや歌詞の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じ取り、表現する。	民謡の響きや歌詞の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じ取り、表現する。	民謡の響きや歌詞の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じ取り、表現する。	民謡の響きや歌詞の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じ取り、表現する。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	3	3	アジアの諸民族の音楽に親しもう	アジアの諸民族の音楽、民謡を用いた音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの諸民族の音楽、民謡を用いた音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器	アジアの諸民族の音楽、民謡を用いた音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
	3	3	合唱の喜び	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上がりを目指す。	卒業式在校生合唱曲	美しい響きの生かした合唱のハーモニーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	美しい響きのハーモニーによって、情景のふかやかりを生かした表現を工夫している。	量か美しい響きを生かして、各声部のかかわりを理解してまとまりのある表現をしている。	量か美しい響きを生かして、各声部のかかわりを理解してまとまりのある表現をしている。	○ハーモニーキーボード ○オーディオ機器	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上がりを目指す。	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上がりを目指す。	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上がりを目指す。	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上がりを目指す。	・表現活動 ・定期考査

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用ICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の創 意工夫	音楽表現の技 能	鑑賞の能力		音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の創 意工夫	音楽表現の技 能	鑑賞の能力	
1	4	3	合唱の響き	明るく伸びやかなメロディーと活潑な歌にふさわしい真やかな曲調の合唱を歌い上げる。	「時の旅人」他	歌詞の意味や構成に関心をもち、自己のイメージを生かした表現をしている。	他の声部の役割や曲の仕組を感知して歌っている。	他の声部の役割や曲の仕組を理解して歌う技能を身につけている。	曲全体の持つ希望に満ちた明るさや各声部の和音の美しさを味わい、その構成を理解して歌っている。	○ハーモニキーボード ●声部の役割や全体の響きについて話し合い考える	歌詞の意味や構成に関心をもち、自己のイメージを生かした表現をしようとする。	他の声部の役割や曲の仕組を感知して歌っている。	他の声部の役割や曲の仕組を理解して歌う技能を身につけている。	曲全体の持つ希望に満ちた明るさや各声部の和音の美しさを味わい、その構成を理解して歌うことができる。	・表現活動 ・観察法 ・実技テスト ・定期考査
	5	2	パイプオルガンとフーガの仕組みについて知ろう	フーガによる曲の構成やパイプオルガンによる表現の豊かさを味わう。	バッハ作曲「フーガ ト短調」	パイプオルガンの音色や奏法に関心をもち、鑑賞している。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組みを感じ取っている。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組みについて理解し、楽曲全体を感じ取っている。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組みを感じ取っている。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器 ●音楽の特徴とその背景となる文化について考える	パイプオルガンの音色や奏法に関心をもち、聴こうとする。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組みを感じ取っている。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組みを感じ取っている。	フーガの構成の効果を味わい、その構成を理解して歌うことができる。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査
	6	2	速度と強弱	速さや強弱の対比や変化を工夫し、力強い演奏をする。	「サンタラテア」	曲にふさわしい速度や強弱を生かした表現の工夫や強弱の動きに	カンツォーネの魅力を生かして大らかで豊かな表現を工夫している。			○ハーモニキーボード ○デジタル教科書	曲にふさわしい速度や強弱を生かした表現の工夫や強弱の動きに	カンツォーネの魅力を生かして表現を工夫している。			・表現活動 ・観察法 ・定期考査
	6	2	郷土の音楽	日本人の生活や心情を映した郷土の音楽に親しむ。	日本の郷土音楽	日本の郷土音楽の特徴に関心をもちて学習している。		郷土音楽の特徴と文化や歴史の関わりを認識して鑑賞している。	郷土音楽の特徴と文化や歴史の関わりを認識して鑑賞している。	○デジタル教科書 ○オーディオ機器	日本の郷土音楽の特徴に関心をもちて学習している。		郷土音楽の特徴と文化や歴史の関わりを認識して鑑賞している。	郷土音楽の特徴と文化や歴史の関わりを認識して鑑賞している。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	7	2	世界の諸民族の音楽に親しもう	アジアの音楽に親しむ。	世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもちて		世界の諸民族の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもちて	世界の諸民族の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもちて	○デジタル教科書 ○オーディオ機器	世界の諸民族の音楽に親しむ。		世界の諸民族の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもちて	世界の諸民族の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもちて	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
	9	7	合唱の喜び	豊かな声の響き、美しいハーモニキーや、曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げた演奏をする。	合唱コンクール課題曲・自由曲	美しい響きのハーモニキーを目指して、主体的に合唱している。	変化のあるリズムや和音進行の動きを感知して、美しい響きのハーモニキーと豊かなリズム感の表現を工夫している。	変化のあるリズムや和音進行の動きを感知して、美しい響きのハーモニキーと豊かなリズム感の表現を工夫している。	曲全体の構成の効果を理解して歌っている。	○ハーモニキーボード ○オーディオ機器 ●数々の気持ちや状況による声の感じや変化について話し合い、考える	豊かな声の響き、美しいハーモニキーを目指して歌おうとする。	変化のあるリズムや和音進行の動きを感知して、美しい響きのハーモニキーと豊かなリズム感の表現を工夫することができる。	変化のあるリズムや和音進行の動きを感知して、美しい響きのハーモニキーと豊かなリズム感の表現を工夫することができる。	曲全体の構成の効果を理解して歌っている。	・表現活動 ・実技テスト ・定期考査
	10	2	オーケストラの響き	協奏曲の発展による曲の構成や管弦楽による表現の豊かさを味わう。	ヴェーバー作曲「交響曲第5番 ハ短調」	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	○オーディオ機器 ○ハーモニキーボード ○デジタル教科書	管弦楽の音色や奏法に関心をもち聴こうとする。	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	管弦楽の音色や奏法、音楽の仕方を感知し、鑑賞している。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査
2	11	6	音楽の楽しみ	アンサンブルのよさを感知し、アンサンブルに親しむ。	アルトリコーダー器楽曲	アルトリコーダーの音色の美しさに関心をもち、アンサンブル表現に取り組んでいる。	アルトリコーダーの特性を知り、アンサンブル表現の工夫をしている。	アンサンブルによる表現の動きと効果を感知し、音楽表現をする技能を身につけている。		○ハーモニキーボード ●表現したいイメージについて表現を工夫する	アンサンブルのよさを感知し、アンサンブルに親しむ。	アンサンブルによる表現の動きと効果を感知し、音楽表現をする技能を身につけている。			・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト
	12														
3	1	2	オペラの名曲	場面や役割を理解し、曲の特徴や表現のよさを味わう。	ヴェルディ作曲「アイダ」より	アリアの鑑賞を通して、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	登場人物の音楽表現の豊かさを感知し、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	登場人物の音楽表現の豊かさを感知し、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	登場人物の音楽表現の豊かさを感知し、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	○オーディオ機器 ○デジタル教科書 ●音楽の特徴と文化を考える	アリアの鑑賞を通して、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	登場人物の音楽表現の豊かさを感知し、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	登場人物の音楽表現の豊かさを感知し、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	登場人物の音楽表現の豊かさを感知し、オペラに関心をもち、曲全体を聴こうとする。	・観察法 ・定期考査 ・ワークシート
	2	2	日本の総合芸術	総合芸術としての歌舞伎の多様なおもしろさを味わう。	文楽・歌舞伎	・物語の内容に関心をもち、音楽の特徴を理解するため、主体的に聴こうとする。 ・日本の伝統芸能を主体的に理解しようとする。	文楽の語り方や三味線の音色、歌舞伎の長唄のいろいろな節まわしの特徴などを感知し、日本の音楽の特徴を理解する。	日本の伝統芸能の特徴を理解し、音楽表現をする技能を身につけている。	日本の伝統芸能の特徴を理解し、音楽表現をする技能を身につけている。	○オーディオ機器 ●我が国や郷土の伝統音楽の特徴について、話し合う	総合芸術としての歌舞伎の多様なおもしろさを味わう。	総合芸術としての歌舞伎の多様なおもしろさを味わう。	総合芸術としての歌舞伎の多様なおもしろさを味わう。	総合芸術としての歌舞伎の多様なおもしろさを味わう。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査
	3	1	日本の歌謡に親しもう	歌詞の意味や曲調の美しさを生かし、音楽の響きや質を感知し、音楽表現をする技能を身につけている。	「旅路の月」	歌詞の内容を味わいながら、主体的に音楽表現に取り組んでいる。	日本歌謡の美しさを生かして歌唱表現を工夫している。	日本歌謡の美しさを生かして歌唱表現を工夫している。	日本歌謡の美しさを生かして歌唱表現を工夫している。	○ハーモニキーボード ○デジタル教科書	歌詞の内容を味わいながら、主体的に音楽表現に取り組んでいる。	日本歌謡の美しさを生かして歌唱表現を工夫しようとする。	日本歌謡の美しさを生かして歌唱表現を工夫しようとする。	日本歌謡の美しさを生かして歌唱表現を工夫しようとする。	・観察法 ・定期考査 ・ワークシート
	4	4	合唱の喜び	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上げた演奏をする。	卒業式在校生合唱曲	美しい響きのハーモニキーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	豊かな声の響きを生かして、各声部のかわり合いを感知してまとまりのある表現を工夫している。	豊かな声の響きを生かして、各声部のかわり合いを感知してまとまりのある表現を工夫している。	豊かな声の響きを生かして、各声部のかわり合いを感知してまとまりのある表現を工夫している。	○ハーモニキーボード ○オーディオ機器	美しい響きのハーモニキーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	豊かな声の響きを生かして、各声部のかわり合いを感知してまとまりのある表現を工夫しようとする。	豊かな声の響きを生かして、各声部のかわり合いを感知してまとまりのある表現を工夫しようとする。	豊かな声の響きを生かして、各声部のかわり合いを感知してまとまりのある表現を工夫しようとする。	・表現活動 ・定期考査

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
1	4	2	日本の歌	日本の情景や日本人の心情に結びついた歌曲の美しさや楽しさを、味わいながら表現する。	「花」 「花の街」	日本の歌曲の情緒を味わいながら、主体的に心を込めて歌おうとしている。	情景を思い浮かべながら、歌詞とフレーズ及び伴奏の構成のまとまりを生かした表現を工夫している。	情緒を味わい、美しい響きで歌ったり、伴奏のリズムに合わせて詞と歌詞とのかわりをつけて歌っている。	詞の響きや歌詞の、詞と曲の構成を理解するとともに、音楽表現の楽しさを感じ取って歌っている。	○デジタル教科書 ●歌詞の抑揚とリズムについて話し合っている。	日本の歌曲の情緒を味わいながら、主体的に心を込めて歌おうとする。	情景を思い浮かべながら、歌詞とフレーズ及び伴奏の構成のまとまりを生かした表現を工夫しようとする。	情緒を味わい、美しい響きで歌ったり、伴奏のリズムに合わせて、詞と歌詞とのかわりをつけて歌おうとする。	詞の響きや歌詞の、詞と曲の構成を理解するとともに、音楽表現の楽しさを感じ取って歌っている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
		3	曲種に応じた歌い方の工夫	楽曲の魅力を際立たせ、それにふさわしい発声や歌い方を工夫する。	「LOVE」 「上を向いて歩こう」 ここが分かればGrade Up!	曲の構成や歌詞のまとまりをもち、全体のとままりを感じとる。	リズムなどの音楽要素を形作っている要素を知覚し、特徴を生かした音楽表現を工夫している。	曲種に応じた発声やことばの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		○デジタル教科書 ●曲にふさわしい表現について意見を出し合う	曲の特徴や歌詞とリズムとの関係に関心をもち、表現を工夫しようとする。	リズムなどの音楽要素を形作っている要素を知覚し、特徴を生かした音楽表現を工夫しようとする。	曲種に応じた発声やことばの特徴を生かした音楽表現をする工夫を工夫している。		・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	5	4	リズムパターンで構成する音楽の仕組み	リズムパターンに関心をもち、全体のとままりを感じとる。	「テキサス」 打楽器のための小品	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。	リズムパターンや伴奏のリズムの特徴を知覚し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫している。	楽器の特徴・基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		○オーディオ機器 ●録音や演奏を聞き、リズムの重なりについて話し合う	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組んでいる。	リズムパターンや伴奏のリズムの特徴を知覚し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫している。	楽器の基礎的な奏法を生かした音楽表現をする工夫を工夫している。		・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト
	6	2	世界各地の楽器の音楽	いろいろな民族楽器や演奏形態による特徴ある音楽に親しむ。	世界の民族楽器の音楽	様々な楽器を用いた音楽の楽しさや、文化的に感じとる。			様々な楽器を用いた音楽の楽しさや、文化的に感じとる。	○オーディオ機器 ○デジタル教科書	世界の民族楽器の様々な楽器の音楽に親しむ。			楽器を通して様々な国の音楽に親しむ、鑑賞している。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査
	7	3	名曲の鑑賞とプレゼンテーション	構成や音楽性による表現の豊かさを味わい、曲のよさを話し合ったりして表現する。	「ブルータ」 「白鳥の湖」フィガロの結婚	音楽の要素や曲の構成によって生み出される曲の魅力を、自分なりに感じとろうとしている。	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。	○オーディオ機器 ●海外の名曲や音楽の鑑賞について話し合う	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。			曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。	・鑑賞文 ・定期考査 ・表現活動
	7	7	合唱の喜び	豊かな声の響き、美しいハーモニーや、曲の構成を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げようとする。	合唱コンクール課題曲・自由曲	美しい響きのハーモニーを目指して、主体的に合唱している。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解し、表現を工夫している。	変化のある和音進行とリズムの動きを理解し、表現を工夫している。	曲全体の構成の効果を理解し、表現を工夫している。	○オーディオ機器 ○ハーモニキーボード ●どのように工夫をしながら、歌ったり、演奏したりしていくか話し合う	美しい響きのハーモニーを目指して主体的に心を込めて歌おうとする。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解し、表現を工夫している。	変化のある和音進行とリズムの動きを理解し、表現を工夫している。	曲全体の構成の効果を理解し、表現を工夫している。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト ・表現活動
2	10	3	日本の心・イタリヤの心	通さず通るの対比や文化を工夫し、歌詞を理解しながら表現する。	「邦楽ソング」 「邦楽ソング」	通さず通るの対比や文化を工夫し、歌詞を理解しながら表現する。	音楽要素を生かした音楽表現を工夫している。	歌詞の内容や曲調を生かした音楽表現をするための技術をもっている。		○オーディオ機器 ○ハーモニキーボード ○デジタル教科書	通さず通るの対比や文化を工夫し、歌詞を理解しながら表現する。	音楽要素を生かした音楽表現を工夫している。	歌詞の内容や曲調を生かした音楽表現をするための技術をもっている。		・表現活動 ・観察法 ・定期考査
	11	2	日本の伝統音楽の味わい	歴史的な背景や音楽の要素、曲の多様性や面白さを鑑賞する。	邦楽・能	歴史的な背景や音楽の要素、曲の多様性や面白さを鑑賞する。		日本の伝統音楽の特徴を理解し、表現を工夫している。	日本の伝統音楽の特徴を理解し、表現を工夫している。	○オーディオ機器 ○デジタル教科書 ●日本の伝統音楽の特徴について話し合う	歴史的な背景や音楽の要素、曲の多様性や面白さを鑑賞する。			日本の伝統音楽の特徴を理解し、表現を工夫している。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査
	12	3	ポピュラー音楽の魅力を表現する工夫	さまざまなポピュラー音楽について、音楽の要素を感じとりながら表現したり、表現の工夫を生かす。	ポピュラー音楽 トリスターゼ コンドルは飛んでゆく	さまざまなポピュラー音楽を感じとり、音楽の要素を感じとりながら表現したり、表現の工夫を生かす。	音楽要素を生かした音楽表現を工夫している。	声部の役割と全体の響きとの関係を生かして、曲調にふさわしい音楽表現を工夫している。	リズム、旋律、テクニク、音色などを鑑賞し、それらの特徴や要素を生かした音楽表現を工夫している。	○オーディオ機器 ○ハーモニキーボード ○デジタル教科書	さまざまなポピュラー音楽を感じとり、音楽の要素を感じとりながら表現したり、表現の工夫を生かす。	音楽要素を生かした音楽表現を工夫している。	声部の役割と全体の響きとの関係を生かして、曲調にふさわしい音楽表現を工夫している。	リズム、旋律、テクニク、音色などを鑑賞し、それらの特徴や要素を生かした音楽表現を工夫している。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査 ・表現活動
3	1	6	合唱の喜び	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上げようとする。	卒業式卒業生合唱曲	美しい響きのハーモニーを目指して、主体的に合唱しようとする。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解し、表現を工夫している。	変化のある和音進行とリズムの動きを理解し、表現を工夫している。	曲全体の構成の効果を理解し、表現を工夫している。	○オーディオ機器 ○ハーモニキーボード	美しい響きのハーモニーを目指して、主体的に合唱しようとする。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解し、表現を工夫している。	変化のある和音進行とリズムの動きを理解し、表現を工夫している。	曲全体の構成の効果を理解し、表現を工夫している。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト
	2														
	3														

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1		4	デザイン画	色彩について	・無彩色と有彩色 ・色の3要素 ・三原色 ・色の感情 ・色相による配色	色についての知識を深め、生活の中での色の役割について考える。	単色や配色によってどのような印象を相手に与えるか感じ取る。	テーマに合わせて配色を考え、丁寧に表現する。	色の特徴や役割が、私たちの生活の中でどのように役立っているかを感じとる。	○実物投影機	色についての基本的な知識を理解することができた。	テーマに合わせて「暖色」「寒色」など色を組み合わせることができた。	テーマに合わせて色を組み合わせ、端まで丁寧に塗ることができた。	生活の中で、色をもつ特徴や役割を感じとることができた。	・授業態度 ・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
		5		構図・構成練習	・シンメトリー・リビテーション ・グラデーション・リズム・アクセント ・プロポーション・コントラスト・バランス	構図・構成についての知識を深め、形がもつ役割について考える。	造形を組み合わせた重なりや隙間などから安定感や不安定感などを感じ取る。	テーマに合わせて造形を組み合わせ、構図・構成で表現する。	参考作品やポスターを鑑賞し、造形が与える感情について感じとる。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト	構図・構成の知識を理解し、造形の組み合わせを考へることができた。	形がもつ特徴や構図・構成の知識からテーマを想像することができた。	形がもつ特徴や構図・構成の知識をいかに、造形の組み合わせることができた。	形がどのような効果を表現しているかを感じ取ることができた。	
		6		グラデーションの平面構成	・色面構成の基本的な技法 ・抽象形を使った構成	色の特性について理解を深め、生活における色への役割を考え、配色への関心を高める。また、美術を身近なものとしてとらえる態度を養う。	色の特性を生かし、「暑い」「寒い」などの感情を色で表現する力を養う。また、表現する感情に合った造形を見つけていくことができる。	ポスターカラーや用具を適切に使い、丁寧に彩色する力や意識を養う。対象をよく観察しスケッチしてから、造形の単純化する。	参考作品から、造形と色の効果・絵具の塗り方を理解し、自分の作品と見比べ課題を見つけていくことができる。	○実物投影機 ●鑑賞会(グループ発表) ●自己評価カード	今回の単元に意欲的に取り組み、色の特性や配色・グラデーションを理解し、仕上げることをできた。	配色、グラデーションを表現できる。	用具の使い方を理解し、彩色することができる。 ・スケッチから形の単純化、強調を描くことができる。	表現された感情の配色やグラデーションの効果・役割を感じ取ることができる。	
		7													
2		9	静物画	・モチーフのセット		モチーフの形や曲線を集中して観察する態度を養う。	モチーフから形や色のよさを感じ取り、構図や画面に描く大きさを工夫する。	用具を工夫してつかい、線の強弱や色のグラデーションで表現する。	造形と色の効果・絵具の塗り方を理解し、自分の作品と見比べ課題を見つけていくことができる。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●自己評価カード	静物画に関心をもち、集中して観察して取り組むことができた。	モチーフの形や色の観察から、画面に描く構図や大きさを考えて表現することができた。	用具の使い方を工夫して、線の太さを変えたり、グラデーションで着彩することができた。		・授業態度 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
		10													
		11													
		12	レタリング			明朝体やゴシック体に関心をもち、描き分ける。		明朝体とゴシック体を理解し、描き分ける。		●自己評価カード	レタリングに関心をもち、制作することができた。		明朝体とゴシック体の特徴を理解し、描き分けることができた。		
3		1	木版画		・鑑賞 ・下描き ・彫り ・摺り	木版ならではの表現を理解し、日本の伝統文化や歴史に興味をもち、意欲的に取り組む態度を養う。	テーマから発想を広げ、彫りや摺りを意識して下絵の構想を練る。	・彫刻刀を正しく適切に使い、表現に合わせて彫る。 ・木版画の手順を理解して摺る。	木版画のよさや表現を感じ取り、木版画の伝統文化について理解を深める。	○実物投影機 ●鑑賞会(発表) ●自己評価カード	木版の表現を理解し、日本の伝統文化に関心をもち、制作することができた。	テーマから発想を広げ、下絵を考へることができた。	・彫刻刀を正しく使い彫ることができた。 ・木版の順番を理解し、着彩して摺ることができた。	木版のよさや表現にかんしんをもち、伝統や文化を学ぶことができた。	・授業態度 ・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
		2													
		3													

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				評価基準(B)				評価方法	
						美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能		鑑賞の能力
1	4		ポスター制作	レタリング	・漢字の基本書体とその要素 ・明朝体、ゴシック体 ・書体のいろいろ ・文字の大きさの調整 ・文字の間隔の調整	生活の中で広く使われ、情報を伝えるための文字の特徴について興味をもつ。	読みやすい文字の基本的な書体やかき方について理解を深める。	明朝体やゴシック体について理解し、かく手順に沿って丁寧に仕上げる。		○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト	計画的に見通しをもって制作することができた。	文字がもつ意味から、色や工夫することができた。	明朝体とゴシック体の特性を理解し、丁寧に彩色することができた。	・授業態度 ・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査	
	5	モダンテクニック		・マーブリング・ドリップング・吹き流し ・デカルコマニー・フロッターージュ ・スパッタリング・パチック	生活の中でメッセージやテーマへの自分の思いを視覚的に伝える表現方法に関心をもつ。	テーマへの思いを深め、モダンテクニックを用いて効果的な表現方法を工夫する。	効果的な表現をするための用具やモダンテクニックを選び、構成や彩色の工夫をして表現する。	友だちの表現の工夫を理解し、お互いの作品のよさを味わう。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト	自分のイメージを明確にもって計画的に制作することができた。	伝えることを目的とし、モダンテクニックやレタリングを効果的につかい、テーマへの自分の考えを構成することができた。	用具の使い方を工夫し、丁寧に着色、カラーージュすることができた。	作品からメッセージを感じとることができた。		
	6	コラージュ ポスターをつくる		・鑑賞 ・テーマ決め ・テーマを深める ・アイディアスケッチ ・コピー、レタリング ・レイアウト ・下描き ・配色計画 ・彩色、コラージュ						●鑑賞会(グループ発表) ●自己評価カード					
	7														
2	9		アートガラス	・鑑賞 ・テーマ決め ・構図設計	スクラッチで表現することを知り、関心をもつ姿勢を養う。	スクラッチの表現を活かし、構図や彩色を工夫する。	画面の端まで丁寧にスクラッチで表現する。	班で鑑賞し合い、お互いのよさを伝え合う。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●自己評価カード	スクラッチでの表現に関心をもって取り組むことができた。	テーマに合わせて、構図、彩色を工夫することができた。	丁寧にスクラッチをし、端まで意識して仕上げることができた。	作品のよさを感じ取り、相手に伝えることができた。	・授業態度 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査	
	10														
	11	静物デッサン	・鑑賞 ・いろいろなタッチ ・形をとらえる ・立体感を表す ・質感を表す	光と影の関係を意識して立体感に注目する。	モチーフから光と影の調子の変化を感じとることができる。	卓上に置かれている状況を、光と影で描き表わす。また、造形を自然に見えるベースで描く。		○実物投影機 ●自己評価カード	モチーフをよく観察し、計画的に制作することができた。	光のと影の関係を理解し、構図を決めることができた。	鉛筆の使い方を工夫して、立体感のある表現をする。				
	12														
3	1		螺鈿	・鑑賞 ・テーマ決め ・設置場所設定 ・下描き ・制作	螺鈿の技法について理解を深め、日本の伝統工芸や文化について関心をもつしそいを養う。	貝の繊細な模様からテーマを見つけ、下絵や構図を考える。	螺鈿の技法を知り、丁寧に裁断、漆で定着させる。	参考作品から、螺鈿や伝統工芸のよさを感じる。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞会(グループ発表) ●自己評価カード	螺鈿技法に関心をもって、最後まで制作することができた。	テーマに合わせて、構図を工夫することができた。	制作の手順や方法を理解し、丁寧に仕上げることができた。	伝統工芸である、螺鈿の繊細さなどのよさを感じ取ることができた。	・授業態度 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査	
	2														
	3														

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1	4		組み合わせ模写、空想画	鑑賞	・鑑賞 ・テーマ決め ・夢や空想からの発想 ・詩や物語、音楽からの発想 ・具体物からの発想 ・材料や技法からの発想 ・彩色、模写	たくさんの名画を鑑賞し、美術の文化や歴史に関心をいだき、美術を愛好する態度を養う。	複数の名画から、自分なりのテーマを見つけ組み合わせや構成を考える。	描画材や用具の使い方を工夫し、タッチや色みなどを丁寧に表現していく。	鑑賞活動から、自己の想像に合う作品を見つけ出し作品のよさを感じ取る。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞(陳列発表) ●自己評価カード	単元に関心をもって鑑賞し、作品を知ることができた。	鑑賞からテーマを決定し、構想を練ることができた。	描画材や用具を使って仕上げる事ができた。	教科書、資料集から作品を選び、作者や作品について知ることができた。	・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	5	空想画 構図・構成練習													
	6	下描き・彩色													
	7		デザイン画	影と立体感について	・鑑賞 ・練習制作 ・テーマ決め ・下描き ・制作 ・着彩	物に影のつき方について理解する。		立体感のある影を描き分ける。		○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞会(陳列発表) ●自己評価カード	影のつき方を理解することができた。		影のつき方を理解し、描き分けることができた。		・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
9	配色について	色の感情について復習し、理解を深める。		テーマに合う配色を考える			色がもつ感情について理解を深めることができた。	テーマに合う配色を組み合わせた。							
10	下描き・彩色	立体感と配色の工夫に興味を抱く態度を養う。		構図や配色の工夫を考える。		立体感と影のつき方を理解する。丁寧に色を塗り分ける。	お互いに作品を見せ合い、制作の意図や表現について意見を伝えあい、表現のよさを感じとる。	立体感と配色の効果掛け合わせ、計画的に制作することができた。	立体感を表現する、配色、構図を考えることができた。		立体感を表す模線を描き分けることができた。 ・配色を工夫し、適量でムラなく彩色することができた。	作品のよさを感じ取り、伝え合うことができた。			
11															
2	12		木彫	・鑑賞 ・テーマ決め ・下描き ・彫る	木彫の表現を理解し、日本の伝統工芸に対して関心をもち、中学最後の制作として、自分の思いを制作に活かす態度を養う。	木彫の表現を自分の想像する下絵に活かし、構想を練る。	彫刻刀を表現によって使い分け、彫る。素材や木目を活かし、着彩する。	木彫の歴史や工芸品について理解し、表現のよさを感じ取る。	○実物投影機 ●自己評価カード	伝統工芸に関心をもち、自分の中学生生活を振り返り、単元に取り組むことができた。	テーマ性をもつて構成を練ることができた。	・彫刻刀を使い、仕上げる事ができた。 ・ポスターカラーや専用のニスで着彩し、仕上げる事ができた。	木彫の歴史や工芸品から、表現のよさを感じ取ることができた。	・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査	
	1														
	2														
	3														

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価基準(指導目標)				○活用する！C.T.等 ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解	
1	4	6	体つくり	体ほぐしの運動 体力を高める運動	心と体への気づき、体の調子を整えるための運動、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動きを継続させる能力を高める運動(体力を高める運動の中から自己の体力に応じバランスよく運動を組み合わせ自ら正しく行う。)	体つくり運動に関心をもち、自分から体ほぐし、や体力を高める運動をしようとする。	自分の体力や生活に応じた課題を持って、目的に合った運動を選び構成し、活用する。	体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意義、行い方、運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	○デジタルカメラの動画機能を用いて集団行動を撮影し、動きの改善点を見つける。 ●ワークシートに書き込むことで体力の現状を把握するとともに、効果的な運動方法を考える。	体つくりの特性を理解し、学習に取り組もうとしている。	自分にあった目標を立て、施設、用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。運動に応じた動きができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意義、行い方、運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	8	陸上競技	短距離走 リレー	全力を出して記録の向上を目指して仲間と協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (中間走へのつなぎを滑らかに高いスピードを維持することに努める。スピードが十分に高まったところでバトンの受け渡しをする)に取り組む。	体の調子や練習場などの安全を確かめるなどの練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方、それに合わせた練習や、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズで合理的な動きのイメージをつかむ。 ●学習カードを用いて自己のフォーム及びバトンパス動作の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身につけて、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	6	8	球技	ネット型 バレーボール	いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人の技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行う)に取り組む。	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を持って練習やゲームをしようとする。また、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術の構成、合理的な練習の仕方理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけて、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	5	(保健)	心身の健康と心の健康	・身体機能の発達・生殖にかかわる機能の成熟	・器官が発育し機能が発達する時期や発育・発達の個人差があることを理解する。 ・内分泌の働きによる生殖にかかわる機能の成熟と成熟の変化に伴う適切な行動があることを理解する。	・保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の経験や資料などをもとに課題を見つめようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	・心身の機能の発達や心の健康などについて、予想したり、整理したりすることができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことを日常生活に当てはめることができる。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性質、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調子を保つことの大切さや欲求やストレスに適切に対処する方法を理解する。	○資料映像等の視聴を通して心と体の関連性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで自己の心身の状態を把握する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに学習内容を理解しようとする。 ・心の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、意見や友達の意見を聞いて発表しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体のつぎの進みや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげることができる。 ・思春期における心機転を自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかをつくれるのかを資料や教科書から考えることができる。	・心と体が密接に関係して心の健康を保つこと、ストレスを和らげたり、解消したりする方法を身につけている。	行動観察 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリントの理解 定期テスト		
1・2	7・9	12	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ 自己の能力に適した課題をもって、続けて長く泳げるよう、仲間と協力し、練習方法を工夫しながら技能を向上させる。 事故防止の心得、安全な行動の仕方を知る。 (安定したペースで遠く・長く泳ぐことに努める。)	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組む。互いに協力して練習ができるようにするとともに、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方工夫している。	水泳の特性に応じた技能を身につけて、泳ぎを高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。	水泳の特性や学習の進め方、各泳法の技術の構成、合理的な練習の仕方理解し、競技や審判方法を理解している。事故防止の心得を実践的に結びつけて理解し、知識を身につけている。	●学習カードを用いて課題を把握し、課題に応じた練習方法を考える。 ●泳力別のグループワークを行い、意見を交換することによって自己の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。	各泳法の練習を通して、水泳を楽しみながら学習に取り組んでいく。安全の心や約束を守り、安全に学習に取り組もうとしている。	自己の能力に応じて泳法を選択し、泳ぎの受けながら、自己の習熟度を知り、適した練習をすることができる。	基礎、基本的な技能を身につけて泳ぐことができる。一定時間、一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、合理的な練習の仕方理解している。競技や泳法のルールを理解している。水泳の事故防止の心得を行動に結びつけて理解し、知識を身につけている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	

		陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を目指す仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (スピードに乗った助走をとり、素早く力強く踏み切った後、反り跳びなどの空間動作から流れの中で脚を前に投げた後、着地動作をとり、より遠くに跳ぶことに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるなど練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身に付け、その技能の記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方、それに合わせた練習や、競技の仕方、知識を身に付けている。ルール、競技や審判方法を知っている。	資料映像等の視聴を通して、スムーズで合理的な動きのイメージをつかむ。 ●学習カードを用いて、助走・踏切・空中姿勢・着地の各動作の課題を言葉にして練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習することができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して練習することができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付け、その技能を高め、競技したり記録を高めることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
10	10	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできることを目指す。また、新しい技を上達するための練習の仕方を工夫する。 (新しい技や発展技に取り組むとともに、さらに美しい技に高めたり滑らかに安定させたりすることを旨として、個人やグループでそれらを組み合わせ構成する演技や演技をする。)	器械運動の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組む。互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し、安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した技を習得するための練習の仕方、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性に応じた技能を身に付け、その技能を高め、運動することができる。	器械運動の特性や学習の進め方、技術の構造を理解し、練習の仕方や技の選び方を理解し、知識を身に付けている。	○デジタルカメラの動画機能を用いて自分の課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●学習カードを用いて自己の課題を言葉にして練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさを味わうことができる。教えあいや器具の点検など協力することができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定して練習することができる。	練習の仕方や練習計画の立て方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
11	7	武道	柔道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身に付け、自己の技能に応じた練習をする。 (相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技を展開できるようにするとともに、学習した内容から得意とする技を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。)	基本的な技を習得し、相手の動きや技に対応した攻防や勝敗を味わうこと。礼儀作法や相手を尊重する態度を身に付け、自分で自分を律する態度をとろうとする。	基本的な技を身に付け、基本動作と対人的技能の関連を図る。自分の能力に適した課題を設定し、効果的な練習方法を選ぶ。	基本的な技を身に付け、対人的技能を高めることができる。基本動作を重視して対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方、基本動作や技の構造を知る。礼儀作法、試合の運営やルールを知る。	○資料映像等の視聴を通して柔道の歴史と特性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、体さばきがあることを理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組もうとしている。	動きの中で、順しと体さばきを意識して技をかけている。	基本的な和佐を身に付け、同じ崩しやさばきの技の練習にも取り組むことができる。	資料などを参考に、基本動作や対人的技能の研究・練習に生かすことができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
4		(保健) 心身の機能の発達と心の健康	精神機能の発達と自己形成	・精神機能は生活経験などの影響を受けて発達することを理解する。 ・自己の認識の深まりと自己形成の関係を理解する。	・保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の経験や資料などをもとに課題を見つけてようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の体験をもとに問題点を見つけてことができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、資料などをもとに予想したり、整理したりすることができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことを日常生活に当てはめることができる。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや欲求やストレスと適切に対処する方法を理解する。	○資料映像等の視聴を通して心と体の関連性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで自己の心身の状態を把握する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに理解しようとする。 ・心の発達に伴う友達の関係や、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、意見を聞いていく。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、これまでの自分を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長することを知り、生命尊重へつなげることができる。 ・思春期における心身の成長や自己の経験から感じた文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものであり、それを活かすことができるのかを資料や教科書から考えることができる。	・心と体が密接に関係していることを理解し、ストレスを和らげたり、解消したりする方法を身に付けている。	行動観察 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリントの理解 定期テスト		
12	10	球技	バスケットボール ソフトボール	いままっている技能を活用してゲームを行い、集団的技術や個人の技術を高めて、仲間同士が協力して試合を戦う。 (相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行ったり空間への侵入を助けることに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組む。互いに協力して練習をしようとする。相手に勝つことと公正さをとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方、仲間との教えあいを工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を生かした攻撃ができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術の構造を理解し、競技の仕方、知識を身に付けている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻撃を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身に付け、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

3	10	球 技	ベースボール ソフトボール バスケットボール ゴール型	ソフトボール バスケットボール いままわっている技能を活用してゲームを行い、集団的・個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やその他の技能を用いて、仲間と連携してゲームを行う。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。 チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをともに勝敗に対して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術的な練習の方法を理解し、競技方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に合った練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。 各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	
	1	7	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指す仲間と共に練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に自己に適したペースを高めるように取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確認するうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題を目指し、練習の仕方や記録の工夫をしている。	選択した種目の特性に応じた技能を身に付け、その技能を高めて、競走したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選り分け、それに合わせた練習や競走の仕方について理解し、知識を身につけている。ルール、競走や審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズで合理的な動きのイメージをつかむ。 ●学習カードを用いて自己の課題を言葉にして捉え、練習方法を考えてみる。 ●ワークシートを用いてラップタイムを記録し、安定したペースで走ることの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら練習に取り組むことができる。	自分の能力に適した練習を設け、仲間と協力しながら練習や競走を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身につけて、競走したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	2	8	球 技	サッカー ゴール型	サッカー いままわっている技能を活用してゲームを行い、集団的・個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やその他の技能を用いて空間を作り出す動きやゴール前への侵入といった攻防を工夫して取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。 チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをともに勝敗に対して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術的な練習の方法を理解し、競技方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に合った練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。 各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		2	(保健)心身の機能の発達と心の健康	敬求やストレスへの対処と心の健康	・精神や身体の影響を相互に影響を及ぼすことを理解する。 ・敬求やストレスの心身への影響を理解する。 ・敬求やストレスへの適切な対処方法を理解する。	・保健に関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の経験や資料などを参考に課題を見つけていく。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の体験等をもとに問題点を見つけられるようになる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、予想したり、整理したりすることができるようになる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことや日常生活に当てはめることができる。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調子を保つことの大切さや敬求やストレスに適切に対処する方法を理解する。	○資料映像等の視聴を通して心と体の関連性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで自己の心身の状態を把握する。	・教師の説明やワークシート等を参考に理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方や変化を、教師の説明をもとに学習しようとする。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつながることができる。 ・思春期における心機切かきを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかをつくられるのかを資料や教科書から考えることができる。	・自己の経験から発達段階の特徴や性差や個人差がある視点から、いままでの自分を振り返ることができるようになる。 ・男女の体つきの違いや特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつながることができる。 ・思春期における心機切かきを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかをつくられるのかを資料や教科書から考えることができる。	・心と体が密接に関連していることを理解し、ストレスを和らげたり、解消したりする方法を身につけている。	行動観察 学習ノート 資料の読み取り 学習プリントの理解 定期テスト		
	4	体育理論	運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの必要性と楽しさ。 ・運動やスポーツへの多様な関わり方。 ・運動やスポーツの学び方。	仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツは多様であることを理解できるようにする。	○資料映像等の視聴を通して運動やスポーツの多様性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで運動やスポーツの多様性を系統的に理解する。	教師の説明や教科書、学習ノートを参考に理解しようとする。	自己の体験などを日常会話に当てることができる。	自己の体験などを日常会話に当てることができる。	運動やスポーツの多様性を理解している。	定期テスト		
3	7	ダンス	フォークダンス 創作ダンス 現代舞踊	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊りを楽しく踊り、楽しむことやよきこびを味わう。 (音楽に合わせてステップや動きを組み合わせて踊ったり、簡単な作品に挑戦することに取り組む。)	ダンスの特性に関心をもち、いろいろな国の踊りを楽しく踊り、楽しむことやよきこびを味わうように進んで取り組もうとする。 踊りの由来や歴史に興味を持ち、楽しそうにする。	自己に適した課題をもち、その課題解決のために、資料を活用し、踊りの特徴をとり入れ、踊りに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて、リズムにのってのびのびと踊ることや、それ以外のダンスの踊り方の特徴や雰囲気を感じることができるようになる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。 日本や外国のダンスの由来や踊りの特徴、違いなどについて知る。	○資料映像等の視聴を通してダンスの歴史や特性を理解する。 ●グループワークを行い、動きのイメージを言葉に表して伝える能力を養う。	互いの動き、表現をよくしようと練習、協力しあう。	資料を活用し、各国のダンスのリズムや踊り方を学び、自分たちで踊りを楽しんでいる。	選択したダンスの基本となるステップや動きを身につけて、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価基準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解	
1	4	5	体づくり	体ほぐしの運動 体力を高める運動	心と体の気づき、体の調子を整えるための運動。力強い動きを継続させる能力を高める運動。 (学習した動きをもとに、自分の体力に合わせて体の各部位の可動範囲を広げたり、各動き方のバリエーションを広げたりすることを目指す。)	体づくり運動に関心をもち、自分から積極的に運動しようとする。	自分の体力や生活に応じた課題を持って、選り好みせず、活用する。	体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意義、行い方、高め方を理解する。 運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	○デジタルカメラの動画機能を用いて集団行動を撮影し、動きの改善点を見つける。 ●ワークシートに書き込むことで体力の現状を把握するとともに、効果的な運動方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組みうとしている。	自分にあった目標を立て、施設・用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。 運動に応じた動きができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意義、行い方、高め方を理解する。 運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	7	陸上競技	短距離走 リレー	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技術向上の喜びや楽しさを味わう。 (中間走へのつなぎを滑らかに高いスピードを維持することに努める。次走者のスピードが十分に高まったところでバトンの受け渡しを行うことに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確認するなど練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題を設定し、その達成を目指す。練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技術を身に付け、その技術を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方や、それに合わせた練習や競技の仕方を知っている。	○資料映像の視聴を通して、スムーズな合理的な動きのイメージをつかむ。 ●学習カードを用いて自己のフォーム及びバトンパス動作の課題を言葉にして伝え、課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを感じながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設定し、仲間と協力的に練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題について、動きのポイントや、その技術を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	6	8	球技	ネット型 バレーボール	いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人の技能を高めて、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やその他のための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行うなど、攻防を工夫することに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように入念に取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをし、仲間と協力して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを守り、作戦を立てたりして練習の工夫をしている。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構築、合理的な練習の仕方を知っている。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構築、合理的な練習の仕方を知っている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身に付け、それを生かしたゲームができる。 各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
1	7	10	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ 自己の能力に適した課題をもって、仲間と協力し、練習方法を工夫しながら技能を向上させる。 事故防止の心得、安全な行動の仕方を知る。 (安定したペースで長く泳ぐことに取り組む。)	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように入念に取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをし、仲間と協力して公正な態度をとろうとする。	自分の能力に適した課題を設定し、その達成を目指す。練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	水泳の特性に応じた技術を身に付け、その技術を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	水泳の特性や学び方、技術の構築、合理的な練習の仕方を知っている。	●学習カードを用いて自己のフォームの課題を言葉にして伝え、課題に応じた練習方法を考える。 ●泳力別のグループワークを行い、意見交換をすることによって学ぶことができる。 ●泳力別のグループワークを行い、意見交換をすることによって学ぶことができる。	各泳法の練習を通して、水泳を楽しむながら学習に取り組むことができる。安全のきまりや約束を守り、安全に学習に取り組もうとしている。	自己の能力に適した課題を設定し、仲間と協力的に練習や競技を行うことができる。	基礎、基本的な技能を身に付け、泳ぐことができる。一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、合理的な練習の仕方を知っている。競技や泳法のルールを理解している。 水泳の事故防止の心得を行動に結びつけて理解し、知識を身に付けている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	

6	陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (スピードに乗った助走をとり素早く力強く踏み切った反り跳びなどの空間動作からの流れの中で脚を前に投げた足着地動作をとり、より遠くに跳ぶことに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるうえに練習をするうえに留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その練習を決めて練習し、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方や練習の仕方について、それらに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像の視聴を通して、スムーズな動きのイメージをつかむ。 ●学習カード・踏切・空中姿勢・着地の各動作の捉え、課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間や競争相手を練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力し、工夫した練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントや、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
10	8	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の仕方を工夫する。 (新しい技や美観技に取り組むとともに、さらに美しい技に高めたり滑らかに安定させることを目指して、個人やグループでそれらを組み合わせた構成する演技や競技をする。)	器械運動の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し、安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題を習得するための練習の仕方を工夫している。練習の場作りの方法、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性や学習の進め方、技術の構造を理解し、練習の仕方や技のできばえの確かめ方を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いて自己の課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●学習カードを用いて自己の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさや喜びを味わうことができる。 教えあいや道具の点検など協力することができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定して練習することができる。	練習の仕方や練習計画の立て方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
11	7	武道	柔道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身につけて、自己の技能に応じた練習をする。 (相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技を用いてスムーズに攻防を展開できるようにするとともに、学習した内容から得意とする技を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。)	基本的な技を習得し、相手の動きや技に対する攻防や勝敗を味わい合う楽しさを味わう。礼儀作法や相手を尊重する態度を身につけて、自分で自分を律する態度をとうとする。	基本的な技を身につけて、対人的技能を高めることができる。基本動作を重視して対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方、基本動作や技の構造を理解し、練習の仕方や技のできばえの確かめ方を理解し、知識を身につけている。	○資料映像等の視聴を通して柔道の歴史と特性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、技に応じた崩し、体さばきがあることを理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組もうとしている。	動きの中で、崩しと体さばきを意識して技をかける。	基本的な和佐を身につけて、同じ崩しや体さばきの取組むことができる。	資料などを参考にしたり対人的技能を研究し練習に生かすことを知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
12	10	球技	バスケットボール ソフトボール ゴール型	ソフトボール バスケットボール いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的技能力や個人の技能力を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行う。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとする。また、勝敗に対して公正な態度をとうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方について、それらに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけて、それを生かしたゲームができる。 各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
4	(保健) 健康と環境	・飲料水や空気 の衛生管理 ・生活に伴う 廃棄物の衛生 的管理	・健康と飲料水や空気との密接なかわり合いを理解する。 ・健康のための基準に適合した飲料水や空気の管理があることを理解する。 ・生活によって生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性を理解する。	・健康と環境のかわり合いについて、資料を見たり、自己の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を頼りながら、課題の解決に取り組む。課題について調べようとする。 ・教科書などの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめ、発表しようとする。	・健康と環境について、自己の日常生活等を振り返ることができ。 ・健康と環境について、自己の経験や資料などをもとに自分で予想したりすることができる。 ・健康と環境について、学習したことを日常生活に当てはめることができる。	・人間の健康は環境と深くかわり合っており、身体には環境に対する適応能力があることを知る。 ・人間の生命維持や健康に密接にかかわりのある空気、飲料水の条件について知る。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があるひとを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康と環境が密接に結びついていることを理解する。 ●意見交換を行い、自己の考えを言葉にして伝えるコミュニケーション能力を養う。	・人間を含めた生物と環境とのかわり合いについて、発見し、学習に取り組もうとしている。 ・進んで調べ、よく発表を聞き、理解したことを今後生活に実践しようとしている。	・学習資料から、人間に対して、人間の身体はある程度適応できることを理解できる。 ・温度や湿度、空気などの至適範囲や許容範囲について、日常における工夫を見つけることができる。 ・調査実験に参加し、意見交換することによって学ぶことができる。 ・し尿や生活排水、ごみの処理などについて理解を深め、環境に配慮した生活行動についても考えることができる。	・身体に環境に対する適応能力とその限界について具体的な例示から知識として身につけている。	行動観察 発言 意見交換 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリントの 理解 定期テスト		
4	体育理論	運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	・運動やスポーツは、心身の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できることを理解する。 ・運動やスポーツはルールやマナーについて合意したり適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める	仲間や教師の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツが心身の発達に影響を与えることを理解している。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとしている。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。	心身の発達と運動やスポーツの関係性を理解している。	定期テスト			

3	1	7	陸上競技	長距離走	効果があることを理解する。 ・安全な運動やスポーツの行い方を理解する。 全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (リズムミカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に自己に適したペースを高めるように取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確認する。練習での健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指す。練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性につけ、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に合った課題の選り分け、それに合わせた練習や競技の仕方について、知識を身につけている。ルールや審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズで合理的な動きのイメージをつかむ。 ●学習カードを用いて自己の課題を言葉で表現し、練習方法を考える。 ●ワークシートに記録し、安定したペースで走ることの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力的な練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題について、動きのポイントやその技能を高め、記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	2	8	球 技	ゴール型	サッカー いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて空間を作り出す動きやゴール前への侵入といった攻防を工夫して取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるよう進んで練習しようとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームしようとする。また、練習やゲームに勝敗に対して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に合った課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性につけ、作戦を生かした攻撃を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけて、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	8		(保健) 傷害の防止	・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 ・交通事故などによる傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止	・人的要因や環境要因などのかかわりによる傷害の発生を理解する。 ・安全な行動、環境の改善による傷害の防止を理解する。 ・自然災害発生による傷害と二次災害による傷害があることを理解する。 ・自然災害への備えと傷害の防止を理解する。	・健康と環境のかかわりについて、資料を見たり、自己の日常生活等を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を読んだり取り組み、課題について調べようとする。 ・教科書などの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめ、発表しようとする。	・健康と環境について、自己の日常生活等を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・健康と環境について、自己の経験や資料などをもとに自分なりに考えたりすることができ。 ・健康と環境について、学習したことを日常生活に当てはめることができる。	・人間の健康は環境と深くかかわって成り立っており、身体は環境に対する適応能力があることを知る。 ・人間の生命維持や健康に密接にかかわりのある空気、飲料水の条件について。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に密着した環境を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康と環境が密接に結びついていることを理解する。 ●意見交換を行い、自己の考えを言葉にして伝えるコミュニケーション能力を養う。	・人間を含めた生物と環境とのかかわりについて、発言し、学習に取り組もうとしている。 ・進んで調べ、よく発表を聞き、理解したことを今後の生活に実践しようとしている。	・学習資料から、環境に対して、人間の身体は、ある程度適応できることを理解できる。 ・温度や湿度、空気などの至適範囲や許容範囲における工夫を見つけてことができる。 ・調査実習に参加し、意見交換することで学習したことがより深まる。 ・し尿や生活排水、ごみの処理などについて理解を深め、環境に配慮した生活行動についても考えることができる。	・身体や環境に対する適応能力とその限界について具体的な例示から知識として身につけている。	行動観察 意見交換 学習カード 資料の読み取り 学習プリントの理解 定期テスト		
3	6	ダンス	フォークダンス 創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよさを味わう。 (素早いテーマにふさわしいイメージを伝え、一人や仲間と得意な動きのある動きや空間の使い方を工夫したり音楽に合わせて踊ったり、簡単な作品にして踊ることに取り組む。)	ダンスの特性に関心をもち、いろいろな国の踊りやダンスの楽しさを味わうように進んで取り組もうとする。 ダンスの由来や踊り方や独特の味わいに関心をもち、楽しむようとする。 互いのよさを認め合い、協力して練習しようとする。	自己に適した課題をもち、その課題解決のために、資料を活用し、踊りの特徴をとらえ、動きに練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて、リズムにのってのびのびと踊ることができる。 それぞれのダンスの踊り方の特徴や雰囲気や音楽を大切にしながら踊ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。 日本や外国のダンスの由来や踊りの特徴、違いなどについて知る。	○資料映像等の視聴を通してダンスの歴史や特性を理解する。 ●グループワークを行い、動きのイメージを言葉にして伝える能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようと練習、協力しあう。	資料を活用し、各国のダンスの歴史や特性を知り、自分たちで工夫して踊っている。	選択したダンスの基本となるステップや動きを身につけて、リズムミカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスの動きや特徴を理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価基準(指導目標)				活用するICT等 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解	
1	4	6	体づくり	体ほぐしの運動 体力を高める運動	心と体への気づき、体の調子を整えるための運動。 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動きを継続させる能力を高める運動。 (自己の健康や体力・生活に に応じバランスよく運動を 組み合わせ、計画を立てて 自ら取り組む、実生活につ なげていく。)	体づくり運動に関心 をもち、自分から体ほ ぐし、や体力を高める 運動をしようとする。	自分の体力や生活に 応じた課題を持って、 目的に合った運動を 選び構成し、活用す る。	体力を高める運動 を身につけたり、合 理的に体力を高め たりすることができる。	体ほぐし、体力を 高める運動の意義、 行い方、高め方を知 る。 運動の構成の仕方 や活用の仕方を知 る。	○デジタルカメラ の動画機能を用い て集団行動を撮影 し、動きの改善点 を見つける。 ●ワークシートを 用いてマイトレー ニングプログラム を作成し、体力の現 状を把握するとと もに、効果的な運 動方法を考える。	体づくりの特性 を理解し、学習に 取り組もうとし ている。	自分にあった目 標を立て、施設、 用具を利用して 運動に取り組ん でいる。	のびのびとした 動作の運動がで きる。 運動に応じた動 きができる。	体ほぐし、体力 を高める運動の 意義、行い方、 高め方を知る。 運動の構成の仕 方や活用の仕方 を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	10	陸上競技	短距離走 リレー ハードル	全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力し て練習し、技能向上の喜びや 楽しさを味わう。 (短距離走では合理的なフ ォームを身に付け中間走の 高いスピードを維持して速 く走ることに取り組む。 リレーでは双方の走者のス ピードが十分に高まった ところで滑らかにバトンの 受け渡しをすることに取 り組む。 ハードルではインターバル を3歩のリズムで低く走 り越し、スピードを維持し ながら走ることに取り組 む。)	体の調子や練習場な どの安全を確認する。 練習の仕方や競技の 仕方を工夫しようとする。	自分の能力に適した 課題をもち、その解 答を目指して、練習 の仕方や競技の仕 方を工夫している。	選択した種目の特性 に応じた技能を身に つけ、その技能を高 め、競技したり記録 を高めたりすること ができる。	種目特性や学習の進 め方、自分の能力に 適した課題の選び 方、練習や競技の 仕方を知っている。 ●学習カードを用 いて自己のフォー ムの課題を言葉に して伝え、課題に 応じた練習方法を 考える。	楽しさを味わい ながら仲間と協 力して練習や競 技を行うことが できる。	自分の能力に適 した課題を設計 し、仲間と協力 して練習や競技 を行うことができ る。	自分の能力に適 した技能につい て、動きのポイ ントを身に付け 、その技能を高 め、競技したり 記録を高めたり することができる 。	陸上競技の特性 や学習の進め方 が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	
	6	10	球技	ネット型 バレーボール	いまもっている技能を活用 してゲームを行い、集団的技 能や個人的技能を高め、味方 同士が協力して作戦を立て、 相手チームに対応したゲー ムをする。 (相手の作戦や状況に応じ て仲間と連携した技能、作 戦でゲームを行うことが できるよ、空間をうめる 動きなどを工夫すること に取り組む。)	球技の特性に関心を もち、楽しさや喜びが 味わえるように進 んで取り組もうと する。 チームにおける自分 の役割を自覚し、責 任を果たし、互いに 協力して練習やゲー ムをしようとする。 ともに勝敗に対 して公正な態度を とろうとする。	チームの課題や自分 の能力に適した課 題の解決を目指し、 ルールを工夫したり 作戦を立てたりして 練習の仕方をつ 工夫している。	選択した球技種目 の特性に応じた技 能を身につけ、作 戦を生かした攻防 を展開してゲーム ができる。	選択した球技種目 の特性や学習の進 め方、技術の構成 、合理的な練習 の仕方を知ってい る。 練習や競技の仕 方を知っている。 ●学習カードを用 いて自己のフォー ムの課題を言葉に して伝え、課題に 応じた練習方法を 考える。	ルールやマナー を守って練習、ゲ ームに取り組む ことができる。	自己の課題や役 割を考え練習や ゲームができる。	基本的な技能を 身につけ、それ を生かしたゲー ムができる。 各球技種目を仲 間と協力してゲ ームができる。	球技種目の特性 や学習の進め方 が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト	
	7	(保健)	健康な生活と疾病 の予防	・健康の成り立ち、主体と環 境の要因のかかりによ って起こる疾病の理 解。 ・食事・運動・休養及び睡眠 の調和のとれた生活 の継続を理解する。 ・生活習慣の乱れと生活習慣 などとのつながりを理 解する。	・健康の保持増進のた めに必要な生活行 動や疾病の予防につ いて、資料を見たり、 自己の日常生活を 振り返りながら課 題を発見しよう とする。 ・教師や仲間ととも に活動したり、教科 書などの資料を 頼りながら課題の 解決に取り組む。 課題について 調べようとする。 ・教科書などの資料 をもとに、自己の 考えや意見をまと めようとする。	・健康な生活の仕方 や疾病の予防につ いて、資料を見 たり、問題点を 発見しようとする。 ・健康な生活の仕方 や疾病の予防につ いて資料をもと に、予想したり、 整理したりする ことができる。 ・健康な生活の仕方 や疾病の予防につ いて学習したこ とを日常生活に 当てはめること ができる。	・健康は、主体と環 境から成り立ち、疾 病はそれらの要因 がかかり合って起 こることを知る。 ・健康の保持増進 には、生活習慣が 深く関わっている ことがおもしろい 要因となっており 、疾病や予防の 仕方について知 る。 ・感染症の要因と その予防の方法 について知る。 ・個人の健康と集 団の健康は密接な 関係があること、 健康を保持増進 するために、保 健、医療機関の 有効な利用が必 要であることを 知る。	○資料映像等の 視聴を通して健康 の保持増進のため に必要な生活行動 や病気の予防につ いて理解する。 ●意見交換を行 い、仲間と自分の 生活習慣の違い を見つける。 ●学習カードを 用いて自己の現 状を把握し、健康 の保持増進のため に必要な生活行動 や病気の予防につ いての改善点を見 つける。	・健康の保持増進 のために必要な 食事、運動、休 養のあり方につ いて自己の今の 状態を見直すこ とができる。 ・自分自身の日常 生活から日ごと の生活習慣につ いて、科学的に 考え、部分的に ふさわしい行動 を選択することが できる。 ・感染症の発生 要因についてま とめたり、また、 話し合いでは、 自己の考えを述 べたりすること ができる。	・資料を使っ て、医療機関 についてまと めること ができる。	・資料を使っ て、医療機関 についてまと めること ができる。	・資料を使っ て、医療機関 についてまと めること ができる。	行動観察 発見意欲 学習カード 学習プリントの 理解 定期テスト		

3	12	10	球 技	ゴール型	サッカー いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団の技能や個人の技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うこと、めぐる動きなどを工夫することに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームとともに勝敗に対して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を見学している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方を理解し、適切な練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを用いてゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	12	10	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指す。仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。(力みのないフォームで軽快に一定のリズムやペースから記録や競争といった状況に応じて切り替えて走ることに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確認するうえに健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した決を目標として、練習の仕方や競技の工夫を工夫している。	選択した種目の特性につけて、その技能を高めた練習をしたり記録を高めることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に合った練習方法や練習の工夫を理解し、知識を身につけている。 ●学習カードを用いて自己の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを用いてラップタイムを記録し、安定したペースで走ることの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技ができる。	自分の能力に適した課題を設計し、仲間と協力的な練習や競技を行っていくことができる。	自分の能力に適した課題について、動きのポイント、その技能の高め方、記録を高めることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	4		(保健)生活と疾病の予防	・保健医療機関の有効利用 ・個人の健康と社会の取組み	・健康の保持増進や疾病予防の役割を担っている保健、医療機関とその使用方法を理解している。 ・個人の健康と社会的な取り組みとの関係性を理解する。	・健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、自己の日常生活を取り組んでいる。自分自身の健康意識を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書など資料をもとに予習して課題の解決に取り組む。課題について調べようとする。 ・教科書など資料をもとに、自己の考えや意見をまとめる。	・健康な生活の仕方や疾病の予防について、自己の日常生活を見つめることができる。 ・健康な生活の仕方がかかわる要因となる病気の予防について知る。 ・感染症の原因とその予防の方法について知る。 ・個人の健康と集団の健康は密接な関係があることを知り、健康を保持増進するために、保健医療機関の有効な活用が必要であることを知る。	・健康は、主体と環境から成り立ち、疾病はそれらから生じることがあることを知る。 ・健康の保持増進には、生活習慣が大きくかかわる要因となる病気の予防について知る。 ・学習カードを用いて自己の現状を把握し、健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防についての改善点を見つける。	・健康の保持増進のために必要な食事、運動、休養のあり方について自己の今の状態を見直すことができる。 ・自分自身の日常生活習慣について科学的に考え、部分的にふさわしい行動を選択することができる。 ・感染症の発生要因についてまとめたり、話し合いでは、自己の考えを述べたりすることができる。	・資料を使って、保健医療機関についてまとめることができる。	・資料から、自己に必要な食事、運動、休養のあり方について自己の今の状態を見直すことができる。 ・自分自身の日常生活習慣について科学的に考え、部分的にふさわしい行動を選択することができる。 ・感染症の発生要因についてまとめたり、話し合いでは、自己の考えを述べたりすることができる。	・資料を使って、保健医療機関についてまとめることができる。	行動観察 意見交換 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリントの理解 定期テスト	
	3	10	球 技	ネット型 バスケットボール	バスケットボールソフトボール いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団の技能や個人の技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うこと、めぐる動きなどを工夫することに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームとともに勝敗に対して公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を見学している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方を理解し、適切な練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを用いてゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	4		体育理論	文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツの文化的意義を理解する。 ・国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割を理解する。 ・人々をつなぎ付けるスポーツの文化的な意義を理解する。	仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	学習したことや日常生活に当てはめることができる。	文化としてのスポーツの意義について理解している。	●資料映像等の視聴を通して文化としてのスポーツの意義を理解する。 ●グループワークを行い、スポーツに対する多様な考え方があることを理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等を参考に、学習内容を理解しようとする。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。	文化としてのスポーツの意義や役割を理解している。	定期テスト	

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価基準 (指導目標)				活用する ICT 等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準 (B)				評価方法																											
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解																												
1	4	6	体づくり	体ほぐしの運動 体力を高める運動	心と体の気づき、体の調子を整えるための運動、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動きを継続させる能力を高める運動 (体力を高める運動の中から自己の体力に合ったバランスよく運動を組み合わせて自ら正しく行う。)	体づくり運動に関心をもち、自分から体ほぐし、や体力を高める運動をしようとする。	自分の体力や生活に合った課題を持って、目的に合った運動を選び構成し、活用する。	体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意識、行い方、運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	○デジタルカメラの動画機能を用いて、集団行動を撮影し、動きの改善点を見つける。 ●ワークシートに書き込むことで体力の現状を把握するとともに、効果的な運動方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組もうとしている。	自分にあった目標を立て、施設、用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。 運動に応じた動きができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意識、行い方、運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習ノート 実技テスト 定期考査																											
	5 6	8	ダンス	フォークダンス 創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよろこびを味わう。 (音楽に合わせてステップや動きを組み合わせて踊ったり、簡単な作品にして踊ることに取り組む。)	ダンスの特性に関心をもち、いろいろな国の踊りを踊る楽しさや喜びを味わうように進んで取り組もうとする。 ダンスの由来や踊り方や独特の味わいに関心をもち、楽しもうとする。	自己に選んだ課題をもち、その課題解決を図るために、資料を活用し、踊りの特徴をとらえ、動きに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて、リズムにのってこれのびのびと踊ることができる。それぞれダンスの踊り方の特徴や雰囲気を知ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることと外国のダンスの由来や踊り方の違いなどについて知る。	○資料映像等の視聴を通してダンスの歴史や特性を理解する。 ●グループワークを行い、動きのイメージを言葉にして伝える能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようとする練習、協力しあう。	資料を活用し、各国のダンスのリズムや踊り方を知り、自分たちでうごきをつくりだして楽しもうとしている。	選択したダンスの基本となるステップを身につけて、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査																											
	6	5	(保健) 心身の健康 心身の健康と心の健康	・身体機能の発達・生活にかかわる機能の成熟	・器官が発育し機能が発達する時期や発育、発達の個人差があることを理解する。 ・内分泌の働きによる生殖にかかわる機能の成熟と成熟の変化に伴う適切な行動があることを理解する。	・保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の経験や資料などをもとに課題を見つけてようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、資料などをもとに予想したり、整理したりすることができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、仲間や考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心と体が密接に関係していることを理解し、ストレスを和らげたり、解消したりする方法を身につけている。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。 ・心身の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求について、資料や友達と意見や意見を交換しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげ考えることができる。 ・思春期における心機開きを自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心身の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや放課やストレスに適切に対処する方法を理解する。

9	8	武 道	柔 道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身につけ、自己の技能に応じた練習をする。 (相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技を用いてスムーズに攻防を展開できるようにするとともに、学習した内容を得意となる技を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。)	基本的な技を習得し、相手の動きや技に対する攻防や勝敗を味わい合うとする。礼儀作法や相手を尊重する態度を身につけ、自分自身を律する態度をとらうとする。	基本的な技を身につけ、基本動作と対人的技能の関連を図る。自分の能力に適した課題を設定し、効果的な練習方法を選ぶ。	基本的な技を身につけ、対人的技能を高める。対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方、基本動作や技の構造、合理的な練習の練習方法や工夫を知る。礼儀作法、試合の運営やルールを知る。	○資料映像等の視聴を通して柔道の歴史と特性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、体さばきがあることを理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組むことができる。	動きの中で、順しと体さばきをつけている。	基本的な和佐を身につけ、同じ順しやさばきの練習にも取り組むことができる。	資料などを参考に、基本動作を生かすことについて研究している。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
10	8	球 技	ネット型 バレーボール	いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人の技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行うなど、攻防を工夫することに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをし、仲間と協力して公正な態度をとらうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の練習方法を工夫する。審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
11	8	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に自己に適したペースを高めるように取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確認する。練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方、それに合わせた練習の練習方法を工夫する。競技の仕方を理解し、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を理解している。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズな動きのイメージをつかむ。 ●学習ノートを用いて自己の課題を言葉にして捉え、練習方法を考えてみる。 ●ワークシートを用いてラップタイムを記録し、安定したペースで走ることの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身につけ、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
2	4	(保健) 心身の機能の発達と心の健康	精神機能の発達と自己形成	・精神機能は生活経験などの影響を受けて発達することを理解する。 ・自己の認識の深まりと自己形成の関係を理解する。	・保健に関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の経験や資料などをもとに課題を見つけてみようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の体験等をもとに問題点を見つけてみようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、予想したり、整理したりすることができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことや日常生活に当てはめることができる。	・年齢に伴う心身の各器官の発達傾向や性差、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の発達や自己の重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや欲求やストレスに適切に対処する方法を理解する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに理解しようとする。 ・心の発達に伴う人とのかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求についての欲求や友達の意見を聞いて発表しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自己を振り返ることが出来る。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつなげることができる。 ・思春期における心機転を自己の経験から感じ文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかを資料や教科書から考えることができる。	・心と体が密接に関係していることを理解し、ストレスを和らげたりする方法を身につけている。	行動観察 学習ノート 学習プリントの理解 定期考査			
12 1	10	球 技	ベースボール型 ソフトボール バスケットボール	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをし、仲間と協力して公正な態度をとらうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の練習方法を工夫する。審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	

3	2	8	陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (スピードに乗った助走をとり素早く力強く踏み切った後、反り跳びなどの空間動作からの流れの中で脚を前に投げだす着地動作をとり、より速くに跳ぶことに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した科目の特性に応じた技能を身につけて、その技能を高めて、競技したり記録を高めたりすることができる。	科目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方、それに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズイメージをつかむ。 ●学習ノートを用いて助走・踏切・空中姿勢・着地の各動作で課題を言葉にした練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントや技を高め、記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方や理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
	3	10	器械運動	マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の仕方を工夫する。 (新しい技や発展技に取り組むとともに、さらに新しい技に高めたいと目指して、個人やグループでそれらを組み合わせ構成する演技や競技をする。)	器械運動の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し、安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題を習得するための練習の仕方を工夫し、練習の場作りや方法、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選び方、それに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いて自分の課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●学習ノートを用いて自己の課題を言葉にした練習方法を考える。	自己に適した技を習得し、楽しさや喜びを味わうことができる。 教えあいや補助の点検など協力することができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定して練習できる。	練習の仕方や練習計画の立て方と理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
	3	2	(保健) 心身の機能の発達と心の健康	欲求やストレスへの対処と心の健康	・精神や身体の相互の影響を理解する。 ・欲求やストレスの心身への影響を理解する。 ・欲求やストレスへの適切な対処方法を理解する。	・保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の経験や資料などをもとに課題を見つけようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	・心身の機能の発達や心の健康などについて、自己の体験等をもとに問題点を見つけようとする。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、資料などをもとに予想したり、整理したりすることができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことや日常生活に当てはめることができる。	・年齢に伴う心身の各器官の発達の傾向や性質、個人差などがあることを理解する。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期が自己の認識が深まる重要な時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために心身の調和を保つことの大切さや欲求やストレスに適切に対処する方法を理解する。	○資料映像等の視聴を通して心と体の関連性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで自己の心身の状態を把握する。	・教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに理解しようとする。 ・心の発達に伴う人とかかわり方の変化を、教師の説明をもとに学習しようとしている。 ・欲求や友達の意見を聞いて発表しようとしている。	・自己の経験から発達段階の特徴を考え、性差や個人差がある視点から、いままでの自分を振り返ることができる。 ・男女の体つきの違いや、特徴について気づくことができる。 ・生命を生み出す体へと成長する大切な時期であることを学習を通して知り、生命尊重へつながることができる。 ・思春期における心機転を自己の経験から感想文を書くことができる。 ・自分らしさとはどのようなものかや資料や教科書から考えることができる。	・心と体が密接に関係して心の健康を保つことを理解し、ストレスを和らげたり、解消したりする方法を身につけている。	行動観察 発言 学習ノート 学習プリントの 理解 定期考査		
	4		体育理論	運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの必要性和楽しさ。 ・運動やスポーツへの多様なかわり方。 ・運動やスポーツの学び方	仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツは多様であることを理解できるようにする。	○資料映像等の視聴を通して運動やスポーツの多様性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで運動やスポーツの多様性を系統的に理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとしている。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。	運動やスポーツの多様性を理解している。	定期考査		

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価基準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解	
1	4	5	体づくり	体ほぐしの運動 体力を高める運動	心と体への気づき、体の動きを整えるための運動。体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動きを持続させる能力を高める運動。 (学習した動きをもとに、自分の体力に合わせて体の各部位の可動範囲を広げたり動き方を広げ深めたりすることを計画しながら取り組む。)	体づくり運動に関心をもち、自分から体ほぐし、や体力を高める運動をしようとする。	自分の体力や生活に合った課題を持って、目的に合った運動を選び構成し、活用する。	体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の意義、行い方、高め方を知る。運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	○デジタルカメラの動画機能を用いて集団行動を撮影し、動きの改善点を見つける。 ●ワークシートに書き込むことで体力の現状を把握するとともに、効果的な運動方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組みもうとしている。	自分にあった目標を立て、施設・用具を利用して運動に取り組んでいる。	自分の能力に合った動作の運動ができる。運動に応じた動きができる。	自分の能力に合った動作の運動ができる。運動に応じた動きができる。	行動観察 スポーツテスト 学習ノート 定期考査
	5	8	器械運動	マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の仕方を工夫する。 (新しい技や発展技に取り組むとともに、さらに美しい技に高めたり滑らかに安定させることを目指して、個人やグループでそれらを組み合わせて構成する演技や競技をする。)	器械運動の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し、安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題を習得するための練習の仕方を工夫している。練習の場作りの方法、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性や学び方、技術の構成を理解し、練習の仕方や技のできばえの確かめ方を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いて自己の課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●学習ノートを用いて自己の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさや喜びを味わうことができる。教えあいや器具の点検など協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自分の技能レベルに合った技がある程度安定してできる。	練習の仕方や練習計画の立て方を理解することができる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
	6	7	(保健) 健康と環境・ 傷害の防 止	・身体環境 ・健康と環境 ・傷害の防 止 ・応急手当	・身体環境の健康への影響を理解する。 ・快適で能率のよい生活ができる環境の範囲があることを理解する。	・健康と環境のかかわりについて、資料を見たり、自己の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに教科書や資料などの資料を読み取り、課題の解決に取り組む。課題について調べようとする。 ・教科書などの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめる、発表しようとする。	・健康と環境について、自己の経験や資料などを自分なりに整理し、課題の解決に取り組む。課題について調べようとする。 ・健康と環境について、学習したことや日常生活に当てはめることができる。	・人間の健康は環境と深くかかわって成り立っており、身体は環境に対する適応能力があることを知る。 ・人間の生命維持や健康に密接にかかわりのある空気、飲料水の条件について知る。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康と環境が密接に結びついていることを理解する。 ●意見交換を行い、自己の考えを言葉にコミュニケーション能力を養う。	・人間を含めた生物と環境のかかわりについて、発見し、学習に取り組みもうとしている。 ・進んで調べ、よく発表を聞き、理解したことを今後の生活に実践しようとしている。	・学習資料から、環境に対しては、ある程度適応できる。温度や湿度、空気などの生活環境や許容範囲について、日常における工夫を見つけることができる。 ・調査実習に参加し、意見交換することによって学習したことをまとめることができる。 ・し尿や生活排水、ごみの処理などについて理解を深め、環境に配慮した生活行動についても考えることができる。	・身体環境に対する適応能力とその限界について具体的な例示から知識として身につけている。	行動観察 意見交換 学習ノート 資料の読み取り 学習プリントの 理解 定期考査		
1 2	7 9	10	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ	自己の能力に適した課題をもって、続けて長く泳げるよう、仲間と協力し、練習方法を工夫しながら技能を向上させる。 事故防止の心得、安全な行動の仕方を知る。 (安定したペースで長く泳ぐことに取り組む。)	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習できるようにするとともに、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。	水泳の特性に応じた技能を身につけ、技能を高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。	水泳の特性や学び方、各泳法の技術の構成、合理的な練習の仕方などを理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	●学習ノートを用いて自己のフォームの課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●泳力別のグループワークを行い、意見交換をすることで、自己の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。	各泳法の練習を通して、水泳を楽しみながら学習に取り組みもうとしている。安全のきまりや約束を守り、安全に学習に取り組もうとしている。	自己の能力に応じた泳法を選択している。助言を受けながら、自己の習熟度を高め、適切な練習ができる。	基礎、基本的な技能を身につけて泳ぐことができる。一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、合理的な練習の仕方、競技や泳法のルールを理解している。水泳の事故防止の心得を行動に結びつけて理解し、知識を身につけている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
	2	9	球技	ネット型	バレーボール	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習ができるようにするとともに、相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行うなど、攻防を工夫することに取り組む。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構成、合理的な練習の仕方などを理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけて、それを用いてゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方を理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査

10	7	武道	柔道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本技に合わせた練習をする。(相手の動作から、基本となる防とを模倣し、練習を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。)	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本技に合わせた練習をする。(相手の動作から、基本となる防とを模倣し、練習を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。)	基本の技を身につける。相手の動きや技に対する防とを模倣し、練習を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。	基本の技を身につける。相手の動きや技に対する防とを模倣し、練習を身に付け、自由練習や簡単な試合等に取り組む。	柔道の特性や学習の進め方、基本動作や基本技の練習方法、試合の運営やルールを知る。	○資料映像等の視聴を通して柔道の歴史や特性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、技に合った防とを身につける。 ●練習ノートを用いて自分の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを記録し、安定したペースで走ることが重要を理解する。	柔道を尊重し、礼儀作法を守り、練習や試合に取り組む。	動きの中で、防とを身につける。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、技に合った防とを身につける。 ●練習ノートを用いて自分の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを記録し、安定したペースで走ることが重要を理解する。	基本的な和佐を身につける。同じ和佐の練習にも取り組むことができる。	資料などを参考に、基本動作や基本技の練習に生かすことを知っている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
10 ・ 11	7	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習をする。楽しみや喜びを味わう。(リズムに腕を振り、力みのないフォームで軽快に自己に合ったペースを高めるように取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるなど練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に合った課題をもち、その練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身につける。その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に合った課題の選び方や練習の仕方、競技の仕方、ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して柔道の歴史や特性を理解する。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、技に合った防とを身につける。 ●練習ノートを用いて自分の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを記録し、安定したペースで走ることが重要を理解する。	楽しみながら仲間や協力しあう。 ●ワークシートに書き込むことで技の特性を的確に把握し、技に合った防とを身につける。 ●練習ノートを用いて自分の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを記録し、安定したペースで走ることが重要を理解する。	自分の能力に合った課題を設け、仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に合った課題を設け、仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	陸上競技の特性や学習の進め方を理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
11 ・ 12	6	ダンス	フォークダンス 創作ダンス 現代舞 リズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさを味わう。(楽しいテーマにふさわしいイメージをとらえ、一人や仲間と得意な動きや空間の使い方を工夫したり音楽に合わせてステップや動きと組み合わせたり、簡単な作品にして踊ることに取り組む。)	ダンスの特性に関心をもち、いろいろな国の踊りや踊る楽しさを味わう。踊る楽しさを味わうように進んで取り組もうとする。 ダンスの由来や踊り方や独特の味わいに興味をもち、楽しもうとする。 互いのよさを認め合い、協力して練習しようとする。	自己に合った課題をもち、その課題解決のために、踊るの楽しさを味わうように進んで取り組もうとする。	基本となるステップや動き方を身につけて、リズムののびと踊ることができる。 それぞれのダンスの踊り方や特徴や雰囲気を知ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。 日本や外国のダンスの由来や踊りの特徴、違いなどについて知る。	○資料映像等の視聴を通してダンスの歴史や特性を理解する。 ●グループワークを行い、動きのイメージを言葉にして伝える能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよいように練習、協力しあう。	資料を活用し、各国のダンスの由来や踊り方を身につけて、踊る楽しさを味わう。	選択したダンスの基本となるステップや動きを身につけることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよさを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
	4	(保健) 健康と環境	・飲料水や空気 の衛生管理 ・生活に伴う 廃棄物の衛生 的処理	・健康と飲料水や空気との密接なかわり合いを理解する。 ・健康のための基準に適合した飲料水や空気の管理があることを理解する。 ・生活によって生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性を理解する。	・健康と環境のかかわりについて、資料を見たり、自己の日常生活の様子を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を頼りに課題の解決に取り組む。 ・教科書などの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめる、発表しようとする。	・健康と環境について、自己の経験や資料などをもとに自分で予想したりすることができる。 ・健康と環境について、学習したことを日常生活に当てはめることができる。	・人間の健康は環境と深くかかわって成り立っており、身体は環境に対する適応能力があることを知る。 ・人間の生命維持や健康に密接にかかわりのある空気、飲料水の条件について知る。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康と環境が密接に関係していることを理解する。 ●意見交換を行い、自己の考えを言葉にして伝えるコミュニケーション能力を養う。	・人間を含めた生物と環境とのかわりについて、発表し、学習に取り組もうとしている。 ・進んで調べ、よく発表を聞き、理解したことを今後の生活に生かそうとしている。	・学習資料から、環境に対して、人間の身体は、ある程度適応できることを理解できる。 ・温度や湿度、空気などの至適範囲や許容範囲について、日常における工夫を見つけることができる。 ・調査実習に参加し、意見交換する。学習したことや感想をまとめることができる。 ・しずかや生活排水、ごみの処理などについて理解を深め、環境に配慮した生活行動についても考えることができる。	・身体に環境に対する適応能力とその限界について具体的な例示から知識として身につけている。	行動観察 意見交換 学習ノート 資料の読み取り 学習プリントの 理解 定期考査			
3	1 ・ 2	10	球技	バスケットボール ソフトボール バレーボール サッカー ラグビー ハンドボール 水球 アイスホッケー フットサル 卓球 バドミントン テニス ゴルフ	ソフトボール バスケットボール バレーボール サッカー ラグビー ハンドボール 水球 アイスホッケー フットサル 卓球 バドミントン テニス ゴルフ	球技の特性に関心をもち、楽しみや喜びを味わうように進んで取り組もうとする。 チームにおける自分の役割を自覚し、責任をもち、互いに協力し、練習や試合に取り組む。 相手の試合運びに応じた作戦やそのための技能を用いて、仲間と連携してゲームを行う。	チームの課題や自分の能力に合った課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方、競技の仕方、ルール、競技や審判方法を知っている。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につける。その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術的な練習の仕方、競技の仕方、ルール、競技や審判方法を知っている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を理解し、知識を身につける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につける。それを生かして、ゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方を理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査

3	6	陸上競技	短距離走 リレー	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (中間走へのつなぎを滑らかに高いスピードを維持することに努める。次走者のスピードが十分に高まったところでバトンの受け渡しをすることに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるなど練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に適した課題の選り方、練習や競技の仕方について、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像の視聴を通して、スムーズで合理的な動きを学ぶ。 ●学習ノートを用いて自己のフォーム動作の課題を書き出して捉え、課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技ができる。	自分の能力に合わせた課題と協力して練習や競技ができる。	自分の能力に合わせた課題と協力して練習や競技ができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
	8	(保健) 傷害の防止	・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 ・交通事故などによる傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止	・人的要因や環境要因などのかかりによる傷害の発生を理解する。 ・安全な行動、環境の改善による傷害の防止を理解する。 ・自然災害発生による傷害と二次災害による傷害があることを理解する。 ・自然災害への備えと傷害の防止を理解する。	・健康と環境のかかりについて、資料を見たり、自己の日常生活等を振り返り、問題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を讀んだりして、課題の解決に取り組むようとする。 ・教科書などの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめる。	・健康と環境について、自己の日常生活等を振り返り、問題点を見つけることができる。 ・健康と環境について、自己の経験や資料などをもとに自分で予想したりすることができる。 ・健康と環境について、学習したことと日常生活に当てはめることができる。	・人間の健康は環境と深くかかわって成り立っており、身体には環境に対する適応能力があることを知る。 ・人間の生命維持や健康に密接にかかわりのある空気、飲料水の条件について知る。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康と環境が密接に結びついていることを理解する。 ●意見交換を行い、自己の考えをコミュニケーション能力を養う。	・人間を含めた生物と環境とのかかりについて、発言し、学習に取り組もうとしている。 ・進んで調べ、よく発表を聞き、理解したことを今後の生活に実践しようとしている。	・学習資料から、環境に対しては、人間が身体に与える影響を理解できる。 ・温度や湿度、空気質などの生活環境における工夫を見つけることができる。 ・調査実習に参加し、意見交換することによって、生活排水などの処理方法について理解を深め、環境に配慮した生活行動についても考えることができる。	・身体の状態に對する適応能力とその限界について具体的な例示から知識として身につけている。	行動観察 意見交換 学習ノート 学習プリントの読み取り 資料の読み取り 理解 定期考査		

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価基準(指導目標)				活用するICT等 言語活動	評価基準(目)				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解	
1	4	6	体づくり	体づくりの運動	心と体の気づき、体の調子を整えるための運動。体の柔らかさ、巧みで動き、力強い動きを継続させる能力を高める運動。 (自己の健康や体力・生活に応じバランスよく運動を組み合わせて、計画を立てて自ら取り組む、実生活につなげていく。)	体づくり運動に関心をもち、自分から積極的に運動をしようとする。	自分の体力や生活に合った課題を持って、目的に合った運動を選び構成し、活用する。	体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体づくり、体力を高める運動の意義、行い方、高め方を知る。 運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	○デジタルカメラの動画機能を用いて集団行動を撮影し、動きの改善点を見つける。 ●ワークシートを用いてマイトレーニングプログラムを作成し、体力の現状を把握するとともに、効果的な運動方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組もうとしている。	自分にあった目標を立て、施設、用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。 運動に応じた動きができる。	体づくり、体力を高める運動の意義、行い方、高め方を知る。 運動の構成の仕方や活用の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習ノート 定期考査
	5	7	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝えられている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよさを味わう。 (音楽に合わせてステップや動きと組み合わせたり、簡単な作品にしたり踊ることに取り組む。)	ダンスの特性に関心をもち、いろいろな国の踊り方を踊る楽しさや喜びを味わうよう進んで取り組もうとする。 踊り方や独特の味わいに興味をもち、楽しもうとする。	自己に適した課題をもち、その課題解決を図るために、資料を活用し、踊りの特徴をとらえ、動きに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて、リズムののびのびと踊ることができる。それぞれのダンスの踊り方の特徴や雰囲気大切にしながら踊ることができる。	○資料映像等の視聴を通してダンスの歴史や特性を理解する。 ●グループワークを行い、動きのイメージを言葉に表して伝える能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようと練習、協力しあう。	資料を活用し、各国のダンスのリズムや踊り方を知り、自分たちでうごき工夫して楽しく踊っている。	選択したダンスの基本となるステップを身につけて、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
	6	10	器械運動	マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の工夫を工夫する。 (条件を変えた技や発展技に取り組むとともに、さらに美しい技に高めたり滑らかに安定させることを目指して、個人やグループでそれらを組み合わせ構成する演技や競技をする。)	器械運動の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し、安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題を習得するための練習の工夫を工夫し、練習の場作り、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性や学んだ技能を身につけて、その技能を高めて運動することができる。	○デジタルカメラの動画機能を用いて自己の課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●学習ノートを用いて自己の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを用いて仲間の演技を点検し、動きを楽しく見せるポイントを理解する。	自己に適した技を習得し、楽しさや喜びを味わうことができる。 教えあいや器具の点検など協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定してできる。	練習の仕方や練習計画の立て方など理解することができる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
	7	(保健)	健康な生活と疾病の予防	・健康の成り立ちと疾病の発生要因・生活習慣と健康	・健康の成り立ち、主体と環境の要因のかかりによって起こる疾病を理解する。 ・食事・運動・休養及び睡眠の調和のとれた生活の継続を理解する。 ・生活習慣の乱れと生活習慣などとのつながりを理解する。	・健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、資料を見たり、自己の日常生活を振り返りながら課題を見ようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を読んだりして課題の解決に取り組む。課題について調べようとする。 ・教科書などの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめようとする。	・健康な生活の仕方や疾病の予防について、資料をもとに、予想したり、整理したりすることができよう。 ・健康な生活の仕方や疾病の予防について学習したことを日常生活に当てはめることができる。	・健康は、主体と環境から成り立ち、疾病はそれらの要因のかかり合っていることを知る。 ・健康の保持増進には、生活習慣が深くかかわっていること、おともな原因となつて起こる疾病や予防の仕方について知る。 ・感染症の要因とその予防の方法について知る。 ・個人の健康と集団の健康は密接な関係があること、健康を保持増進するためには、保健、医療機関の有効な利用が必要であることを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について理解する。 ●意見交換を行い、仲間と自分の生活習慣の違いを見つける。 ●学習ノートを用いて自己の現状を把握し、健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防についての改善点を見つける。	・健康の保持増進のために必要な食事、運動、休養のあり方について自己の今の状態を見直すことができる。 ・自分自身の日常生活から日ごろの生活習慣について、科学的に考え、部分的にふさわしい行動を選択することができる。 ・感染症の発生要因についてまとめたり、また、話し合いでは、自己の考えを述べたりすることができる。	・資料を使って、医療機関についてまとめることができる。	・資料の読み取り学習プリントの理解	定期考査		
1	7	12	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ 個人メドレー	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習できるようにするとともに、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習をしようとする。 自己の能力に適した課題をもって、続けて長く泳げるよう、仲間と協力し、練習方法を工夫しながら技能を向上させる。 事故防止の心得、安全な行動の仕方を知る。 (自己に適した効率の高い泳法を身に付け、伸びのある動作で長く、速く泳ぐことに取り組む。)	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組み、互いに協力して練習できるようにするとともに、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の工夫を工夫している。	水泳の特性に応じた技能を身につけ、技能を高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。	●学習ノートを用いて自己のフォームの課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●泳力別のグループワークを行い、意見交換をする。自己の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。	各泳法の練習を通して、水泳を楽しむながら学習に取り組んでいる。安全のきまりや約束を守り、安全に学習に取り組もうとしている。	自己の能力に応じて泳法を選択している。助言を受けながら、自己の習熟度を知り、適した練習をすることができる。	基礎、基本的な技能を身につけることができる。一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、合理的な練習の仕方を知っている。競技や泳法のルールを理解している。水泳の事故防止の心得を行動に結びつけて理解し、知識を身につけている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	

10	10	球技	ネット型 バスケットボール	バスケットボールソフトボール いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的技術や個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 (相手の作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うことができるように工夫することに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをもとに勝敗に対してと公正な態度をとうろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを立てて工夫して練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、自分の能力に合った課題の選び方や練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するの動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身に付け、それを生かしてゲームが楽しめる。を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
11	10	陸上競技	走 幅 跳 走 高 跳	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (素早く力強く踏み切って反り跳びなどの空間動作からの流れの中で脚を前に投げだす着地動作をとり、より遠くに跳ぶことに取り組む。リズムミカルな動きから踏み切って着地動作で高く跳ぶことに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるなど練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身に付け、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に合った課題の選び方や練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズで合理的な動きのイメージをつかむ。 ○デジタルカメラの動画機能を用いて自己の課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●学習ノートを用いて自己の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力し工夫した能率的な練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントやその技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
11	7	(保健) 健康な生活と疾病の予防	・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康・感染症の予防	・心身への様々な影響、健康を損なう原因、個人の心理状態や人間関係、社会環境などの要因に対する適切な対処方法を理解する。	・健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、資料を見たり、自ら振り返りながら課題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を読んだりして課題の解決に取り組む、課題について調べようとする。 ・教科書などとの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめようとする。	・健康な生活の仕方や疾病の予防について資料をもとに、予想したり、整理したりすることができる。 ・健康な生活の仕方や疾病の予防について学習したことを日常生活に当てはめることができる。		・健康は、主体と環境から成り立ち、疾病はそれらの要因にかかわり合って起こることを知る。 ・健康の保持増進には、生活習慣が深くかかわっていることと資料をもとに、予想して起こる疾病や予防の仕方を知る。 ・感染症の要因とその予防の方法について知る。 ・個人の健康と集団の健康は密接な関係があること、健康を保持増進するためには、保健、医療機関の有効な利用が必要であることを知る。	○資料映像等の視聴を通して健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について理解する。 ●意見交換を行い、仲間と自分の生活習慣の違いを見つける。 ●学習ノートを用いて自己の現状を把握し、健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防についての改善点を見つける。	・健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、課題をもって学習に取り組もうとしている。	・資料から、自己に必要な食事、運動、休養のあり方について自己の今の状態を見直すことができる。 ・自分自身の日常生活から日ごろの生活習慣について、科学的に考え、部分的にふさわしい行動を選択することができる。 ・感染症の発生要因についてまとめたり、また、話し合いでは、自己の考えを述べたりすることができる。		・資料を使って、医療機関についてまとめようとする。	行動観察 発見交換 学習ノート 学習ノート 資料の読み取り 学習プリントの理解 定期考査
12	10	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (力みのないフォームで軽快に一定のリズムやペースから記録や競争といった状況に応じて切り替えて走ることに取り組む。)	体の調子や練習場などの安全を確かめるなど練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	選択した種目の特性に応じた技能を身に付け、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に合った課題の選び方や練習や競技の仕方を理解し、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○資料映像等の視聴を通して、スムーズで合理的な動きのイメージをつかむ。 ●学習ノートを用いて自己の課題を言葉にして捉え、課題に応じた練習方法を考える。 ●ワークシートを用いてラップタイムを記録し、安定したペースで走ることの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力し工夫した能率的な練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身につけて、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査

1	10	球 技	ゴール型	バスケットボール、バレーボール、サッカーなど、チームで協力して戦う競技。個人の技術やチームの連携を高めることが目的。 (相手の作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うことができるように、空間をうまく使うことに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たす。互いに協力して練習やゲームをする。作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うことができるように、空間をうまく使うことに取り組む。	チームの課題や自分の能力に合った課題の解決を目指し、ルールを工夫したりして練習の仕方を変えていく。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習方法、技術的な練習の仕方について理解し、知識を身につける。 ○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身に付け、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
2	10	球 技	ネット型	バレーボール、ソフトボールなど、ネットを越えたり受けて戦う競技。個人の技術やチームの連携を高めることが目的。 (相手の作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うことができるように、空間をうまく使うことに取り組む。)	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。チームにおける自分の役割を自覚し、責任を果たす。互いに協力して練習やゲームをする。作戦や状況に応じて仲間と連携した技能、作戦でゲームを行うことができるように、空間をうまく使うことに取り組む。	チームの課題や自分の能力に合った課題の解決を目指し、ルールを工夫したりして練習の仕方を変えていく。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習方法、技術的な練習の仕方について理解し、知識を身につける。 ○デジタルカメラの動画機能を用いてチームの課題に応じた練習方法を工夫するための動きの改善点を見つける。 ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身に付け、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査	
3	4	(保健)生活と疾病の予防	・保健、医療機関や薬品の有効利用 ・個人を守る社会の取り組み	・健康の保持増進や疾病予防の役割を担っている保健、医療機関とその使用方法を理解する。 ・個人の健康と社会的な取り組みとの関係性を理解する。	・健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、資料を見たり、自分で日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を読み取り、課題の解決に取り組む。課題について調べようとする。 ・教科書などでの資料をもとに、自己の考えや意見をまとめようとする。	・健康な生活の仕方、或る病気の予防について、資料を見たり、自分で日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。 ・健康な生活の仕方、或る病気の予防について、資料を見たり、自分で日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。	・健康は、主体と環境から成り立ち、疾病はそれらの要因が重なって起こることを知る。 ・健康の保持増進には、生活習慣が深く関わっていることとなる。自分自身の生活習慣の悪いところを知り、改善しようとする。 ・感染症の要因とその予防の方法について知る。 ・個人の健康と集団の健康は密接な関係があることを知り、健康を保持増進するためには、保健、医療機関の有効な利用が必要であることを知る。	・資料映像等の視聴を通して健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について理解する。 ●意見交換を行い、仲間と自分の生活を比べてみる。生活習慣の違いを見つける。 ●学習ノートを用いて自己の現状を把握し、健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防についての改善点を見つける。	・健康の保持増進のために必要な食事、運動、休養のあり方について自己の今の状態を見直すことができる。 ・自分自身の日常生活から日ごろの生活習慣について、科学的に考えて、部分的にふさわしい行動を選択することができる。 ・感染症の発生要因についてまとめた後、話し合いでは、自己の考えを述べることができる。	・資料を使って、必要に応じてインターネットなどで調べることが出来る。	・資料から、自己に必要な食事、運動、休養のあり方について自己の今の状態を見直すことができる。 ・自分自身の日常生活から日ごろの生活習慣について、科学的に考えて、部分的にふさわしい行動を選択することができる。 ・感染症の発生要因についてまとめた後、話し合いでは、自己の考えを述べることができる。	・資料を使ったり、インターネットなどで調べることが出来る。	・行動観察 発言 意見交換 学習ノート 学習プリントの読み取り 学習プリントの理解 定期考査	
3	7	陸上競技	短距離走 リレー ハードル	全力を出して記録の向上を目指す。仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 (短距離走では合理的なフォームを身に付けて中間走の高いスピードを維持して速く走ることに取り組む。リレーでは双方の走者のスピードが十分に高まったところで滑らかにバトンの受け渡しの練習を行う。)ハードルではインターバルを3歩のリズムで低く走り越し、スピードを維持しながら走ることに取り組む。	体の調子や練習場などの安全を確認するうえで練習をする。安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題を設定し、その達成を目指して、練習の仕方を変えていく。	選択した種目の特性に応じた技能を身に付け、その技能を高めていく。競走したり記録を高くすることが出来る。	種目特性や学習の進め方、自分の能力に合った課題の選定や練習や競走の仕方について理解し、知識を身につける。ルール、競走や審判方法をj知っている。	○資料映像等の視聴を通して文化としてのスポーツの意義を理解する。 ●グループワークを行い、スポーツに対する多様な考え方があることを理解する。	楽しさを味わいながらも仲間と協力して練習や競走を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して練習や競走を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して練習や競走を行うことができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習ノート 実技テスト 定期考査
4	体育理論	文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツの文化的意義を理解する。 ・国際的なスポーツ大会などがもたらす文化的意義や役割を理解する。 ・人々を結びつけるスポーツの文化的価値を理解する。	仲間の考えや意見を聞いた後、集めた資料を活用したりして、自己の意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	文化としてのスポーツの意義について理解している。	○資料映像等の視聴を通して文化としてのスポーツの意義を理解する。 ●グループワークを行い、スポーツに対する多様な考え方があることを理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等を参考に、学習内容を理解しようとする。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。	文化としてのスポーツの意義や役割を理解している。	定期考査			

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価基準				○使用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
1学期	4	3	情報に関する技術	1 情報とわたしたちの生活 2 コンピュータと情報処理	・情報の技術とその役割 ・コンピュータの構成と機能 ・アナログとデジタル	・情報の技術が社会に果たす役割に興味を持つことができる。	・アナログ式とデジタル式それぞれの特徴を生かした使用場面を考えることができる。 ・情報のデジタル化練習では、速く正確に伝える工夫を考えることができる。	・コンピュータを正しく操作することができる。 ・2進数の0と1を用いてアナログ情報をデジタル化することができる。	・情報の技術が果たす役割を理解している。 ・コンピュータの構成と機能に関する知識を身に付けている。 ・情報と資料の違いを理解している。	OPC ○スカイメニュー ○ビデオ ●身の回りにある製品のうち、コンピュータの動きを不可欠にしているものや小さなコンピュータが組み込まれているものを、具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・情報の技術が社会に果たす役割に関心を示している。	・アナログ式とデジタル式それぞれの特徴を生かした使用場面を考え、まとめることができる。 ・情報のデジタル化練習では、速く正確に伝える工夫を考えることができる。	・コンピュータを操作することができる。 ・2進数の0と1を用いてアナログ情報をデジタル化することができる。	・情報の技術が果たす役割がわかる。 ・コンピュータの構成と機能に関する知識を身に付けている。 ・情報と資料の違いがわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	5	3		3 情報ネットワーク	・情報通信ネットワークの利用	・情報伝達の方法に興味を持つことができる。			・情報通信ネットワークのしくみを理解している。	○ビデオ	・情報伝達の方法に関心を示している。			・情報通信ネットワークのしくみがわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	6	3		4 ネットワークと情報セキュリティ	・ネットワークと情報セキュリティ	・デジタル化の特徴を踏まえた情報モラルを日ごろから意識し、学習内容を生かそうとしている。	・デジタル化社会のよい部分と注意が必要な部分を考え、まとめることができる。			○ビデオ ●情報モラルや情報に関する技術を適切に活用していくことについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・デジタル化の特徴を踏まえた情報モラルを日ごろから意識し、学習内容を生かそうとしている。	・デジタル化社会のよい部分と注意が必要な部分を考え、まとめることができる。			期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	7	3		5 情報モラルと知的財産	・利用するときのモラル ・発信するときのモラル ・人権や個人情報保護 ・知的財産の保護	・情報を扱うときのルールやマナーの必要性に興味を持っている。 ・情報の技術を適正に活用しようとしている。	・情報の扱い方の事例を見て問題点を見つけ、解決方法を考えることができる。 ・知的財産権と著作権の保護については、これまでの学習や生活経験を活用し、違反をしない方法を考えることができる。	・デジタル化された情報の特徴とそれに伴う注意点を理解している。 ・著作権や情報発信に伴って発生する可能性のある問題と発信者としての責任について理解している。 ・情報を安全に利用するための知識を身に付けている。	・デジタル化された情報の特徴とそれに伴う注意点を理解している。 ・著作権や情報発信に伴って発生する可能性のある問題と発信者としての責任がわかる。 ・情報を安全に利用するための知識を身に付けている。	○ビデオ ●情報モラルや情報に関する技術を適切に活用していくことについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・情報を扱うときのルールやマナーなどのモラルの必要性に関心を示している。 ・情報の技術を活用しようとしている。	・情報の扱い方の事例を見て問題点を見つけ、解決方法を考えることができる。 ・知的財産権と著作権の保護については、これまでの学習や生活経験を活用し、違反をしない方法を考え、まとめることができる。	・デジタル化された情報の特徴とそれに伴う注意点がわかる。 ・著作権や情報発信に伴って発生する可能性のある問題と発信者としての責任がわかる。 ・情報を安全に利用するための知識を身に付けている。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察	
	9・10	7		6 デジタル作品の設計と制作	・生活の中のメディア ・デジタル作品の構想 ・情報の収集と加工 ・作品の制作・発表	・生活の中で利用されている情報の表現方法・手段に興味を持っている。 ・テーマに関する情報をすすんで収集している。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。	・デジタル作品のテーマ、目的や条件が明確であり、まとめることができる。 ・メディアの特徴を生かそうと工夫している。 ・効率よく制作するために政策手順を工夫している。	・情報を安全に扱うことができる。 ・コンピュータを正しく操作することができる。 ・制作手順に沿って適切な方法でメディアを加工・複合することができる。	・メディアの特徴、利用方法および複合する方法に関する知識を身に付けている。 ・制作手順を理解している。 ・コンピュータの基本的な操作に関する知識を身に付けている。	OPC ○スカイメニュー	・生活の中で利用されている情報の表現方法・手段に関心を示している。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。	・デジタル作品のテーマ、目的や条件が明確であり、まとめることができる。 ・メディアの特徴を生かそうとしている。 ・効率よく制作するために制作手順を工夫している。	・情報を安全に扱うことができる。 ・コンピュータを操作することができる。 ・制作手順を参考にメディアを加工・複合することができる。	・メディアの特徴、利用方法および複合する方法に関する知識を身に付けている。 ・制作手順がわかる。 ・コンピュータの基本的な操作に関する知識を身に付けている。	作品、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
				生活や社会における	1 技術ってなんだろう 身の回りにある技術 ・日本独自の技術や伝統技術	・身の回りにはさまざまな技術に興味を持つことができる。	・身の回りのものや道具、機械にどんな技術が含まれているか考えることができる。			OPC	・身の回りにはさまざまな技術に関心を示している。	・身の回りのものや道具、機械にどんな技術が含まれているか考え、まとめることができる。			期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察

2 学期	11	3	2 技術とわたしたちの生活	・技術の発展と生活との関わり ・技術の発展と環境に及ぼす影響	・技術の発展と環境の関わりに興味を持つことができる。	・技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割について考えることができる。			●情報通信ネットワークは、固定電話に比べて、大規模な災害が発生したときでも動作し続けることが可能性が大きいことや、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・技術の発展と環境の関わりに興味を示している。	・技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割について考え、まとめることができる。		期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	12	4	材料と加工に関する技術	1 ものづくりの工夫と進め方 2 材料 3 設計	・製品の工夫と技術の進歩 ・ものづくりの進め方 ・いろいろな材料の特徴と利用方法 ・設計の進め方 ・使用目的と製作品の決定 ・機能、構造、材料の検討 ・加工法の検討 ・製図 ・材料見本や工具を丁寧に扱うことができる。 ・学習課題については、今までの学習や生活経験から調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考えることができる。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、使いやすさや丈夫さ・材料を検討しうえて製作品の適切な形状と寸法を決定することができる。	・製作品の構造を等角図、キャビネット図及び第三角法でかき表すことができる。 ・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●身の回りにある製品の材料や特徴などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・材料見本や工具の扱いを気を付けている。 ・学習課題については、調べたり、考えたりすることができ。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考え、まとめることができる。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、製作品の形状と寸法を決定している。 ・製作品の構造を等角図、キャビネット図及び第三角法でかき表すことができる。 ・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	1	1	1 わたしたちの生活と生物育成	・栽培と私たちの生活や自然環境との関わり ・人や環境を大切にしたい栽培とは	・栽培の学習内容に興味を持つことができる。 ・人や環境を大切にしたい栽培に興味を持つことができる。	・人や環境を大切にしたい栽培について考え、これからの実習や生活に生かせるようまとめることができる。		・栽培が生活や自然環境と深くかかわっていることを理解している。	OPC	・栽培の学習内容に興味を示している。 ・人や環境を大切にしたい栽培に関心を示している。	・人や環境を大切にしたい栽培について考え、これからの実習や生活に生かせるようまとめることができる。		学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	2	2	2 作物の栽培 3 実習「向日葵」の栽培	・栽培ごよみを調べよう ・栽培の見直し ・栽培計画の作成 ・作物の生育に必要な環境要因 ・土づくり ・種まき ・鉢替え ・日々の手入れ ・害虫を防ぐ方法	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。 ・栽培計画表を意欲的に作成している。 ・実習に積極的に参加している。 ・日々の手入れを継続的に行っている。 ・観察と栽培記録の作成を継続的に行っている。	・作物にとって良い土とは何か考えることができる。 ・良い苗を育てるためにはどうすべきか考えることができる。 ・作物の生育管理を自分なりに工夫している。 ・栽培記録の作成を工夫している。 ・病害虫の防除法を考えることができる。	・栽培の目的や環境条件に適した作物の選択ができる。 ・栽培する作物の栽培計画を作成することができる。 ・土づくり、種まき、育苗、鉢替えなどが正しくできる。 ・栽培管理によって安全に病害虫から作物を守ることができる。	・土づくり、種まき、育苗、鉢替えなどに関する知識を身に付けている。 ・栽培管理に関する知識を身に付けている。 ・安全に病害虫から作物を守るための知識を身に付けている。	○ビデオ ●栽培の時期や飼育の方法などの生物育成に関する技術を有効に活用していくことについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。 ・栽培計画表を作成している。 ・実習に参加している。 ・日々の手入れを行っている。 ・観察と栽培記録を行っている。	・作物にとって良い土とは何か考えることができる。 ・良い苗を育てるためにはどうすべきか考えることができる。 ・栽培記録の作成を行っている。 ・病害虫の防除法を考えることができる。 ・栽培管理によって安全に病害虫から作物を守ることができる。	・土づくり、種まき、育苗、鉢替えなどに関する知識を身に付けている。 ・栽培管理に関する知識を身に付けている。 ・安全に病害虫から作物を守るための知識を身に付けている。	学年末考査、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
3 学期	2	2	4 生物育成に関する技術とわたしたち	・栽培記録の整理 ・栽培計画と生育の実際との違い ・生物育成の大切さ	・学習を振り返り、よりよい生物育成について興味を持っている。 ・これまでの学習内容を生活に生かそうとしている。	・よりよい生物育成とは何か、自分なりに考え、まとめることができる。	・生物育に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・生物育に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	OPC ●身の回りの食糧が、どのような材料からつくり出されているかに注目しながら、食糧がわたしたちの手に届くまでに、どのような人びとの仕事関わっているかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・学習を振り返り、よりよい生物育成について関心を示している。 ・これまでの学習内容を生活に生かそうとしている。	・よりよい生物育成とは何か、自分なりに考え、まとめることができる。	・生物育に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響がわかる。	作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価基準(A)				●使用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
1学期	4	3	材料と加工に関する技術	1 ものづくりの工夫と進め方 2 材料	・製品の工夫と技術の進歩 ・ものづくりの進め方 ・いろいろな材料の特徴と利用方法	・材料見本や工具を丁寧に扱うことができる。 ・学習課題については、今までの学習や生活経験から調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考えることができる。		・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●身の回りにある製品の材料や特徴などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・材料見本や工具の扱いを気を付けている。 ・学習課題については、調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考えることができる。		・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	作品、確認テスト、学習プリント、活動状況の観察
	5	4		3 設計	・設計の進め方 ・使用目的と製作品の決定 ・機能、構造、材料の検討 ・加工法の検討 ・製図	・設計においては、生活をよりよくするために新しい発想を生み出そうとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、使いやすさや丈夫さ・材料を検討したうえで製作品の適切な形状と寸法を決定することができる。	・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法で表すことができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ	・設計においては、新しい発想を生み出そうとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、製作品の形状と寸法を決定している。	・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法で表すことができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	6	3													
	7	4	材料と加工に関する技術	4 製作	・製作の進め方 ・部品表と工程表 ・けがき ・材料取り、切断、切削、穴あけ ・組立て ・表面、角の仕上げ	・工具や材料を丁寧に扱うことができる。 ・技術の授業における約束を守り、製作に集中して取り組んでいる。 ・製作終了後は発展課題に取り組んでいる。	・安全な実習を心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を的確に進め、仕上がりやすい。 ・工具や工作機械を正しく操作することができる。 ・作業の進度にあわせて自分で判断し、作業を進めることができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのようにかえていくかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・工具や材料の扱いが丁寧である。 ・技術の授業における約束を守り、製作に取り組んでいる。	・自分がけがきをしない・他の人にけがきをさせないように心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を参考に進めることができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	9	4		5 材料と加工に関する技術とわたしたち	・社会・環境との関わり ・材料と加工に関する技術と私たちの未来	・材料と加工に関する技術の課題をすすんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を考えようとしている。	・材料と加工に関する技術の課題をすすんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を見いだしている。		・材料と加工に関する技術が環境に果たしている役割と影響について理解している。	○実物投影機 ○ビデオカメラ	・材料と加工に関する技術の課題をすすんで見つけ、解決策を考えようとしている。	・材料と加工に関する技術の課題をすすんで見つけ、解決策を見いだしている。		・材料と加工に関する技術が環境に果たしている役割と影響がわかる。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
10		3		1 わたしたちの生活とエネルギー変換	・エネルギーとエネルギー変換 ・エネルギー変換の種類 ・エネルギー変換と効率	・エネルギーやエネルギー変換に興味を持っている。 ・水力、風力、太陽光、波力、バイオマスなど、さまざまな発電方法に興味を持っている。	・エネルギー変換効率を高めるためにはどうしたらよいかわかることができる。 ・身の回りにあるエネルギー変換の利用例を考えることができる。		・エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響について理解している。 ・社会で利用されているエネルギー変換についての知識を身に付けている。	○電気機器の長所や短所、保守点検の方法や短絡や発火等の事故が起こりそうな場面について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・エネルギーやエネルギー変換に関する知識を示している。 ・水力、風力、太陽光、波力、バイオマスなど、さまざまな発電方法に関心を示している。	・エネルギー変換効率を高めるためにはどうしたらよいかわかることができる。 ・身の回りにあるエネルギー変換の利用例を挙げるることができる。	・エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響がわかる。 ・社会で利用されているエネルギー変換についての知識を身に付けている。	期末考査、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察	

3 学期	11 ・ 12		2 エネルギー変換と利用	・電気エネルギー ・電気機器への利用	・電気エネルギーのしくみや利用方法に興味を持っている。 ・学習課題については、今までの学習内容や生活経験から調べたり、考えたりすることができる。	・電気エネルギーの変換のしくみや利用方法の具体例を考察することができる。	・電気の種類と特徴、エネルギーの変換方法や制御、利用及び機器の構造に関する知識を身に付けている。	●エネルギー変換の技術の役割と影響などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・電気エネルギーのしくみや利用方法に関心を示している。 ・学習課題については、調べたり、考えたりすることができる。	・電気エネルギーの変換のしくみや利用方法の具体例を挙げることができる。	・電気の種類と特徴、エネルギーの変換方法や制御、利用及び機器の構造に関する知識を身に付けている。	作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	1	3	4 エネルギー変換を利用したものづくり「はんだごて」の製作	・構想と設計 ・工程表 ・電子基盤の製作 ・プラグの制作 ・ヒーター部分の製作	・工具や材料及び機械を丁寧に扱うことができる。 ・技術の授業における約束を守り、製作に集中して取り組んでいる。 ・製作終了後は発展課題に取り組んでいる。	・安全な実習を心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、使いやすさや丈夫さ・図のデザインを検討したうえで製作品の適切な形状や寸法及びデザインを決定することができる。	・電子回路図を基にして、電子回路を組み立てることができる。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・工具や工作機械を正しく操作することができる。 ・作業工程を的確に進め、仕上がりがよい。	○実物投影機 ○ビデオカメラ	・工具や材料及び機械の扱いが丁寧である。 ・技術の授業における約束を守り、製作に取り組んでいる。	・自分がけがをしないうちに他の人にけがをさせないように心がけている。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、適切な形状や寸法及びデザインを決定することができる。	・電子回路図を参考に、電子回路を組み立てることができる。 ・製作図を参考に、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	2	3	5 エネルギー変換に関する技術とわたしたち	・社会・環境との関わり ・エネルギー変換に関する技術と私たちの未来	・エネルギーに関する技術の課題をすすんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を考えようとしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題をすすんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を見いだしている。	・エネルギー変換に関する技術が環境に果たしている役割と影響について理解している。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ○PC ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのように変えていくかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・エネルギー変換に関する技術の課題をすすんで見つけ、解決策を考えようとしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題をすすんで見つけ、解決策を見いだしている。	・エネルギー変換に関する技術が環境に果たしている役割と影響がわかる。	作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				○使用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
1・2学期	4・5・6・7	3	エネルギー変換に関する技術	1 機器の安全な利用と保守点検	・電気機器の構造 ・電気機器の安全な利用	・身の回りの電気機器を安全な利用法について興味を持っている。 ・学習したことを生活に生かそうとしている。	・電気機器の構造や電子回路を図と言葉で自分なりにまとめることができる。 ・電気機器のさまざまな表示や、安全な利用法をまとめることができる。	・延長コードや洗濯機などの使用場面を想像し、事故が起きないように注意すべきいくつかの点を守ることができる。	・電気機器の構造や電子回路図などに関する知識を身に付けている。 ・定格表示、安全に利用するための表示及び機器の保守点検を理解している。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ○PC ●電気機器の長所や短所、保守点検の方法や短絡や発火等の事故が起こりそうな場面について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。 ●エネルギー変換の技術の役割と影響などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・身の回りの電気機器を安全な利用法について関心を示している。 ・学習したことを生活に生かそうとしている。	・電気機器の構造や電子回路を図と言葉でまとめることができる。 ・電気機器のさまざまな表示や、安全な利用法をまとめることができる。	・延長コードや洗濯機などの使用場面を想像し、事故が起きないように注意すべき点を守ることができる。	・電気機器の構造や電子回路図などに関する知識を身に付けている。 ・定格表示、安全に利用するための表示及び機器の保守点検がわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察、作品、期末考査
				4 製作	・製作の進め方 ・部品表と工程表 ・けがき ・材料取り、切断、切削、穴あけ ・組立て ・表面、角の仕上げ	・工具や材料を丁寧に扱うことができる。 ・技術の授業における約束を守り、製作に集中して取り組んでいる。 ・製作終了後は発展課題に取り組んでいる。	・安全な実習を心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を的確に進め、仕上がりがよい。 ・工具や工作機械を正しく操作することができる。 ・作業の進度にあわせて自分で判断し、作業を進めることができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ○PC ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのように変えていくについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・工具や材料の扱いが丁寧である。 ・技術の授業における約束を守り、製作に取り組んでいる。	・自分がけがをしないうちに、他の人にけがをさせないように心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を参考に進めることができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
2・3学期	12	2	情報に関する技術	7 プログラムによる計測・制御	・生活の中にある計測・制御 ・ソフトウェアを使ってみよう(表計算、プレゼンテーション) ・計測・制御システム ・処理手順とプログラム	・あらゆるものはコンピュータが制御していることを知り、制御に興味を持つことができる。 ・表計算やプレゼンテーションなどのソフトウェアをすすんで利用しようとしている。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。 ・プログラム作成に集中して取り組んでいる。	・課題にあった適切な情報処理の手順(プログラム)を考えられる。 ・テーマに合った情報を収集し、だれも見やすくわかりやすいレイアウトでまとめることができる。 ・計測・制御システムの便利点や注意が必要な点を考えることができる。	・目的に応じてソフトウェアを使い分け、安全に使用することができる。 ・簡単なプログラムのフローチャートを作成することができる。	・計測・制御システムに関する知識を身に付けている。 ・インターフェースの役割や情報処理する手順を理解している。	○PC ○スカイメニュー ●目的にあったプレゼンテーションをするために必要なことを、具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・あらゆるものはコンピュータが制御していることを知り、制御に関心を示している。 ・表計算やプレゼンテーションなどのソフトウェアを利用しようとしている。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。	・課題にあった適切な情報処理の手順(プログラム)を考えられる。 ・テーマに合った情報を収集し、自分なりにまとめることができる。 ・計測・制御システムの便利点や注意が必要な点を考えることができる。	・目的に応じてソフトウェアを使い分け、安全に使用することができる。 ・簡単なプログラムのフローチャートを作成することができる。	・計測・制御システムに関する知識を身に付けている。 ・インターフェースの役割や情報処理する手順がわかる。	期末考査、作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	1	2													
	2	1													
	3	1		8 情報に関する技術とわたしたち	・社会・環境とのかわり ・情報社会を生きるためには	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおりにあわせて情報を上手に安全に使うようとしている。 ・学習内容をこれからの生活に生かそうとしている。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおりにあわせて情報の活用方法を考えることができる。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解している。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解している。	○PC ●情報に関する技術が、高齢者や障害者の生活を豊かなものになっている場面を具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおりにあわせて情報を上手に安全に使うようとしている。 ・学習内容をこれからの生活に生かそうとしている。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスがわかる。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスがわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察	

平成25年度 技術・家庭(家庭分野) 第1学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解	
1	4	1	ガイダンス	家庭分野の学習について	家庭分野の学習目的を知り内容を確認する。	学習目的を理解し学習内容を確認してまとめる。					学習目的を理解し学習内容をまとめることができた。				ノート点検
	5	10	衣生活と自立	着る目的	衣服のはたらきや分類を知る。 目的に応じた衣服の着方や個性を生かした着方を考える。 洋服と和服の構成を知り和服文化への理解を深める。	自分の衣生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。 和服文化への興味関心をもつ。	自分の衣生活をよりよくしよう工夫する。 洋服と和服の構成の違いを理解し組み立てる。	目的に応じた着方を考える。 洋服と和服の構成の違いを理解し和服文化への理解を深める。	衣服のはたらきや分類を理解する。 ○デジタル教科書 ○実物投影機 ●色からイメージする物・言葉。 ●衣服の購入で、なにを基準に選ぶか。	自分の衣生活に関心を持ち、意欲的に取り組むことができた。 和服文化へ意欲的に興味関心をもつことができた。	自分の衣生活をよりよくしよう工夫し着方を考えられた。 和服文化の伝承について考えることができた。	目的に応じた着方を考えまとめることができた。 洋服と和服の構成の違いを理解し組み立てられた。	衣服の社会生活のはたらきを理解し分類できた。 洋服と和服の構成の違いを理解し和服文化への理解を深めまとめられた。	ノート点検 期末考査 授業観察	
	6			衣服の計画的な活用方法	衣服計画を立て衣服の活用方法を考える。 既製服を選ぶポイントを知る。表示を理解し適切な手入れ方法や補修方法を知る。	衣服計画をたて、衣服管理できる。 環境に配慮した衣生活の工夫を考える。	衣服計画をたてることができる。 既製服の表示を理解し、手入れ、補修ができる。	着ない衣服の活用方法を考えることができる。 既製服を適切に選択し、既製服の表示を理解し、手入れ方法や補修方法を理解する。	衣服計画をたて、衣服管理できた。 環境に配慮した衣生活の工夫を考えられた。	衣服計画をたてることができる。 既製服の表示を理解し、手入れ、補修できた。	着ない衣服の活用方法を考えることができる。 既製服を適切に選択し、既製服の表示を理解し、手入れ方法や補修方法を理解できた。				
	7			必要な衣服の選択・手入れ 環境への配慮 基礎技能を使った作品製作	基礎技能を使い、エプロン製作する。 (まつり縫い・ボタン付け・ししゅう・アイロン)	意欲的に製作に取り組む。	ししゅうを工夫する。 まつり縫い、ボタン付け、ししゅう、アイロンの技能を習得する。	製作手順、材料、用具を理解する。	意欲的に製作に取り組むことができた。	ししゅうを工夫できた。 まつり縫い、ボタン付け、ししゅう、アイロンの技能を習得できた。	製作手順、材料、用具を理解できた。	作品点検			
2	9	8	食生活と栄養	食事の役割	食事の役割を理解し、健康によい食習慣について考える。	自分の食生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。	自分の食生活の課題をみつけれ解決方法を考える。	自分の食生活の課題をみつけれ解決方法をまとめる。	食事の役割を理解する。 五大栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴を理解する。	○デジタル教科書 ●食生活の問題点を挙げて、改善方法を話し合う。	自分の食生活に関心を持ち、意欲的に取り組んだ。	自分の食生活の課題をみつけれ解決方法を考えた。	自分の食生活の課題をみつけれ解決方法をまとめた。	ノート点検 期末考査 授業観察	
	10			栄養素の種類とはたらき	栄養素の種類とはたらきについて知る。 中学生の栄養の特徴を理解する。							五大栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴を理解できた。 食品を6つの食品群に分類できた。			
	11	8	選択立作りと食品の	食品に含まれる栄養素	食品に含まれる栄養素とはたらきを理解し、6つの食品群に分類する。	身近な食品や食事に興味を持ち、意欲的に取り組む。	栄養バランス、季節感などを工夫して献立を作成する。	1日の献立を作成する。	食品を6つの食品群に分類する。 自分に必要な食事摂取基準と食品群別摂取量のめやすを理解する。 食品の特徴や選択のしかたを理解する。	○デジタル教科書 ●不足している食品群を補うような献立を考え、工夫点を発表する。			食品を6つの食品群に分類できた。	ノート点検 期末考査 授業観察	
	12			食品の選択	生鮮食品・加工食品の特徴や選び方を理解し選択できる。		食品購入時に得た知識を生かす。	よりよい食品の選択ができる。		食品購入時に得た知識を生かした。	よりよい食品の選択ができた。	食品の特徴や選択のしかたを理解できた。			
3	1	8	調理と食文化	日常食の調理	安全と衛生に気をつけて、調理する。 食品の調理上の性質を知り、適切に調理する。	意欲的に実習に取り組む。	班ごとに計画、分担、協力、工夫して実習する。	基礎技能を習得する。 (ガスの扱い、包丁の扱い)	調理器具の名称、扱い方を理解する。 食品の調理上の性質を知り、適切に調理する。	○デジタル教科書 ●環境に配慮した調理について話し合わせる。	意欲的に実習に取り組めた。	班ごとに計画、分担、協力、工夫して実習できた。	基礎技能を習得できた。 (ガスの扱い、包丁の扱い)	調理器具の名称、扱い方を理解できた。 食品の調理上の性質を知り、適切に調理できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	2														
	3														
			35												

平成25年度 技術・家庭(家庭分野) 第2学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				生活や技術への 関心・意欲・ 態度	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への 関心・意欲・ 態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術への 知識・理解		生活や技術への 関心・意欲・ 態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術への 知識・理解	
1	4		住生活と自立	住まいの役割	住まいの役割を考え、理解する。 日本の住まいと住まい方の特徴を理解する。	住生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。			住まいの役割や日本の住まいの特徴を理解する。 必要な住空間を理解する。	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	住生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。			住まいの役割や日本の住まいの特徴を理解できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	5	7		家族と住まいのかかわり	生活行為に必要な住空間を考え理解する。		自分のできる安全対策を考える工夫する。	自分のできる安全対策を考える。	安全な室内環境を理解する。	●和式と洋式の良いところ。 ●災害対策について話し合わせる。		自分のできる安全対策を考える工夫できた。	自分のできる安全対策を考えた。	必要な住空間を理解できた。 安全な室内環境を理解できた。	作品点検
	6			健康で快適な室内空間	快適な室内条件を理解し室内条件を整える方法を考える。 安全快適な住居を想定し、住みたい間取りをデザインする。	学習した事を生かし、住みたい間取りをデザインする。		自分の住みたい住空間を考える。	快適な室内条件を理解する。		学習した事を生かし、住みたい間取りをデザインできた。		自分の住みたい住空間を考えられた。		
7	3		食調理と文化	日常食の調理	調理実習の計画を立て、班で協力して実習する。	実習に意欲的に取り組む。	班ごとに協力、工夫する。	基礎技能を習得向上させる。	調理材料・方法を理解する。	○デジタル教科書 ●実習の分担を決める。	実習に意欲的に取り組む。	班ごとに協力、工夫できた。	基礎技能を習得向上できた。	調理材料・方法を理解できた。	授業観察
2	9	3	家族関係と係	家庭や家族の機能や地域とのかかわり・家族関係	家庭や家族の基本的な機能を知り、その大切さを考える。家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。	家庭と家族について関心を持って取り組む。	家族と家族の課題に気づき、解決を目指して工夫しようとする。	互いの立場や役割を理解し家族に協力する。	家庭や家族の基本的な機能、地域とのかかわりについて理解する。	●家族の気持ちを考える。ロールプレイング。	家庭と家族について関心をもって取り組む。	家族と家族の課題に気づき、解決を目指して工夫できた。	互いの立場や役割を理解し家族に協力できた。	家庭や家族の基本的な機能、地域とのかかわりについて理解できた。	ノート点検 期末考査 実践表 授業観察
	10		幼児の生活と家族	自分の成長	自分の幼児期振り返り幼児に関心を持つ。	自分の幼いころを思い出し、幼児に関心をもつ。			幼児の心身の発達と生活の特徴について理解する。	○デジタル教科書 ○DVD(幼児の生活) ●幼児の生活習慣の習得を助ける工夫や言葉の掛け方。	自分の幼いころを思い出し、幼児に関心をもつ。	幼児の心身の発達と生活の特徴について意欲的に取り組む。		幼児の心身の発達と生活の特徴について理解できた。	作品点検
	11	12		幼児の心身の発達と生活	幼児の心身の発達の特徴と生活の特徴について意欲的に取り組む。	意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作する。	立体的に縫うことを理解し製作する。	幼児の心身の発達と生活の特徴について理解する。 遊びが幼児に与える影響を理解する。		意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作できた。	立体的に縫うことを理解し製作できた。	遊びが幼児に与える影響を理解できた。	
	12			幼児の生活と遊び	幼児の遊びの意義を理解する。	意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作する。	立体的に縫うことを理解し製作する。	幼児に与える家族の影響を理解する。		意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作できた。	立体的に縫うことを理解し製作できた。	幼児に与える家族の影響を理解できた。	
	12			子どもにとっての家族	子どもを育てる環境としての家族の役割を理解する。	意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作する。	立体的に縫うことを理解し製作する。	幼児に与える家族の影響を理解する。		意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作できた。	立体的に縫うことを理解し製作できた。	幼児に与える家族の影響を理解できた。	
3	1		消費生活と環境	消費者としての自覚	消費者生活を振り返る。契約について理解する。	家庭生活と消費について関心を持ち意欲的に取り組む。	消費生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫する。	消費者として情報収集、整理して活用する。	契約について理解する。 販売方法や支払い方法の特徴を理解する。	○デジタル教科書 ○DVD(消費者トラブル) ●自分の消費生活の課題を話し合わせる。 ●商品を購入する際のポイントを話し合わせる。	消費者生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者として情報収集、整理して活用できた。	契約について理解できた。 販売方法や支払い方法の特徴を理解できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	2	10		消費者の権利と責任	商品を選択し購入する。	商品を選択し購入する。	消費者としての自覚を高め自分の消費生活を創意工夫する。	消費者としての自覚を高め考える。	消費者の権利、責任、消費者基本法を理解する。		消費者生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者として情報収集、整理して活用できた。	消費者の権利、責任、消費者基本法を理解できた。	
	3			消費者トラブルと解決方法	消費者トラブルの事例と解決方法を理解する。	消費者としての自覚を高め自分の消費生活を創意工夫する。	消費者としての自覚を高め考える。	消費者としての自覚を高め考える。	消費者トラブルの事例と解決方法を理解する。		消費者生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者として情報収集、整理して活用できた。	消費者の権利、責任、消費者基本法を理解できた。	
	35			よりよい消費生活と環境のかかわり	消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。		消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。	消費行動が環境に与える影響について考える。	

平成25年度 技術・家庭(家庭分野) 第3学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				生活や技術への関心・意欲・態度	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解	
1	4	10.5	生活を豊かにするために	生活を豊かにするための工夫 Tシャツの製作	Tシャツの製作の構成を理解する。	衣服の構成に関心をもち、意欲的に製作に取り組む。	構成を自分で工夫し考えながら手順を考える。	構成を考えながら手順を考える。	Tシャツの構成を理解する。	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動 ○実物投影機 ●完成した作品を発表し、作品のよさについて話し合う。	衣服の構成に関心をもち、意欲的に製作に取り組むことができた。	構成を自分で工夫し考えながら手順を考えることができた。	構成を考えながら手順を考えることができた。	Tシャツの構成を理解できた。	デザインプリント 点検 期末考査 授業観察 作品点検
	5				Tシャツの製作手順を理解する。				Tシャツの製作手順を理解する。					Tシャツの製作手順を理解できた。	
	6				Tシャツ製作に必要な用具・道具の使い方・名称を理解する。				必要な用具・道具の使い方・名称を理解する。					必要な用具・道具の使い方・名称を理解できた。	
	7				製作に必要な基礎技能を習得してTシャツを製作する。		ししゅうや色、装飾などデザインを工夫して製作する。	ミシン縫い、なみ縫い、本返し縫いの基礎技能を使って、Tシャツを製作する。				ししゅうや色、装飾などデザインを工夫して製作することができた。	ミシン縫い、なみ縫い、まつり縫いの基礎技能を使って、Tシャツを製作することができた。		
	9														
	10														
	11														
	12														
	1														
	2														
	2				12	7	調理と食文化	地域の食文化	地域の食文化について理解する。		郷土料理や行事食に関心をもち、	郷土料理、行事食の意義特徴を理解する。	調理材料方法を理解する。	○デジタル教科書 ●地域の食材のよさについて、話し合う。 ●実習の分担を決める。	
1		郷土料理、行事食を調理実習する。	実習に意欲的に取り組む。	班ごとに協力工夫する。	基礎技能を習得向上させる。				実習に意欲的に取り組めた。	班ごとに協力工夫できた。	基礎技能を習得向上させた。		調理材料方法を理解できた。		
2		よりよい食生活をめざして	食生活を取り巻く問題について考える。(安全性・食料資源・自給率)	食生活を取り巻く問題について興味関心をもつ。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を自分で工夫しようとする。			食生活を取り巻く問題について理解する。	食生活を取り巻く問題について理解する。	食生活を取り巻く問題について興味関心をもつことができた。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を自分で工夫しようとした。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を考えられた。	食生活を取り巻く問題について理解できた。		
3															
17.5															

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				評価基準(B)				評価方法	
						コミュニケーション への関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解	○活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	コミュニケーション への関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力		言語や文化について の知識・理解
1	3	3	Let's start	・あいさつ、自己紹介、英単語、音の学習	①Hello, everyone. How are you? ②My name is ~. Nice to meet you. ③bad dog, table, cat, bag, ball, etc. I like ~. I can ~ ④weak, run, stop	積極的に自己紹介をする	正しく発音できる	身の周りのものを聞いて何を表すかがわかる		○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●英語での自己紹介をする	自己紹介をしようとする	正しく発音する	指示に従える	26文字を書いて、音読みできる	授業観察・小テスト・名前読み、音読みテスト
	4	14	アルファベット	アルファベット、数番で使う英語、辞書	①文字と小文字②アルファベットの文字と数番の関係、7ふたの基本③大文字/小文字	音声を耳に出して練習しようとしている	積極的に話したり、音読したりしようとしている。	内容を正しく理解して、適切に回答する	be動詞や数について正確な知識を身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●be動詞を用いて自分のことを話す	音読練習や暗唱練習を行う	適切な読み方や発音をすることができる	たずねられたことに応答する	be動詞や数についての知識を身につけている	授業観察・小テスト
	5	9	be動詞	・Program2 ・W1単語・文の書き方	・be動詞(肯定・疑問・否定) ・単語・文の書き方	音読練習や暗唱練習を積極的に参加しようとしている。	積極的に話したり、音読したりしようとしている。	内容を正しく理解して、適切に回答する	be動詞や数について正確な知識を身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●be動詞を用いて自分のことを話す	音読練習や暗唱練習を行う	適切な読み方や発音をすることができる	たずねられたことに応答する	be動詞や数についての知識を身につけている	授業観察・小テスト
	10	10	一般動詞	・Program3 ・曜日の言い方・L1	・一般動詞(肯定・疑問・否定) ・曜日、天気	間違いをおそれず積極的に話そうとする	用法を正しく身につけて、表現できる	用法を正しく身につけて、適切に回答できる	一般動詞についての用法を正しく理解し、書くことができる	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●一般動詞を用いて友達と会話をする	自分のことを話そうとする	音読してたずねられたことに応答できる	たずねられたことを理解し応答する	一般動詞の用法を理解し書くことができる	授業観察・小テスト・記述課題
	6	13	What/How manyの疑問文、単数、複数形	・Program4 MP1/R1	・What, How manyの疑問文、単数、複数形/自己紹介	会話練習における積極的な参加	自己紹介の表現を正しく、まとまりのある英語で表現する	内容を正しく理解している	複数形等についての正確な知識を身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●既習の文型を使って会話をする	既習の文型を使って、全篇練習を行う	文型を理解し、まとまりのある文を表現している	内容を読んで理解できる	複数形等についての知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・自己紹介
	7	10	this/that/where	・Program5 ・S1時刻 ・英語のしくみ1	・this, that /Whereの疑問文	会話練習における積極的な参加や場面や状況に応じた表現をしようとしている	状況に応じた会話ができて、感情をこめた言談ができる。字んた表現を用いて文を書ける	内容について正しく聞き取り、読みとることができる	be動詞、場所を聞く表現を正しく理解し、活用できる	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●場所をたずねる会話をします	相手の言うことを理解しようとし、適切に伝えようとする	気持ちが伝わるように話したり、音読することができる	内容を聞き取ることができる	be動詞や場所を聞く表現の知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・音読テスト
2	9	10	3単現の-(e)s(肯定・疑問・否定)	・Program6 ・季節・月の名前、序数	・3単現の-(e)s(肯定・疑問・否定) ・季節・月の名前、序数(日付)	会話練習における積極的な参加	既習事項を使って正しく表現できる	内容について正しく聞き取り、読みとることができる	3単現の-(e)sについての正確な知識を身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●友達のことを紹介する	相手の言うことを理解しようとし、適切に伝えようとする	気持ちが伝わるように話したり、音読することができる	内容を聞き取ることができる	3単現の-(e)sについての知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表
	10	13	Who, Whenの疑問文・代名詞	・Program7 ・S2 which/whose ・L2	・Which, Whoseの疑問文 語と語の連結による音変化 代名詞/3人称・単数・現在	会話練習における積極的な参加	既習事項を使って正しく表現できる	内容について正しく聞き取り、読みとることができる	Who, Whenの疑問文についての正確な知識を身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●日時や持ち物をたずねる会話をします	相手の言うことを理解しようとし、適切に伝えようとする	気持ちが伝わるように話したり、音読することができる	内容を聞き取ることができる	Who, Whenの疑問文についての知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表
	11	17	can(肯定・疑問・否定)/Howの疑問文	・Program8 ・S3 依頼・許可 ・MP2	・can(肯定・疑問・否定)/Howの疑問文 ・人を紹介しよう	・会話練習における積極的な参加 ・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	canを用いて自分のことを伝えたり、Q&Aができる	canを用いた文を正しく聞き取り、読みとることができる	助動詞の用法を正しく理解し、活用する	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●身近な人を紹介する	canを用いて自分のことを伝えたり、書いたりしようとする	canを用いて自分のことを伝えたり音読、ロールプレイができる	canを用いた文を聞き取り、読みとることができる	助動詞の用法を理解し、活用する	授業観察・小テスト・記述課題・スピーチ発表
	12	10	現在進行形	・Program9 ・R2 ・英語のしくみ3	・助動詞can/現在進行形/whatなどで始まる文	・会話練習における積極的な参加 ・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	現在進行形の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたり音読ができる	現在進行形の文を正しく聞き取り、読みとることができる	現在進行形の文構造を正しく理解し活用する	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●今していることを相手に伝える	現在進行形の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたりしようとする	現在進行形の文を用いて自分のことを伝えたり音読、ロールプレイができる	現在進行形の文を聞き取り、読みとることができる	現在進行形の文構造を理解し活用する	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表
3	1	12	一般動詞の過去形	・Program10 ・S4 買い物 ・L3 クイズ ・MP3質問しよう	・一般動詞過去(規則X肯定・疑問)/Whyの疑問文	・過去形の文を用いての会話練習における積極的な参加 ・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	一般動詞過去の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたり音読ができる	一般動詞過去の文を正しく聞き取り、読みとることができる	一般動詞過去の文構造を正しく理解し活用する	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●過去形の文を用いたクイズを行う	一般動詞過去の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたりしようとする	一般動詞過去の文を用いて自分のことを伝えたり音読、暗唱、ロールプレイができる	一般動詞過去の文を聞き取り、読みとることができる	一般動詞過去の文構造を正しく理解し活用する	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表・インタビューテスト
	2	12	一般動詞の過去形(不規則)	・Program11 ・W2 日記 ・英語のしくみ4	・一般動詞過去(不規則X肯定・疑問)	・過去形の文を用いての会話練習における積極的な参加 ・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	一般動詞過去の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたり音読ができる	一般動詞過去の文を正しく聞き取り、読みとることができる	不規則動詞の過去時刻の表現を正しく理解し活用する	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○実物投影機 ●過去形を用いて昨日したことなどを話す	一般動詞過去の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたりしようとする	一般動詞過去の文を用いて自分のことを伝えたり音読、暗唱、ロールプレイができる	一般動詞過去の文を聞き取り、読みとることができる	不規則動詞の過去時刻の表現を理解し活用する	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表
	3	7	Review Reading 筆記体	Review Reading/Extensive Reading	・語、運語、慣用表現・筆記体	読んだことについて積極的に回答を続けようとしている	読んだことと主文、主人公の心情等を適切に表現して書く	物語のあらすじを正確に読み取る	英語の正確な知識を身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ●音読を行う	読んだことについて回答を続けようとしている	内容や状況に応じて音読する	書かれている内容について理解している	慣用表現を理解できる	授業観察・小テスト

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						コミュニケーションへの関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		コミュニケーションへの関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
1	4	10	過去形	Classroom English 辞書をよんでみよう ・Program1 ・w1 日記② ・英語のしくみ	過去形(一般動詞、be動詞)、過去進行形、 イントネーション・音変化・区切り	過去の体験を積極的に話そうとする。	時刻に注意して英文を正しく書くことができる。	日記の内容を正確に読み取ることができる。	過去の時刻について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話 ●英作文 ●文章読解	過去の体験を話そうとする。	時刻に注意して英文を書くことができる。	日記の内容を読み取ることができる。	過去の時刻について知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
	5	11	未来形	・Program2 ・L1天気予報 ・S1電話①	未来形 天気を表す語句 買い物に誘う表現	予定を伝えたり、電話の場面で積極的に対話を続けようとしている。	質問や依頼に対して適切に応じることができる。未来の予定が伝わるように話したり正しく書くことができる。	天気予報を正しく聞き取ることができる。	未来の時刻や天気を表す表現について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、英作文 ●SHOW & TELL ●聞き取り、暗唱	予定を伝えたり、電話の場面で対話を続けようとしている。	質問や依頼に対して適切に応じることができる。未来の予定を正しく話したり書いたりできる。	天気予報を聞き取ることができる。	未来の時刻や天気を表す表現についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
	6	17	助動詞 接続詞	・Program3 ・S2誘う・依頼する・約束する ・My project4 ・英語のしくみ2	助動詞、接続詞 電話で用いる定型表現 積極的に対話をつなげる言い方	積極的に説明したり、話を続けようとしている。	義務や禁止する事を正しく伝えることができる。自分の考えを正しく伝えることができる。	話者の意図を正確に読み取ることができる。	助動詞や接続詞について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、インタビュー	説明したり、話を続けようとしている。	義務や禁止すること、自分の考えを伝えることができる。	話者の意図を読み取ることができる。	助動詞や接続詞についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
	7	5	長文読解	・Program4	まとまりのある文章を読む。連語、慣用表現(look like ~ / All right / some time later など)		書かれた内容が表現されるように音読することができる。読んだ内容をふまえて感想を書くことができる。	物語のあらすじを正確に読み取ることができる。	英単語の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●読解 ●英語劇、朗読文典		書かれた内容を音読することができる。読んだ内容について感想を書くことができる。	物語のあらすじを読み取ることができる。	英単語の知識を身につけている。	授業観察・小テスト
	9	9	接続詞 ～がある	・Program5 ・S3買い物②	There is / are ~、接続詞when, if	自分の考えや事実を積極的に伝えようとしている。	自分の考えや事実を正確に伝えることができる。	相手の伝えようとしていることを正確に理解することができる。	There is 構文や接続詞について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●音読、ロールプレイ	自分の考えや事実を伝えようとしている。	自分の考えや事実を伝えることができる。	相手の伝えようとしていることを理解することができる。	There is 構文や接続詞についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
2	9	13	不定詞	・Program6 ・L2ALTへのインタビュー ・W2スティーブへのメール	不定詞(名詞の用法・形容詞の用法・副詞の用法) 対話の内容から大切な情報を聞き取る。まとまった内容の文章を書く。	身の回りのものを積極的に説明しようとしている。	自分の考えが伝わるように正しく書くことができる。自分の考えを話したり正しく伝えることができる。	相手の発言のポイントを聞いて、適切に応じることができる。	不定詞について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、インタビュー ●聞き取り ●読解、英作文	身の回りのものを説明しようとしている。	自分の考えが伝わるように話したり書くことができる。	相手の発言のポイントを聞いて、応じることができる。	不定詞についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
	10	16	動名詞 SV00	・Program7 ・S4道案内① ・英語で理科 ・My project 5	動名詞、SVC・SV00 道案内で用いる定型表現 まとまった文章を読解する 既習事項を用いて自分の夢をスピーチで表現する	自分の気持ちを積極的に伝えようとしている。	自分の考えを正しく伝えることができる。	物語のあらすじを正確に読み取ることができる。	動名詞やSVCやSV00の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、読解、作文 ●音読、スケッチ ●英作文、スピーチ	自分の気持ちを伝えようとしている。	自分の考えを伝えることができる。	物語のあらすじを読み取ることができる。	動名詞やSVCやSV00の知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト・記述課題・スピーチ
	11	7	長文読解	・Program8	語、連語、慣用表現(both ~ and / in all / look back at ~ など)		書かれた内容が表現されるように音読することができる。読んだことについて感想を書くことができる。	物語のあらすじを正確に読み取ることができる。	英単語の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●読解、紙芝居 ●英作文		書かれた内容を音読することができる。読んだことについて感想を書くことができる。	物語のあらすじを読み取ることができる。	英単語の知識を身につけている。	授業観察・小テスト
	12	12	比較級 最上級	・Program9 ・英語で数字 ・S5買い物③	形容詞の比較表現 副詞の比較表現 買い物で用いる定型表現 [数を含んだ比較表現] [the + (比較級), the + (比較級) ~]	比較表現を用いた情報を積極的に伝えようとしている。	自分の気持ちが正しく伝わるように適切に音声を話したり書くことができる。	自分の気持ちが正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。	比較級、最上級の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、作文 ●読解 ●音読、暗唱	比較表現を用いた情報を伝えようとしている。	自分の気持ちが正しく伝わるように音読したり、書くことができる。	自分の気持ちが正しく伝わるように文章を書くことができる。	比較級、最上級の正確な知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
	1	9	比較級 最上級	・Program10 ・W3自分の考えをまとめる	形容詞・副詞の比較表現(more, most, better, best) 自分の考えをまとまりのある英語で表現する	相手の意見を聞いて、積極的に応じようとしている。	自分の考えを正しく伝えるように書くことができる。	まとまりのある英語を聞いて、要旨や要点を適切に聞き取ることができる。	比較級、最上級の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、インタビュー ●討論会	相手の意見を聞いて応じようとしている。	自分の考えを伝えるように書くことができる。	まとまりのある英語を聞いて、要旨や要点を聞き取ることができる。	比較級、最上級の知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
3	2	14	受け身	・Program11 ・L3旅行ガイドの説明 ・My Project6 ・英語のしくみ4	受身形(受け身の構造、動作主のある受け身) まとまりのある英語を聞いて読んだりして、概要を理解する。 I agree ~ / I disagree ~.	事実を相手に積極的に伝えようとしている。	自分の考えが相手に正しく伝わるように書くことができる。考えられたテーマについて意見を言うことができる。	説明文の大切な部分を正確に読み取ることができる。	受身形の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、作文 ●聞き取り、読解	事実を相手に伝えようとしている。	自分の考えが相手に伝わるように書くことができる。自分の意見を言うことができる。	説明文の大切な部分を正確に読み取ることができる。	受身形の知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
	3	12	長文読解	・Program12 ・Review Reading	まとまりのある文章を読んで内容を理解する。語、連語、慣用表現(come true / Would you ~ ? など)	読んだことについて積極的に情報を続けようとしている。	読んだことをもとに、主人公の心情を適切に表現して書くことができる。	物語のあらすじを正確に読み取る。	英単語の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●読解 ●作文	読んだことについて読解を続けようとしている。	読んだことをもとに、主人公の心情を表現して書く。	物語のあらすじを読み取る。	英単語の知識を身につけている。	授業観察・小テスト

平成25年度 英語 第3学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				〇活用するICT等 ●ことばの力を高 める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						コミュニ ケーション への関心 意欲態度	外国語表 現の能力	外国語理 解の能力	言語や文 化につい ての知識・ 理解		コミュニ ケーション への関心 意欲態度	外国語表 現の能力	外国語理 解の能力	言語や文 化につい ての知識・ 理解	
1	4	15	受け身 現在完了 (完了)	Classroom English 辞書をよんでみよう Program 1 S1 旅行 機内で	受け身(過去)・現在完了(完了/肯定・疑問・否定) ・飛行機内での定型表現	積極的に役割を 演じようとして いる	質問に対して適 切に応答する	現在完了の用法 を正しく理解する ことができる	現在完了につい て正確な知識を 身につけている	〇デジタル教科書 〇プレゼンソフト ●受け身の表現を使用したク イズを出し合う。	役割を演じよう としている	質問に対して応 答する	現在完了の用法 を理解すること ができる	現在完了を使っ て書くことがで きる	授業観察・小テス ト・記述課題
	5	17	現在完了 (継続・ 経験)	Volcanoes in Japan 2 食事(レストランで) 英語のしくみ1	現在完了(継続・経験)(現在完了結果) 料理を注文するときの定型表現	積極的に対話を しようとしている	自分の趣味につ いて続けている 期間を正しく伝え る	物語のあらすじ を正確に読み取 ることができる	現在完了につい て正確な知識を 身につけている	〇デジタル教科書 〇プレゼンソフト ●現在完了の表現を用い、 自分の経験を話す。	趣味について対 話をしようとし ている	自分の趣味につ いて続けている 期間を伝える	物語のあらすじ を読み取ること ができる	現在完了につい て知識を身に付 けている	授業観察・インタ ビューテスト・記述 課題
	6	19	It is ~ (for) to know how to ask to	The 5 Rs to Save the Earth/1 英語で料理 S3 道案内②(電車の 乗りかえ)L1 My project7 家語の1 / フォ	It is ~ (for + a) to ... know how to ask to	自分の気持ちを 積極的に伝えよ うとしている	自分の考えが正 しく相手に伝え ることができる	書かれている内 容について正し く理解している	It is ~ to ... know how to ask toの知識を身に つけている	〇デジタル教科書 ●電車の乗り換えについ ての道案内についてのスキ ットをする。	自分の気持ちを 伝えようとして いる	自分の考えが相 手に伝えること ができる	書かれている内 容について理解 している	It is ~ to ... know how to ask toの知識を身に つけている	授業観察・小テス ト・暗唱テスト・記 述課題
	7	14	文章読解	Faithful Elephants W1 ウェブストアへの メール	語・連語・慣用表現・メールの書き方・住所の書き方	書かれた内容が 表現されるよう に音読することが できる。	物語のあらすじ を正確に 読み取ることが できる。	物語のあらすじ を正確に読み取 ることができる	英単語の正確な 知識を身につけ ている。	〇デジタル教科書 〇プレゼンソフト	書かれた内容が 音読することが できる。	物語のあらすじ を読み取ること ができる。	英単語の知識を 身につけている。	英単語の正確な 知識を身につけ ている。	授業観察・小テス ト・記述課題
2	9	15	SVOC 間接疑問	Sushi-Go-Around in the WorldS4 電話	主語・動詞・目的語・補語 間接疑問文 (感嘆表現)	積極的にたくさん の人に質問しよ うとしている	考えたニックネー ムを正しく相手に 伝える	書かれている内 容について正し く理解している	間接疑問を用い て正しい語順で 質問する文を書 くことができる	〇デジタル教科書 ●間接疑問文を使い、学校 行事について会話を する。	たくさんの人に 質問しようとし ている	たくさんの人に 質問しようとし ている	考えたニックネー ムを相手に伝え る	間接疑問を用い て語順で質問す る文を書くこと ができる	授業観察・インタ ビューテスト・記述 課題
	10	16	分詞後置 修飾・文 章読解	Let's Talk about Things Japanese. 2 英語で茶道(ちやど) ・英語のしくみ38伝統 文化を説明しよう	現在分詞の後置修飾・過去分詞の後置修飾・語・連 語・慣用表現	積極的に他者に 伝えようとして いる	スピーチの内容が 伝わるように 暗唱する	英文を聞いて内 容を正しく理解 している	分詞の後置修飾 を用いて正しい 語順で質問する 文を書くことが できる	〇デジタル教科書 〇プレゼンソフト ●分詞構文を使い、自分の 好きな歌手や本について会 話を する。	他者に伝えよう としている	スピーチを暗唱 する	英文を聞いて内 容を理解してい る	分詞の後置修飾 を用いて質問す る文を書くこと ができる	授業観察・スピー チ・記述課題
	11	14	関係代名詞(主 格) 関係代名詞(目 的格)	What Is the Most Important Thing to You? S5 買い物④(靴を買 う) Clean Energy Sources	関係代名詞(主格)・関係代名詞(目的格)・買い物 をする時の表現	積極的に特徴を 表現しようとし ている	人物・ものにつ いて正しく説明 できる	書かれている内 容について正し く理解している	関係代名詞(主 格・目的格)の正 確な知識を身に つけている	〇デジタル教科書 〇プレゼンソフト 〇DVD ●関係代名詞を使ったクイズ を出し合う。	特徴を表現しよ うとしている	人物・ものにつ いて説明できる	書かれている内 容について理解 している	関係代名詞(主 格・目的格)の知 識を身につけて いる	授業観察・小テス ト・記述課題
	12	11	文章読解	W2 ホームページ L2 アナウンスMother Teresa	語・連語・慣用表現 (付加疑問文)	積極的に多くの 情報を得ようと している	読んだことに対 して適切な感想 を書くことが できる	書かれている内 容について正し く理解している	英単語の正確な 知識を身につけ ている。	〇デジタル教科書	多くの情報を得 ようとしている	読んだことに対 して感想を書く ことができる	書かれている内 容について理解 している	英単語の知識を 身につけている。	授業観察・小テス ト・記述課題
3	1	11	文章読解	L3 有名人の名言 自己PRしよう After Twenty Years Review Reading 1. The Origin of World Heritage Sites 2. Japanese Anime Goes Abroad. 3. Hats Off to Harada Misa Extensive Reading 1. The Wisest Man in the World 2. The Hat 3学年のまとめ	語・連語・慣用表現										
	2	17				わからない語句 があって積極的に 聞き続けたり、 読み続けたりし ようとする	内容や状況に応 じて適切に音読 する	書かれている内 容について正し く理解している	英単語の正確な 知識を身につけ ている。	〇デジタル教科書 〇プレゼンソフト ●自己PRをする。	わからない語句 があって聞き続 けたり、読み続 けたりしよう とする	内容や状況に応 じて音読する	書かれている内 容について理解 している	英単語の知識を 身につけている。	授業観察・小テス ト・記述課題
	3	4													

道徳教育全体計画

ESD①

校訓・教育目標		生徒の実態	
向学 誠実 関和		・明るく厄介がない。 ・意志を強くもつことや、集中力・持続力を高めたい。	
「自ら学び考え行動する人間性豊かな生徒の育成」		教員の願い	
本校の道徳教育の目標		・何事にも前向きで意志の強い生徒 ・目他の生命を尊重する生徒 ・素直さと協調性をもつ生徒	
すべての教育活動において、自他の生命を大切にし、思いやりの心と寛容な態度を養う。 道徳の時間を確保し、その質を高めるとともに、「駒の学び舎」の小学校と協同して道徳教育を充実し、豊かな人間性を養う。		地域の実情	
1 人権尊重教育 ・生命尊重教育		・保護者の学校への関心や期待は高い。 ・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていること もあり、地域の一体化を推進したい。	
・ESD：人、社会、自然との かわり、つながり			
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・世田谷区教育要領			

道徳教育の重点目標	
1 基本的な生活習慣の確立を通して、人間としてよりよく生きようとする心情や実践意欲と態度を育てる。 2 先人が伝えてきた道徳的な考え方や表現、行動のよさについて理解し、人、社会、自然との持続可能なかわり、つながりについて考え、大切に継承しようとする心情をはぐくむ。(ESDの土台①) 3 花や草木、青空や夕焼けなど、自然や四季を話題にし、その美しさを感じることでできる情操を養う。 4 道徳授業地区公開講座などを通して、保護者・地域社会と連携し、生徒の規範意識や思いやりの心を育てる。	

第1学年	第2学年	第3学年
○あいさつの励行、望ましい生活習慣に基づき判断力の定着を図り、自分の言動に対する責任感、他の人への思いやり、感謝する心情をはぐくむ。 いじめの防止：人の痛みや苦しみと共に感じ、「おかしな」「やめて」「許さない」等の態度をとることができない生徒を育てる。	○自らのよさを伸ばすとともに、他の人の個性を尊重して寛容に受け止め、ともに高め合う人間関係をつくる意欲と態度をはぐくむ。	○社会生活におけるルールに基づいた判断力や、社会に積極的に参画・貢献しようとする意欲と態度をはぐくむ。

道徳の時間の指導方針	
○1年間ですべての道徳的価値を取り扱うとともに、学年の実態に応じた重点化を図った指導計画を作成する。 ○副読本、補助教材、NIEを工夫・活用した授業を通して、生徒の道徳的価値に基づいた生き方の自覚を促す。 ○各教科等の指導や体験活動と密接に連携を図りながら、生徒の考えや経験を補充・深化・統合して、道徳実践力を育成する。 ○授業時数を確保し、資料や疑問、言語活動に工夫を凝らした授業を展開することにより、生徒の道徳的心情と道徳実践力を育む。	

各教科		学習活動	
国語	文字や言葉で表現したり聞き取る学習を通して伝え合う力を高め、他の人と円滑に意思疎通する力やコミュニケーション力の向上を図る。 日本や世界の地理・歴史の学習を通して、自国の理解や国際理解に役立たせる。公民分野では、人権や法を尊重する心情や態度を養う。	○学級生活を基盤として、集団の一員としての望ましい資質や態度を養う。 道徳指導・生徒指導	○自己理解を深め、自己管理能力や人間関係形成能力等を高める。 ○偏見や差別を許さない正義感を育成する。
数学	数理的解決力を育むことで問題解決能力を養いながら、真理を追究しようという姿勢を身に付け、実践意欲を高める。 自然への理解を深め、自然愛護の精神を養いつつ、ものごとの科学的な認識力を高める。	○生徒会の自治的な体験を通して集団の力を高めるとともに、役割を自覚して責任を果たす態度を養う。	○生徒会活動
理科	音楽にふれることで豊かな情操を養い、精神の落ち着きを得る。また伝統音楽の学習を通してわが国の文化にふれ、そのよさを体感する。ものに感動する心情をはぐくむ。	○集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度を育てる。	○学校行事
音楽	音楽にふれることで豊かな情操を養い、精神の落ち着きを得る。また伝統音楽の学習を通してわが国の文化にふれ、そのよさを体感する。ものに感動する心情をはぐくむ。	○生徒会活動	○生徒会活動
体育	能力に応じた課題学習を通して目的達成のための意欲や態度を養い、集団的競技では他の人とのかわり方の重要性を学ぶ。	○生徒会活動	○生徒会活動
技術	生活に深くかかわる体験的学習を通して、生活を充実させる方法を学ぶとともに、情報モラルの正しいあり方を身に付ける。	○生徒会活動	○生徒会活動
家庭英語	言語や文化の違いの中から、国際理解の基礎的な力を培う。言語を通して、広く世界に思いをよせ、国際協調や共生のあり方を考える。	○生徒会活動	○生徒会活動
教科「日本語」	ことばを通じて物事を深く考え、自己を表現し、日本の伝統や文化に対する理解を深めて、ことばや文化を大切にする意識を高める。	○生徒会活動	○生徒会活動

人格の完成を目指して	
○あいさつ・思いやり・良心など、自他を敬愛し、自立した個人として成長しようとする心と生活習慣を育てるため、ポスター掲示等を行う。	

家庭・地域との連携	
○学び舎の小学校や地域における諸団体・各種機関との連携を密にし、交流活動・環境美化活動・安全指導・地域防災活動・ボランティア活動などの体験的な活動を通して、社会に貢献しようとする意欲や奉仕の心等をはぐくむ。 ○学校だより、学年だより、PTA広報誌の発行、HP掲載や授業参観、学校評価を実施することで、道徳教育の目標や道徳の時間の様子等を、保護者や地域社会に発信して説明責任を果たす。 ○道徳地区公開講座、学校運営委員会、学校協議会等をおして、学校・家庭・地域における生徒の道徳性についての情報交換を行い、理解を深め合う。	
教育環境	
○教員間及び教員と生徒間の好ましい人間関係を構築することで、道徳的価値について考える土壌をつくる。 ○複数担任制により、道徳教育及び道徳の時間の指導、教育相談を協力的に行う。 ○校内・周辺美化活動を活性化させ、過ごしやすさや落ち着いた環境整備を進める。タンツ山山の自然環境を活用する。 ○図書室・学級文庫を整備することにより、読書活動による道徳性の涵養を図る。 ○部活動では、異年齢集団の活動を通して、責任感や協調性の育成を図る。	

道徳教育推進委員会（道徳教育推進教師）	1学年：猪原 佳子 2学年：栗山 幸大 3学年：◎栗橋 亜紀子
---------------------	---------------------------------

学校教育目標 「自ら考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」

[illegible]

東京都・世田谷区の指導の重点・ESD等

生徒の実態

・明るく屈託がない。
・意思が弱く、集中力や持続力が足りない面や、目的意識をもって自主的に行動する力が弱い面も見られた。

地域の実態

・保護者の学校への関心や期待が高い。
・家庭と学校とのより強い相互協力が課題である。
・閑静な住宅街と商業地域が混在し、なおかつ学区内を大きな国道が縦横に走っており、地域の一体化(学び舎)を

各教科との連携

国語	・インタビューや発表等の学習活動に必要な「話す聞く」力、必要な文書や原稿の作成にあたっての「書く」力や言語能力を育てる。 ・資料等を読み取る基礎的な国語力を養う。
社会	・人間の歴史や、地域・自国・世界の国々の様子、国際社会の在り方への理解を深めるとともに、公民的資質の基礎を養う。
数学・理科	・数理的なデータの読み取り方や、科学的な見方・考え方を養い、問題解決への取り組みに際しての課題遂行能力を養うとともに、真理を追究する心を育てる。
音楽・美術	・文化の理解につながる、美しいものに感動する情緒を育てるとともに、表現活動を豊かにし、自らの個性を伸ばし、また互いのそれを尊重する情操を養う。
保健・体育・家庭科	・「生」や「性」への正しい知識を身につける。 ・体験的学習を通じ、自らの生活を充実させる工夫や知恵への理解を深め、実践的な生活態度を養う。
英語	・外国の言語や文化について学習をすすめることで国際理解をすすめるための基礎を養う。

校訓・学校目標

「向学 誠実 調和」「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」

総合的な学習の時間の目標

①地域社会との連携を進め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組んで、持続可能な社会の実現に貢献しようとする態度を育てる。
②情報の集め方、調べ方、報告や発表討論の仕方など、多様な学習の仕方やNIEを取り入れて、学び方やものの考え方を身につけさせる。

指導のテーマと重点

学校テーマ「生きる」(持続可能な未来を生きる)

1学年「共に生きる」	2学年「強く生きる」	3学年「豊かに生きる」
・自分を知る(自分史) ・集団の中で生きる自分を知る ・自分たちの住む地域を知る ・自分の将来を考える(生き方調べ) ・障害理解教育 ・学んだことを発表する。	・他者とのかわり方を知る ・社会に生きる姿を知る(職場体験学習など) ・障害理解教育 ・学んだことを発表する	・郷土を知り、文化理解を深める(文化遺産に触れる) ・国際社会での生き方を知る ・豊かな将来を築く「生き方」を考える(上級学校訪問・進路学習会など) ・障害理解教育

全学年共通の取り組み

「地域に貢献できる自分の生き方を考える。」
・地域の防災に関する準備の実態を知り、地域防災の意義について考える。
・地域に主体的にかかわる態度を確認にする。
(応急救護訓練・地域総合防災訓練)

「障害理解授業」
～障害についての理解を深め、互いに高めあうことができるよりよい人間関係、協力関係を形成する。
(障害についての知識の確認・身体障害模擬体験・障害のある人への接し方について)

「日本の文化を理解する。」
～日本の文化・伝統を知り、国語力の育成をはかる。(読書活動の推進・百人一首大会の実施)

家庭との連携

・学校便り、学年便り、学級通信、PTA広報誌などを通じて、保護者との連携を図る。
・学校公開日や生徒の発表会等への保護者の参観を募り、「総合的な学習の時間」の目標や指導方針などを知らせ、理解と協力を求める。

学級・学校間

・教師間、教師と生徒、生徒間の好ましい人間関係をつくるように努力する。
・学年、学校全体の取り組みに際し、共通の目標に向けて連携を図りながら指導を行う。
・他校の同様な取り組みや情報を適宜参考にし、より有効な指導方法を実現化する。

地域社会との連携

・地域における諸団体や各種機関との連携を深め、地域防災や職場体験などの体験的活動が有意義に行われるよう図る。
・障害理解授業や進路学習などでは、地域の人的資源の有効活用を図る。

学習指導要領

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領、世田谷区教育要領

保護者・教員の願い

保護者	・他人に迷惑をかけない ・何事にも粘り強く生きる ・他を思いやる優しさ ・自ら学ぼうとする意欲
教員	・積極性 ・命の大切さを理解できる ・集団のために尽くす心 ・目的にむかってやり抜く強い意志 ・協調性と素直な心

学年経営

・学年内、学年間における連絡の徹底と「ねらい」に対するコンセンサスの確立
・生徒指導に対する共通理解の徹底と全校協力体制の確立

道徳の時間

・基本的生活習慣を確立し、人間としてよく生きようとする意欲や態度を育てる。
・豊かな心を持ち、これからの社会をたくましく生きる、主体性のある豊かな人間性を育てる。

特別活動

A 学級活動
学級生活を基盤として、集団の成員としての望ましい資質や態度を養う。
B 生徒会活動
生徒会活動等の体験を通じ、自らを振り返り、それを改善してゆく機会を設ける。
C 学校行事
諸行事において達成感を味わい、感動体験をすることにより、豊かな情緒を育む。

生徒指導

・基本的生活習慣を身につけさせる。
・差別や偏見のない人権尊重の精神を養う。
・集団の一員としての自覚を育てる。
・実践的活動を通じ、社会奉仕の精神を養う。

平成25年度「総合的な学習の時間」年間指導計画

第1学年

- 目標：①地域社会との連携を深め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。
 ②情報の集め方、調べ方や発表・報告のしかたなど多様な学習のしかたを取り入れ、学び方やものの考え方を習得させる。

学期	月	
1 学期	4月	中学校で生きる 自分まわり知らせよう 人間関係を学ぼう 友人のよさを発見しよう 集団の中で生きる（移動教室） 自然について理解を深めよう 行事を通じて仲間と協力すること学ぼう 団結力を示そう
	5月	
	6月 7月	
2 学期	9月	
	10月	
	11月 12月	
3 学期	1月	
	2月	
	3月	

平成25年度「総合的な学習の時間」年間指導計画

第2学年

- 目標：①地域社会との連携を深め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。
 ②情報の集め方、調べ方や発表・報告のしかたなど多様な学習のしかたを取り入れ、学び方やものの考え方を習得させる。

学期	月	
1 学期	4月	集団の中で生きる（移動教室） ・集団生活の中で自分の役割を考え、責任を持って行動する ・集団行動を通して、仲間とともに過ごす楽しさを知る 将来に生きる ・自分の適正を考える ・卒業後の進路を考える ・上級学校訪問の計画を立てる
	5月	
	6月	
2 学期	7月	郷土と文化を知る ・校外学習を通じて、郷土と文化について学習する ・学習した内容をまとめて発表する 集団の中で生きる ・行事を通じて学級で力を合わせ、団結力を示す 社会に生きる（1） ・広い視野で将来について考える ・職場体験の行動計画をたてる ・社会のマナーを知る
	9月	
	10月	
3 学期	11月	日本の伝統文化を知る ・百人一首大会を通じて、日本の伝統文化について知る 社会に生きる（2） ・職場体験で学習したことをまとめて発表する ともに生きる ・障害理解体験授業
	12月	
	1月	

平成25年度「総合的な学習の時間」年間指導計画
第3学年

- 目標：①地域社会との連携を深め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。
②情報の集め方、調べ方や発表・報告のしかたなど多様な学習のしかたを取り入れ、学び方やものの考え方を習得させる。

学期	月	
1 学期	4月	郷土と文化を知る ～修学旅行の取り組みを通じて ・ 伝統文化について調べる ・ 課題をもって班行動計画を練る ・ 体験から伝統文化への理解を深める ・ 日本文化の中で生きる意味を考える ・ 学んだことをわかりやすく報告する
	5月	
	6月	
2 学期	7月	豊かな将来を開く (1) ・ 卒業後の進路を考える ・ 卒業後の進路選択の内容を知る ・ 自分の適正を考える ・ 学校見学等の計画を立てる
	9月	
	10月	
3 学期	11月	豊かな将来を開く (2) ・ 主体的な進路情報を集める ・ 課題明確にした上級学校訪問 ・ 情報と体験から将来への視野を確かにしよう 集団の中で生きる ・ 行事を通じて学級で力を合わせ、団結力を示そう 世界を学ぼう ・ NIE活動 ・ 国際理解に関する授業 ・ 社会に向け、世界に向けてどう関わってゆけるか考える
	12月	
	1月	
学 期	2月	豊かな将来を開く (3) ・ 将来への考えを明確に行動しよう ・ 将来の自分を考える ・ 義務教育修了の意義を確かめよう 地域の中で生きる ・ 防災に関する講話、体験 地域防災訓練参加 ・ 地域に主体的に関わる態度を確かにする 障害の理解を深める ・ 障害理解体験授業
	3月	
	期	

月	学習内容	学習目標	時数
4月	「考える」ことを考える	「考える」ことのさまざまなことを学ぶ。他者と話し合いながら、考えることの意義を考える。	4
5月	季節を表す言葉 越後縮	日本語特有の季節を表す言葉、短歌・俳句を味わう。 自然と共に生きることの意味を考える。	3 1
6月	環境先進国江戸 雨ニモマケス ショートパンツ初体験インアメリカ	自然環境を維持するために江戸の資源循環システムに学んで、現代社会を考える。 宮沢賢治が理想とした生き方を考える。 「心の壁」について考え、生き方の大切さを考える。	1 2 2
7月	論理的な表現とは ルールづくりを体験しよう	「論理の力」を考え、それを活用する大切さを知る。 望ましいルールのある方を学ぶ。	2 1
9月	ルールづくりを体験しよう 心の行儀 (尊敬と感謝の心)	望ましいルールのあり方を学ぶ。 心の行儀の悪さを恥じる考えを学ぶ。	3 1
10月	人とのつながり 地域活動に参加して	友達関係を深めていくことで、人間がさらに成長していくことについて考える。 参加したいボランティア活動は何か考える。 困難に直面した人の生き方に触れ、生きることや、いのち、言葉の力について考える	2 2
11月	人間ってすごい 職業と好きなこと	自分らしさについて考え、自分や自分の生き方について深く考える。 仕事とは何か考えを深め、自分が就きたい職業について考える。	3 2
12月	人生に答えを出した男の物語 人生に答えを出した男の物語	困難に直面した人の生き方や考えに触れ、生きることや、命、言葉の力、について考える。	3
1月	人生に答えを出した男の物語 人生に答えを出した男の物語	困難に直面した人の生き方や考え方に触れ、生きることや、いのち、言葉の力について考える。	2
2月	二十一世紀に生きる君たちへ	どのように生きるべきか文章で表現する。	1

月	学習内容	学習目標	時数
4月	対話の基礎	「聴く」ことの意味を考えながら、相手の言葉の意味や話の内容を理解し、気持ちや考えをしっかりと受け止める。また、ディベートを通して、論理的な説明をして、お互いの考えを深める。	7
5月			
6月	率直な自己表現	「主張的でない自己表現」「攻撃的な自己表現」「アサーティブな自己表現」について考えを深め、相手との関係をよりよいものにするについて考え、表現する。	4
7月	私のニューズ解説(メディアア1)	新聞というメディアへの興味・関心をもち、時事的な問題に対し、周囲からの意見を聞き、考えを深め、文章で表現する。	2
9月	コーシヤルの秘密(メディアア2)	コーシヤルなどの、多量の情報の中から適切な情報を選び、情報が正しく相手に理解されるように工夫することについて考える。 また、コーシヤル制作を通じて、視聴する相手に応じてどのような工夫をすれば考え、情報の特性について考えを深める。	8
10月			
11月	レポートを書く	「自分で調べ、考え、意見を述べる作業」について理解を深め、自分が設定したテーマから調査、アウトラインの作成、文章化、発表準備やスケジュールを作成する。さらに、作成したカードや資料を整理し、レポートの全体的な構成をよく考え、工夫して発表する。	8
12月			
1月	数学の作文	言葉を定義することを通して、日常生活で用いている言葉が表わす対象の広がりなどについて考える。	3
2月	情報社会における表現(メディアア3)	情報通信ネットワークの特徴や、情報を発信する時の留意点について考え、情報発信者の責任について話し合う。また、良質な情報とはどのようなものかを考え、自ら発信することについて考える。	4

月	学習内容	学習目標	時数
4	オリエンテーション・日本語「日本文化」の学習について	◇修学旅行に備えて古都の文化・歴史的遺産について学ぶ	3
	「住」住む 3	◇未来に伝えていきたい日本の「住」	
	日本の伝統・文化を知る 1	◇古都の文化・歴史的遺産について学び、感じたことをまとめる	
5	日本の伝統・文化を知る 2		3
6	「技」作る 1 人間国宝	◇人間国宝や職人の技を知り修学旅行での体験学習で理解を深める。	
	「楽」楽しむ 歌舞伎の魅力 1	◇歌舞伎の表現・舞台の特色について学ぶ	4
7	「楽」楽しむ 歌舞伎の魅力 2	◇歌舞伎鑑賞教室で学んだこと・感じたことをまとめ日本の伝統文化についての見識を深める。	3
9	「食」食べる 1	◇毎日の食事から日本の食生活について調べ日本の食の基本を考える ◇食物と自然の関わりと工夫について調べ考える	4
10	「食」食べる 2	◇日本料理に興行きを与えた発酵文化について学ぶ	3
11	「食」食べる 3	◇食器と食はどのような関わりがあるのか考えまとめる	
	「食」食べる 3	◇箸の文化について調べ外国文化との違いを考えまとめる	4
12	「衣」着る 1	◇和服の基本的な知識について学ぶ	
	「衣」着る 2	◇「衣」について体験したり考えたりしたことを通して生活の中での「衣」の重要性を考える	3
1	「住」住む 1	◇日本の住まいの特徴と生活様式について学ぶ	3
2	「住」住む 2	◇自然をいかした住まいについて調べ、自分の考えをまとめる	3
3	「技」作る 2 生活を豊かに 〈道の文化 茶道体験〉	◇「道」という言葉のつく文化が求めるものと在り方について調べ、実際に体験することにより日本の伝統的な文化に自分自身がどう向き合っていくか考える	2

生徒の実態
・明るく屈託がない。 ・意志が強くもつことや、集中力・持続力に課題が見られる。
教員の願い
・何事にも前向きで意志の強い生徒 ・自他を尊重する生徒 ・素直さと協調性をもつ生徒
地域の実情
・保護者の学校への関心や期待は高い。 ・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていることもあり、地域の一体化の推進が課題である。

各教科
国語 文章作品などを通して人間としての生き方について考える深めることと、思考力や表現力を育てる。 社会 社会的現象に関心をもち、社会の変化に対応できるように、社会で必要となる公民的資質の基礎を養う。 数学 数学的事象に関心をもち、数学的な見方、活用する能力を育て、自然現象に親しみながら自然現象に関心をもち、観察を通して、協力して生活する態度を育てる。 理科 科学的な現象を探究し、科学的な見方、活用する能力を育て、自然現象に親しみながら自然現象に関心をもち、観察を通して、協力して生活する態度を育てる。 音楽 音楽に親しむことで、感性や表現力を高め、豊かな生活に生かす態度を育てる。 美術 美術に親しむことで、美的に表現し、創造する意欲を高め、生活に生かす態度を育てる。 体育 運動の増進と体力の向上を図り、安全で健康に生活する能力を育てる。 家庭 家庭生活や技術について関心をもち、生活に生かす能力を育てる。 英語 外国語や外国の文化に語対する関心をもち、言語や外国の文化に対して、外国語を用いて積極的に他国の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。 教科「日本語」 表現力や外国の文化に語対する関心をもち、言語や外国の文化に対して、外国語を用いて積極的に他国の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。

NIE (教育に新聞を)

校訓・教育目標
向学 誠実 調和
「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」

本校の特別活動の目標
過ごしやすい学校・学習環境を整備し、学級活動や生徒会活動、学校行事、部活動などの集団活動を活発に行うことで、心身の健康や良好な人間関係を保持・増進するとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

特別活動の指導方針
【豊かな心の育成】 豊かで充実した学校の生活体験を通して、教員と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係の醸成を図る。また、人間としてのよりよい生き方について考えさせ、集団や社会の一員として互いに人格を尊重しあいながら協力して生きようとする態度を育てる。

【自主的で実践的な態度の育成】
生徒の自主的・実践的な活動を支援し、自治的な能力の伸長を図るため、諸活動における生徒の活動場面の設定を工夫する。一人ひとりの生徒が自己の個性や能力を理解しそれを生かそうとする意欲と態度を育てる。

【たくましい心と身体力の育成】
望ましい集団活動を通して生徒の心身の健全な発達を図るとともに、自ら自己を鍛錬しようとする自主的な態度を育てる。

本年度の重点目標
・学級活動を重視し、話し合い活動などのコミュニケーションを図る活動と言語活動を充実させることにより、教員と生徒相互の理解や信頼感を高め、生徒会活動の一員としての自覚と学級の所属感、帰属感をもち、学習における生徒同士の教え合いや、協力してものごとに取り組む態度を育てる。 ・生徒会活動では、生徒相互の連帯感を養うとともに、自治的な活動のあり方を体験的に学ぶ、自覚的な活動を通して、主体的や参画意欲を大きくむくむとともに、学校行事等の体系的な活動を通して、主体性や参画意欲を大きくむくむとともに、充実感や自己有用感をもたせ、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ・ボランティア活動に積極的に取り組む生徒を育成し、思いやりや参仕の精神、ボラの豊かな心と、地域社会との連帯感や社会の一員としての自覚を育てる活動を進める。

総合的な学習の時間
・課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育て、自覚的に活動する意欲を高める。 ・問題解決的な学習や探究する活動を通して自己の生き方を考えることができる人間を育成する。

道徳
道徳的な心構、判断力、実践意欲、態度などが補充・深化・統合されるよう、様々な場面を通して道徳的価値について考えさせることで、道徳的実践力の育成に努める。

生徒指導
・教員と生徒、生徒相互の好ましい人間関係の醸成に努める。 ・生徒が主体的に判断、行動していきけるよう、自覚性、主体性を尊重した指導を心がける。 ・教育相談や種々の活動場面を通して、生徒同士の個性をよく見つめ、生徒の理解を深める。 ・情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てるため、関係機関との連携をすすめる。

・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・世田谷区教育要綱

特別活動の各内容別目標
・生徒一人ひとりが学級内の役割を分担し、話し合いや係活動、法に関する教育を通して学級生活や学校生活の向上と発展に努める態度を育てる。 ・良好な人間関係を基盤にして生徒一人ひとりの社会的適応を図り、自己を生かす能力を育てるとともに、情報教育、性教育、食育、特別支援教育、安全指導を通して、健康で安全な生活習慣を身に付けさせる。 ・学習活動について個別的・継続的な指導を行い、主体的に学ぼうとする意欲や態度を育てるとともに、よりよい将来の生き方と適切な進路を選択する能力を育てる。

学級活動
・生徒一人ひとりが学級内の役割を分担し、話し合いや係活動、法に関する教育を通して学級生活や学校生活の向上と発展に努める態度を育てる。 ・良好な人間関係を基盤にして生徒一人ひとりの社会的適応を図り、自己を生かす能力を育てるとともに、情報教育、性教育、食育、特別支援教育、安全指導を通して、健康で安全な生活習慣を身に付けさせる。 ・学習活動について個別的・継続的な指導を行い、主体的に学ぼうとする意欲や態度を育てるとともに、よりよい将来の生き方と適切な進路を選択する能力を育てる。
生徒会活動
・学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力活動、ボランティア活動などを通して、きまりの大切さを理解し、楽しく創造的な学校生活を築こうとする自覚的・自治的な態度を育てる。
学校行事
・生徒の積極的な参画と協力をもとにした集団活動を通して、学級・学年・学校への所属感を培うとともに、心身の健全な発達を図る。 ・学校生活に望ましい変化や折り目を付けて、学校生活を秩序や変化のある豊かなものにする。 ・自然体験や社会体験を充実させ、生徒の自発的な活動を通して創造性や社会性を育てる。

教育課題
・「キャリア学習」を活用し、人間形成関係・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力といったキャリア教育の基礎的・応用的能力を発達段階に応じて育成する。 ・情報教育を推進し、多くの情報から必要な情報を適切に取捨選択して自ら正しい情報発信する能力や情報モラル等を育てる。 ・食育を推進し、食と心身の健康について自ら考え、実践する生徒の育成に努める。

学び舎・家庭・地域との連携
・学び舎の小学校との連携を密にし、交流活動・環境美化活動・あいさつ運動・安全指導・体験学習などの活動を通して、学び舎内の活動を推進する。 ・行事などへの積極的な参加をすすめるとともに、ボランティア活動や文化的活動などの実践を通して地域社会との連携を図り、地域社会の一員としての自覚を深めさせる。

学び舎・家庭・地域との連携
・学び舎の小学校との連携を密にし、交流活動・環境美化活動・あいさつ運動・安全指導・体験学習などの活動を通して、学び舎内の活動を推進する。 ・行事などへの積極的な参加をすすめるとともに、ボランティア活動や文化的活動などの実践を通して地域社会との連携を図り、地域社会の一員としての自覚を深めさせる。

平成25年度

特別活動年間指導計画

第1学年		第2学年	第3学年
4月	中学校に入学して 障害理解教育 インターネットの長所・短所 学習態度と、学習習慣の定着 個人目標、学級目標 前期委員、係決め	生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくり 自己紹介、学級目標決め、個人目標決め 同一行動の確認・習慣化 係の仕事、給食指導、清掃指導 学級活動	生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくり 修学旅行への取り組み①～③
5月	中学校のきまりを学ぶ 部活動への参加 中間考査への取り組み 所属感を高める運動会への取り組み①	移動教室への取り組み①～③ 運動会への取り組み① 所属意識の充実	定期考査への取り組み① 修学旅行への取り組み④ スローガン決定
6月	運動会への取り組み② 家庭学習への取り組み 期末考査への取り組み	運動会への取り組み② 移動教室への取り組み④⑤	運動会への取り組み 部活動引退後の家庭学習への取り組み 進路説明会を有意義なものにするために 定期考査への取り組み①
7月	友情を考える 移動教室への取り組み① 食育指導、性情報への対処 1学期を振り返る 夏休みの過ごし方 教育相談	1学期の振り返り(自己評価シート) 夏休みの意義と過ごし方 教育相談(面談)	自己評価シートによる1学期の振り返り 夏休みの高校見学の事前指導 校長先生との面談について キャリア教育の視点と進路選択① 夏休みの意義と過ごし方 二者面談
9月	2学期を迎えて 移動教室への取り組み② 生徒会活動の意義と参加 連帯感を高める合唱コンの取り組み① 学習習慣の定着 中間考査への取り組み	生徒会活動の意義と参加 生徒会選挙 合唱コンクールへの取り組み① 校外学習への取り組み①	生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくりの再確認 同一行動の習慣化への再確認 定期考査への取り組み 所属感を高める合唱コンへの取り組み①
10月	学級の仲間を支え合う意味 連帯感を高める合唱コンの取り組み② 所属意識の充実 生徒会 後期委員・係決め 地域ボランティア活動の意義	合唱コンクールへの取り組み②～④ 校外学習への取り組み②	学級の仲間と支え合う意味 合唱コンへの取り組み② 連帯感を高める合唱コンへの取り組み③ 所属意識の充実
11月	合唱コンクールの成果と課題 学校生活の悩みの解消 期末考査への取り組み 望ましい人間関係 落ち葉掃きボランティア参加	職場体験への取り組み① 校外学習への取り組み③④	進路選択への取り組み 三者面談 校内作品展へ向けての意義と参加 定期考査への取り組み 小中連携(落ち葉はき、ボランティア参加)
12月	学校生活の悩みの解消 教育相談 百人一首大会への取り組み① 2学期を振り返る	職場体験への取り組み②～④ 2学期の振り返り(自己評価シート)	自己評価シートによる2学期の振り返り 進路決定への取り組み 三者面談 進路決定の最終確認 冬休みの過ごし方
1月	新年を迎えた個人目標 3学期を迎えて 百人一首大会への取り組み② 校外学習への取り組み①	職場体験への取り組み⑤～⑧	生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくりの再確認 卒業時期の学級づくり 入試に関する様々な手続きについて
2月	校外学習への取り組み② 学年末考査への取り組み 中堅学年になる心構え 卒業生を送るにあたって①	職場体験への取り組み⑨ 卒業生を送るにあたって 自分自身の成長を確かめる	キャリア教育の視点での進路選択 仲間と支えあう受験の葛藤 卒業に向けた取り組み①
3月	卒業生を送るにあたって② 1年間を振り返る 中堅学年に進級する決意	上級学年への決意 学年末の振り返り(自己評価シート)	卒業に向けた取り組み② 義務教育卒業の意義を考える キャリア教育の視点と卒業後の人生設計 定期考査への取り組み

平成25年度 生活指導部 特別活動
生徒会活動年間計画

日程		活動	活動担当	企画・活動内容	担当
4月10日(水)～4月12日(金)	前期専門委員決め	各学年クラス	担任は委員一覧表提出		〇
4月11日(木)⑤	生徒会オリエンテーション 委員会紹介	生徒会本部役員 専門委員長	オリエンテーションしおり作成		栗山・西川
4月12日(金)⑤⑥	生徒会オリエンテーション 部活動紹介	生徒会本部役員 各部活動	企画・運営		栗山・西川
4月15日(月)15:50～16:20	前期 第1回専門委員会	各専門委員会	組織づくり 活動方針 生徒総会議案書作成		◎
4月16日(火)15:50～16:20	前期 第1回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	初顔合わせ・任命式打ち合わせ		生徒会
4月16日(火)～18(木)	教職員離任式準備	生徒会本部役員 生徒会本部役員 係生徒	おれのことば作成		栗山・小嶋
4月17日(水)生徒朝会	前期専門委員任命式	生徒会本部役員 専門委員長	一言あいさつ 任命証		生徒会
4月19日(金)	教職員離任式	生徒会本部役員 係生徒	おれのことば 花束贈呈		栗山・小嶋
4月23日(火)～26(金)	クラス討議①	各クラス	議案書読み合わせ 生徒総会に向けての討議(質問・意見など)		〇
5月2日(木)15:50～16:20	前期 第2回専門委員会	各専門委員会	クラスで出された質問・意見の回答作り		◎
5月7日(木)16:40～17:10	前期 第2回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	生徒総会に向けての回答審議		生徒会
5月7日(火)～5月8日(水)	クラス討議②	各クラス	生徒総会に向けての討議 クラス代表質問者決定		〇
5月8日(水)生徒朝会	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告		生徒会
5月9日(木)16:30～	生徒総会リハーサル	生徒会本部役員 専門委員長	進行打ち合わせ 放課後 体育館使用		生徒会
5月10日(金)⑥	生徒総会	生徒会本部役員 専門委員長	臨時生徒総会→後期生徒総会 生徒会選挙方法変更		生徒会
5月14日(火)	校長先生との懇親会	生徒会本部役員	生徒総会を終えて		栗山・小嶋
6月3日(月)15:50～16:20	前期 第3回専門委員会	各専門委員会	あいさつ運動ポスター作成		◎
6月3日(月)16:40～17:10	前期 第3回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	学級の様子について協議①		生徒会
6月5日(水)生徒朝会	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告		生徒会
6月8日(土)運動会	運動会	生徒会本部役員 各専門委員会	運営 進行		栗山・小嶋
6月11日(火)～21日(金)	C02削減アクション	生徒会本部役員	C02削減アクションを全校生徒で取り組む。		栗山
6月17日(月)～7月5日(金)	選挙管理委員選出		選挙に関することはすべて選挙管理委員会で行う		〇
7月1日(月)～9月30日(月)	生徒会打ち水	生徒会本部役員	雨の日に、バケツに水のため、適宜打ち水をする。		栗山
7月5日(金)15:50～16:20	前期 第4回専門委員会	各専門委員会			◎
7月5日(金)16:40～17:10	前期 第4回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	学級の様子について協議② あいさつ運動の呼びかけ		生徒会
7月8日(月)～7月12日(金)	あいさつ運動①	生徒会本部役員 生活委員会	学び舎小学校との交流		栗山・小嶋
7月9日(火)	選挙管理委員会①	選挙管理委員	組織作り 選挙公示文作成		栗山・小嶋
7月10日(水)生徒朝会	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告 選挙公示		生徒会
7月10日(水)～9月5日(木)	生徒会役員選挙 立候補者選出	1、2学年			栗山・小嶋
9月4日(水)14:50～15:20	前期 第5回専門委員会	各専門委員会	前期の反省		◎
9月4日(水)15:40～16:10	前期 第5回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	前期の反省 一言ずつ最後のあいさつ		生徒会
9月6日(金)	立候補者公示	選挙管理委員会	選挙に関することはすべて選挙管理委員会で行う		小嶋・栗山
9月6日(金)	立候補者・応援者説明会	立候補者・応援者	今後の日程 たすき作成		栗山・小嶋
9月9日(月)～9月26日(木)	選挙運動・準備	立候補者・応援者	ポスター、演説原稿などの作成		小嶋・栗山
9月20日(金)⑤⑥	小学生体験入学リハーサル	生徒会本部役員	前日準備 進行打ち合わせ		生徒会
9月21日(土)	小学生体験入学	生徒会本部役員 応援部委員 吹奏楽部	セレモニ―運営		生徒会
9月26日(木)16:00～	立会演説会リハーサル	立候補者・応援者 選挙管理委員会	体育館:リハーサル 格技室:投票所の準備		栗山・小嶋
9月27日(金)⑤⑥	立会演説会 投票	立候補者・応援者 選挙管理委員会	企画・運営		生徒会
9月24日(火)	連合陸上壮行会	生徒会本部役員	連合陸上壮行会に向けてのことば		小嶋
9月4日(水)～9月30日(月)	後期専門委員決め	各学年クラス	担任は委員一覧表提出		〇

後 期				
日程	活動	活動担当	企画・活動内容	担当
10月2日(水) 中間考査後	生徒会役員任命式	生徒会本部役員	一言あいさつ 任命証	生徒会
10月3日(木)	校長先生との懇親会	新生徒会本部役員	新生徒会役員との懇親	栗山・小嶋
10月7日(月)～10月11日(金)	あいさつ運動②	生徒会本部役員会 生活委員会	学び舎小学校との交流	栗山・小嶋
10月7日(月) 15:50～16:20	後期 第1回専門委員会	各専門委員会	組織作り 活動方針 臨時生徒総会議案書作成	◎
10月8日(火) 15:50～16:20	後期 第1回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員	初顔合わせ・任命式打ち合わせ	生徒会
10月9日(水) 生徒朝会	後期専門委員会任命式	専門委員長	一言あいさつ 任命証	生徒会
10月22日(月)～11月13日(水)	クラス討議①	各クラス	議案書読み合わせ 後期生徒総会に向けての討議(質問・意見など)	○
11月5日(火)～15日(金)	ボランティア(落ち葉はき)	生徒会本部役員 JRC部	学校周辺の落ち葉はき	栗山・西川
11月14日(木) 15:50～16:20	後期 第2回専門委員会	各専門委員会	クラスで出された質問・意見の回答作り	◎
11月14日(木) 16:40～17:10	後期 第2回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員	臨時生徒総会に向けての回答審議	生徒会
11月1日(金)～11月28日(木)	ふれあい月間スライド作成	生徒会本部役員	生徒総会にむけて、いじめ防止を呼びかけるスライドをつくる 臨時生徒総会に向けての討議 クラス代表質問者決定	小嶋・栗山
11月15日(金)～27日(水)	クラス討議②	各クラス	委員長報告	○
11月27日(水)	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告	生徒会
11月28日(木) 16:30～	後期生徒総会リハーサル	生徒会本部役員 専門委員長	進行打ち合わせ 放課後 体育館使用	生徒会
11月29日(金)⑤	後期生徒総会	生徒会本部役員 専門委員長	ふれあい月間スライド発表	生徒会
11月30日(土)	Tポール大会	生徒会本部役員 体育委員会	企画 運営 地域との打ち合わせ(未定)	栗山・小嶋
12月4日(水)～11日(水)	小学校への学校紹介①②	生徒会本部役員	紹介ビデオ上映	栗山・小嶋
12月16日(月) 15:50～16:20	後期 第3回専門委員会	各専門委員会	3年学級委員は最後	◎
12月16日(月) 16:40～17:10	後期 第3回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 専門委員長	3年学級委員 最後のあいさつ	生徒会
1月	駒小もちつき大会	生徒会本部役員	もちつき 遊びコーナー	栗山・小嶋
1月14日(火) 15:50～16:20	後期 第4回専門委員会	各専門委員会	ヘルマーク強化週間について	◎
1月14日(火) 16:40～17:10	後期 第4回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員	ヘルマーク強化週間について	生徒会
1月15日(水) 生徒朝会	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告 ヘルマーク呼びかけ	生徒会
1月18日(土)	14歳成人式	生徒会本部役員	生徒会サミットメンバーの発表	栗山
1月20日(月)	校長先生との懇親会	生徒会本部役員	生徒会サミットを終えて	小嶋・栗山
1月27日(月)～1月31日(金)	ヘルマーク収集活動	生徒会本部役員 生活委員会	ヘルマーク呼びかけ・強化週間の実施・運営	小嶋・栗山
2月3日(月) 15:50～16:20	後期 第5回専門委員会	各専門委員会		◎
2月3日(月) 16:40～17:10	後期 第5回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員		生徒会
2月4日(火).6日(木)	ボランティア(ヘルマーク集計)	生徒会本部役員 生活委員会	ヘルマーク集計の実施・運営	小嶋・栗山
2月 (未定)	支え合いルーム交流会	生徒会本部役員		栗山・小嶋
2月12日(水) 生徒朝会	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告	生徒会
3月3日(月) 15:50～16:20	後期 第6回専門委員会	各専門委員会	後期の反省 委員会紹介作成(新入生向け)	◎
3月3日(月) 16:40～17:10	後期 第6回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員	後期の反省 生徒会オリエンテーション 委員会紹介について	生徒会
3月3日(月)～3月7日(金)	あいさつ運動③	生徒会本部役員 生活委員会	学び舎小学校との交流	栗山・小嶋
通年	目安箱設置	生徒会本部役員		小嶋・栗山
未定	ユニセフ募金活動	生徒会本部役員	ユニセフハウスへの見学・ユニセフ募金呼びかけ	

備考	
各委員会担当の教員	◎
各担任	○